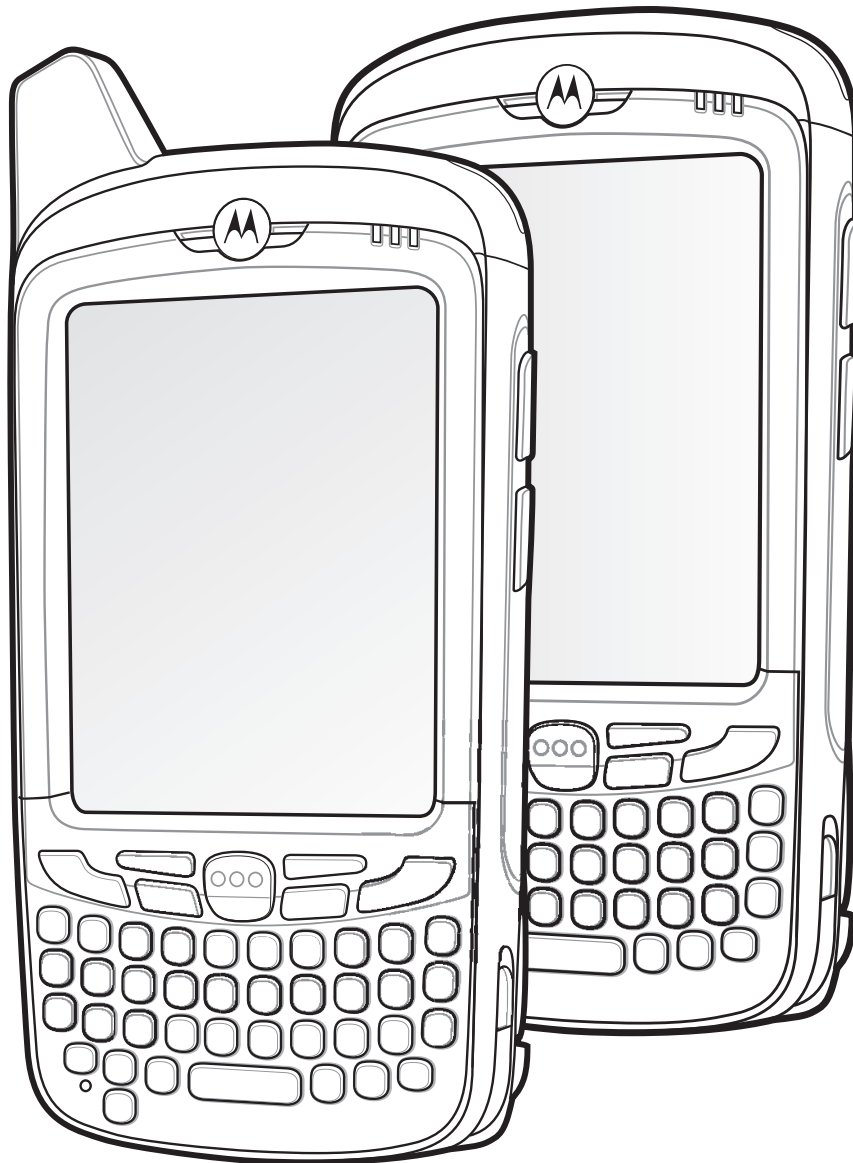




MC55 エンタープライズ デジタル アシスタント ユーザー ガイド



**MC55 エンタープライズ デジタル アシスタント
ユーザー ガイド**

72E-108859-05JA

改訂版 A

2010 年 12 月

© 2009-10 by Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

Motorola の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Motorola の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Motorola の書面による許可なしにネットワークで使用するのを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Motorola の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Motorola は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Motorola は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Motorola, Inc. の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Motorola 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、許可を得たうえで使用しています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

Motorola Solutions, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742-1300
<http://www.motorola.com/enterprisemobility>

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2008 年 11 月 21 日	初期リリース
-02 改訂版 A	2009 年 3 月 12 日	MC5574 構成のサポートを追加。
-03 改訂版 A	2010 年 3 月 15 日	OEM バージョン 02.35.000 および 02.35.001 のサポートを追加。
-04 改訂版 A	2010 年 9 月 7 日	OEM バージョン 03.38.0004 のサポートを追加。
-05 改訂版 A	2010 年 12 月 15 日	MC55A0 設定を追加。

目次

改訂版履歴	iii
このガイドについて	
はじめに	xiii
マニュアルセット	xiii
構成	xiv
ソフトウェア バージョン	xiv
章の説明	xvii
表記規則	xvii
関連文書	xviii
サービスに関する情報	xix
第 1 章: ご使用の前に	
はじめに	1-1
パッケージの開梱	1-2
アクセサリ	1-3
ご使用の前に	1-4
microSD カードの取り付け	1-4
SIM カードの取り付け	1-5
バッテリーの取り付け	1-7
バッテリーの充電	1-7
メイン バッテリーの充電	1-7
予備バッテリーの充電	1-8
充電温度	1-8
MC55 の電源の入れ方	1-9
スクリーンの調整	1-9
バッテリーの状態を確認する	1-9
バッテリーを交換する	1-9
microSD カードを取り外す	1-10
バッテリーの管理	1-11
電力設定の変更	1-11
バックライトの設定の変更	1-11

キーパッドのバックライトの設定の変更	1-11
無線通信をオフにする方法	1-12
ハンドストラップの交換	1-13
取り外し	1-13
機器の設置	1-14

第 2 章: MC55 の使用方法

はじめに	2-1
[Today] (今日) 画面	2-1
ステータス アイコン	2-2
Programs (プログラム)	2-4
Settings (設定)	2-7
音量を調節する	2-11
バッテリー ステータス表示	2-11
バッテリー確保オプション	2-12
メイン バッテリーの温度通知	2-13
LED インジケータ	2-14
MC55 のリセット	2-15
ウォーム ブートの実行	2-15
コールド ブートの実行	2-15
MC55 のウェイクアップ	2-16
MC55 のロック	2-16
キーパッドのロック	2-16
パスワード ロック	2-17
キーパッド	2-19
数字キーパッド構成	2-19
英数字キーパッド構成	2-23
PIM キーパッド構成	2-30
特殊文字キー	2-32
機能ボタン	2-33
スタイラス	2-33
データを入力する	2-34
データ収集	2-35
リニア スキャン	2-35
イメージング	2-35
動作モード	2-35
デジタル カメラ	2-36
スキャン操作に関する考慮事項	2-36
リニア スキャン	2-36
イメージャー スキャン	2-37
RS507 のハンズフリー イメージャーの使用	2-39
デジタル カメラによるスキャン	2-40
VoIP を使用する	2-40
写真の撮影	2-41
ビデオの録画	2-41
写真やビデオの表示	2-41

第 3 章: GPS ナビゲーションの使用

はじめに	3-1
ソフトウェアのインストール	3-1
MC55 GPS のセットアップ	3-1
動作	3-2
microSD カード上の GPS マップ	3-2
GPS 使用中の電話への応答	3-2
車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合	3-2
アシスト GPS	3-2

第 4 章: 電話の使用

はじめに	4-1
電話キーパッドへのアクセス	4-1
電話のオン/オフの切り替え	4-2
音声モード	4-3
Bluetooth ヘッドセットの使用	4-3
音量の調節	4-4
電話をかける	4-4
電話の使用	4-5
連絡先の使用	4-5
Outlook 連絡先の作成	4-5
Outlook 連絡先の編集	4-6
連絡先の削除	4-6
SIM カード連絡先の作成	4-7
通話履歴の使用	4-7
短縮ダイヤルの使用	4-8
緊急通話をかける	4-8
電話に応答する	4-8
着信機能	4-9
スマート ダイヤル	4-9
通話をミュートする	4-10
メモの作成	4-11
短縮ダイヤルを使用する	4-12
短縮ダイヤル エントリの追加	4-12
短縮ダイヤル エントリの編集	4-14
短縮ダイヤル エントリの削除	4-15
通話履歴を使用する	4-15
通話履歴の管理	4-16
[Call History] (通話履歴) の表示の変更	4-16
通話カウンタのリセット	4-16
通話日による通話履歴項目の削除	4-17
すべての通話履歴項目の削除	4-17
通話ステータスの表示	4-18
[Call History] (通話履歴) メニューの使用	4-19
通話の切り替え	4-20
Conference Calling (会議通話)	4-21
テキスト メッセージ	4-22

テキスト メッセージの表示	4-22
テキスト メッセージの送信	4-24
データ接続の確立	4-26
データ接続の終了	4-27

第 5 章: Bluetooth の使用

はじめに	5-1
適応型周波数ホッピング	5-1
セキュリティ	5-2
セキュリティ モード 3 (リンク レベル暗号化)	5-2
Microsoft Bluetooth スタック	5-2
StoneStreet One Bluetooth スタック	5-2
Bluetooth の設定	5-3
Bluetooth の電源の状態	5-4
コールド ブート	5-4
ウォーム ブート	5-4
サスペンド	5-4
再開	5-4
Bluetooth StoneStreet One Bluetooth スタックの使用方法	5-4
Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え	5-4
Bluetooth の無効化	5-5
Bluetooth の有効化	5-5
モード	5-5
Wizard Mode (ウィザード モード)	5-5
Explorer Mode (エクスプローラ モード)	5-5
Bluetooth デバイスの検出	5-6
使用可能なサービス	5-9
File Transfer Service (ファイル転送サービス)	5-10
アクセス ポイントを使用したインターネットへの接続	5-12
Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス	5-12
Object Exchange Push Services (オブジェクト交換プッシュ サービス)	5-13
Headset Services (ヘッドセット サービス)	5-17
Hands-free (ハンズフリー) サービス	5-18
Serial Port (シリアル ポート) サービス	5-19
シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync	5-19
Personal Area Network Services (パーソナル エリア ネットワーク サービス)	5-20
IrMC Synchronization Services (IrMC 同期サービス)	5-20
A2DP/AVRCP サービス	5-21
HID デバイスの接続	5-22
検出したデバイスとの結合	5-22
Bluetooth の設定	5-25
[Device Info] (デバイス情報) タブ	5-25
[Services] (サービス) タブ	5-25
[Security] (セキュリティ) タブ	5-33
[Discovery] (検出) タブ	5-34
[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ	5-34

[HID] タブ	5-35
[Profiles] (プロファイル) タブ	5-36
[System Parameters] (システム パラメータ) タブ	5-37
[Miscellaneous] (その他) タブ	5-37
Microsoft Bluetooth スタックの使用方法	5-38
Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え	5-38
Bluetooth の有効化	5-38
Bluetooth の無効化	5-39
Bluetooth デバイスを検出する	5-39
使用可能なサービス	5-42
Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス	5-42
Internet Sharing (インターネット共有)	5-44
Hands-free (ハンズフリー) サービス	5-44
Serial Port (シリアル ポート) サービス	5-45
シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync	5-46
Phone Book Access Profile サービス	5-48

第 6 章: アクセサリ

はじめに	6-1
シングル スロット USB クレードル	6-2
MC55 のバッテリーの充電	6-2
予備バッテリーの充電	6-3
バッテリー充電インジケータ	6-3
充電温度	6-3
シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル	6-4
国別の設定	6-4
接続のセットアップ	6-4
インジケータ	6-5
動作	6-5
イーサネット接続	6-5
モデム接続	6-5
4 スロット充電専用クレードル	6-6
充電	6-6
バッテリー充電インジケータ	6-6
充電温度	6-6
4 スロット イーサネット クレードル	6-7
充電	6-7
バッテリー充電インジケータ	6-7
充電温度	6-7
VCD5000 車載用クレードル	6-8
MC55 のバッテリーの充電	6-8
MC55 の取り外し	6-9
バッテリー充電インジケータ	6-9
充電温度	6-9
4 スロット バッテリー充電器	6-10
バッテリーの充電	6-10

バッテリー充電インジケータ	6-11
充電温度	6-11
ケーブル	6-11
バッテリー充電と動作電力	6-11
充電の状態を表す LED 表示	6-12
充電温度	6-12
車載用ホルダー	6-13
取り付けに関する注意事項	6-13
デバイスの取り付けに関する注意事項	6-13
機器の設置	6-14
アSEMBリ	6-14
フロントガラスへの取り付け	6-14
平らな面への取り付け	6-15

第 7 章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	7-1
MC55 のメンテナンス	7-1
スクリーン保護シートを取り外す	7-2
バッテリーの安全に関するガイドライン	7-2
クリーニングする	7-3
使用可能な洗剤の活性成分	7-4
有害成分	7-4
洗浄方法	7-4
洗浄の際の注意事項	7-4
必要な材料	7-4
MC55 のクリーニング	7-4
筐体	7-4
ディスプレイ	7-4
スキャナ ウィンドウ	7-4
コネクタ	7-5
クレードルのコネクタのクリーニング	7-5
クリーニングの頻度	7-5
トラブルシューティング	7-6
MC55	7-6
Bluetooth の接続	7-8
シングル スロット USB クレードル	7-9
4 スロット イーサネット クレードル	7-10
車載用クレードル	7-11
4 スロット 予備バッテリー充電器	7-12
ケーブル	7-12
磁気ストライプ リーダー	7-13

付録 A: 技術仕様

MC55 の技術仕様	A-1
MC55	A-1

MC55 アクセサリの仕様	A-8
シングル スロット USB クレードル	A-8
シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル	A-8
4 スロット予備バッテリー充電器	A-9
4 スロット充電専用クレードル	A-9
4 スロット イーサネット クレードル	A-10
磁気ストライプリーダー	A-11
車載用クレードル	A-11
ケーブル	A-12

付録 B: Voice Quality Manager

はじめに	B-1
特徴	B-1
VQM の有効化	B-1
音声モード	B-2
音声モードの変更	B-2
音声パケットの優先	B-3
制限	B-3
音響エコー キャンセル	B-4
VQM の無効化	B-4

付録 C: Windows Mobile 6.5

はじめに	C-1
指のスクロール	C-1
ホーム画面	C-2
クラシック [Today] (今日) 画面	C-4
ステータス バー	C-5
タイル バー	C-8
[Start] (スタート) 画面	C-8
Speaker (スピーカー) アイコン	C-14
Battery (バッテリー) アイコン	C-14
Connectivity (接続) アイコン	C-14
MC55 のロック	C-15
PIN またはパスワードなしのロック	C-15
[Simple PIN] (数字の簡易パスワード) でのロック	C-16
強力なパスワードでのロック	C-17
パスワード ロックのセットアップ	C-17
RS507 のハンズフリー イメージャーの使用	C-18
アシスト GPS	C-18
UI 設定	C-20
[Start] (スタート) 画面の設定	C-20
IE ズームのマッピング	C-21

用語集

索引

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、MC55 エンタープライズ デジタル アシスタント (EDA) とアクセサリの使用方法について説明します。

✓ **注** このガイドで示しているスクリーンとウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際のスクリーンと異なることがあります。

OEM バージョン 03.38.000X (以上) および Windows Mobile 6.5 オペレーティング システムでの設定については、[付録 C 「Windows Mobile 6.5」](#) の新機能に関する情報を参照してください。

マニュアルセット

MC55 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供していて、次のマニュアルで構成されています。

- **MC55 クイック スタート ガイド** - MC55 EDA の主な機能の使用方法について説明しています。
- **MC55 ユーザー ガイド** - MC55 EDA の使用方法について説明しています。
- **MC55 Integrator Guide** - MC55 EDA とアクセサリの設定方法について説明しています。
- **Microsoft® Applications for Windows Mobile 6 User Guide** - Microsoft 社製のアプリケーションの使用方法について説明しています。
- **Enterprise Mobility Application Guide** - Enterprise Mobility 製のサンプル アプリケーションについて説明しています。
- **Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help File** - アプリケーション開発用の API 情報について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線通信	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム	キーボード
MC5574	WLAN: 802.11 b/g WPAN: Bluetooth v2.0 EDR WWAN: GSM/ GPRS/EDGE GPS: SiRF III	3.5 インチ QVGA カラー	128 MB RAM/ 256 MB フラッシュ または 128 MB RAM/ 512 MB フラッシュ	1D レーザ、2D イメージャー、 1D レーザ および カメラまたは 2D イメージャー およびカメラ	Windows Mobile 6.X Professional	数字、 QWERTY、 QWERTZ、 AZWERTY または PIM
MC5590	WLAN: 802.11a/b/g WPAN: Bluetooth v2.0 EDR	3.5 インチ QVGA カラー	128 MB RAM/ 256 MB フラッシュ または 128 MB RAM/ 512 MB フラッシュ	1D レーザ、2D イメージャー、 1D レーザ および カメラまたは 2D イメージャー およびカメラ	Windows Mobile 6.X Classic	数字、 QWERTY、 QWERTZ、 AZWERTY または PIM
MC55A0	WLAN: 802.11a/b/g WPAN: Bluetooth v2.0 EDR	3.5 インチ VGA カラー	256 MB RAM/ 1 GB フラッシュ	1D レーザ、2D イメージャー、 1D レーザ および カメラまたは 2D イメージャー およびカメラ	Windows Mobile 6.5.x Classic	数字、 QWERTY、 QWERTZ、 AZWERTY または PIM
MC55A0-HC	WLAN: 802.11a/b/g WPAN: Bluetooth v2.0 EDR	3.5 インチ VGA カラー	256 MB RAM/ 1 GB フラッシュ	2D イメージャー (SE4500-DL の み) およびカメラ	Windows Mobile 6.5.x Classic	数字、 QWERTY

ソフトウェアバージョン

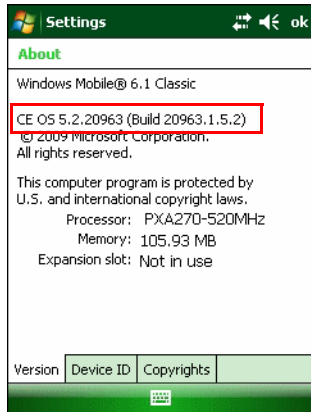
このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、次のオペレーティングシステムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

- Adaptation Kit Update (AKU) バージョン
- OEM バージョン
- BTExplorer バージョン
- Fusion バージョン
- Phone バージョン

AKU バージョン

Adaptation Kit Update (AKU) のバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > About (バージョン情報) アイコン > [Version] (バージョン) タブをタップします。

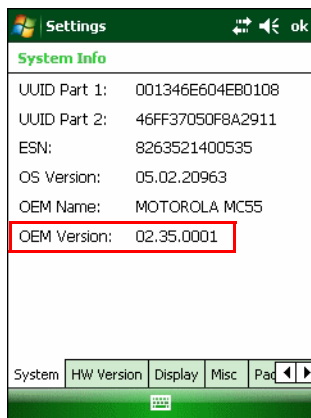


2 行目に、オペレーティング システムのバージョン番号とビルド番号が表示されます。ビルド番号の最後の部分が AKU 番号を表しています。たとえば、「Build 20963.1.5.2」は、デバイスで AKU バージョン 1.5.2 が実行されていることを示しています。

OEM バージョン

OEM ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > System Info (システム情報) アイコン > [System] (システム) タブをタップします。



BTE Explorer ソフトウェア

BTE Explorer ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** Windows Mobile 6.5 オペレーティング システムでの設定については、**[Start] (スタート) > [BTE Explorer] (BTE Explorer) > [Menu] (メニュー) > [About] (バージョン情報)** をタップして、バージョン情報を表示します。

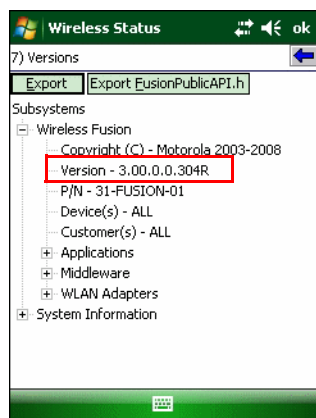
BTE Explorer アイコン > [Show BTE Explorer] (BTE Explorer を表示) > [Menu] (メニュー) > [About] (バージョン情報) をタップします。



Fusion ソフトウェア

Fusion ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

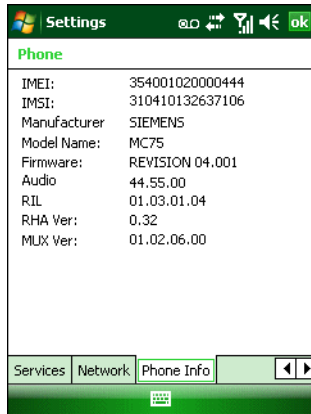
[Wireless Strength] (無線信号強度) アイコン > [Wireless Status] (無線状態) > [Versions] (バージョン) をタップします。



Phone ソフトウェア

Phone ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > [Phone] (電話) > [Menu] (メニュー) > [Options] (オプション) > [Phone Info] (電話情報) タブをタップするか、または [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Phone Info] (電話情報) アイコンをタップします。



章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章の「ご使用の前に」**- MC55 を初めて使用する際の手順について説明します。
- **第 2 章の「MC55 の使用方法」**- 電源の入れ方、MC55 のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC55 の基本的な使用方法について説明します。
- **第 3 章の「GPS ナビゲーションの使用」**- MC55 の GPS ナビゲーション機能について説明します。
- **第 4 章の「電話の使用」**- MC55 の電話機能の基本的な使用方法について説明します。
- **第 5 章の「Bluetooth の使用」**- MC55 の Bluetooth 機能について説明します。
- **第 6 章の「アクセサリ」**- 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを MC55 で使用する方法について説明します。
- **第 7 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」**- MC55 のお手入れ方法と保管方法、および問題発生時のトラブルシューティング方法について説明します。
- **付録 A 「技術仕様」**- MC55 の技術仕様について説明します。
- **付録 B 「Voice Quality Manager」**- Voice Quality Manager ソフトウェアについて説明します。
- **付録 C 「Windows Mobile 6.5」**- Windows Mobile 6.5.3 の新機能について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- EDA とは、Motorola MC55 シリーズのハンドヘルド コンピュータを指します。
- 斜体は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - スクリーン上のアイコン

- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - キーボード上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書

- **MC55 クイック スタート ガイド** (p/n 72-114971-xx)
- **MC55 Windows Mobile 6.1 Regulatory Guide** (p/n 72-108860-xx)
- **MC55 Integrator Guide** (p/n 72E-108861-xx)
- **Microsoft® Applications for Windows Mobile 6 User Guide** (p/n 72E-108299-xx)
- **Mobility Services Platform User Guide** (p/n 72E-100158-xx)
- **Enterprise Mobility Application Guide** (p/n 72E-68901-xx)
- **Enterprise Mobility Developer Kits (EMDK)** は、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/support> から入手可能です。
- 最新の ActiveSync ソフトウェアは、<http://www.microsoft.com> から入手可能です。

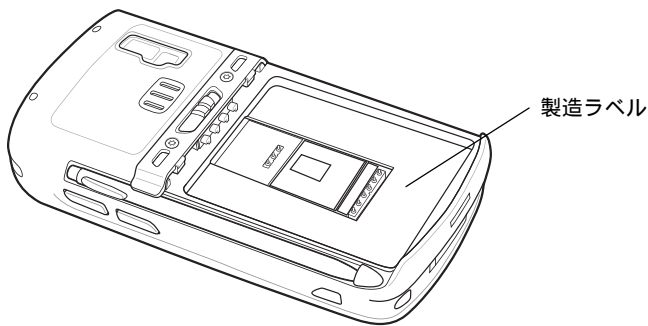
本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/manuals> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/contactsupport> に記載されています。

Enterprise Mobility Support (エンタープライズ モビリティ サポート) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号



Motorola では、サポート契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Motorola は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のエンタープライズ モビリティ ビジネス製品を Motorola ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

中南米の一部の国では、MC5574 でキャリア承認情報が必要になることがあります。MC5574 のキャリア承認情報を表示するには、**[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Carrier Approval Info] (キャリア承認情報)** をタップします。

第1章 ご使用前に

はじめに

ここでは、MC55 の各部名称とアクセサリについて列挙し、初めて使用する際の設定手順について説明します。

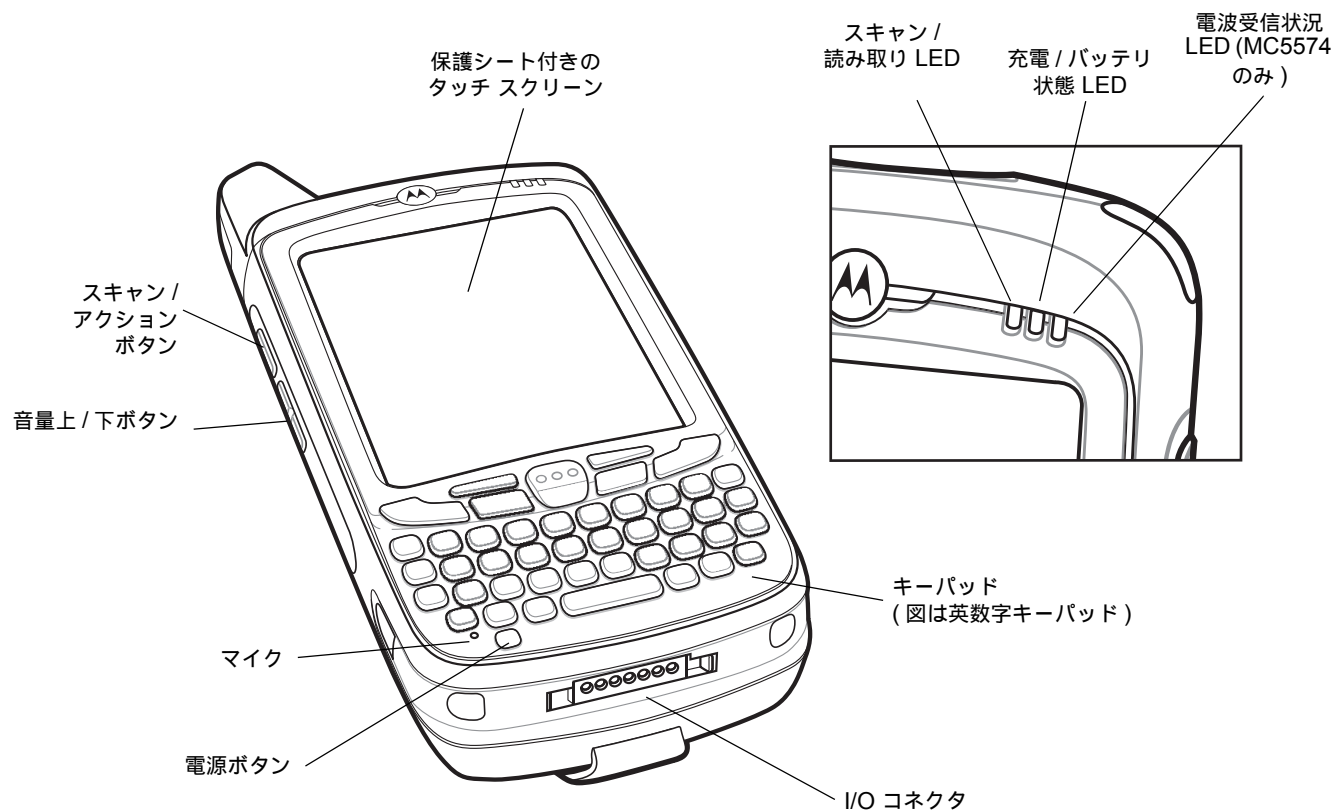


図 1-1 MC55 正面図

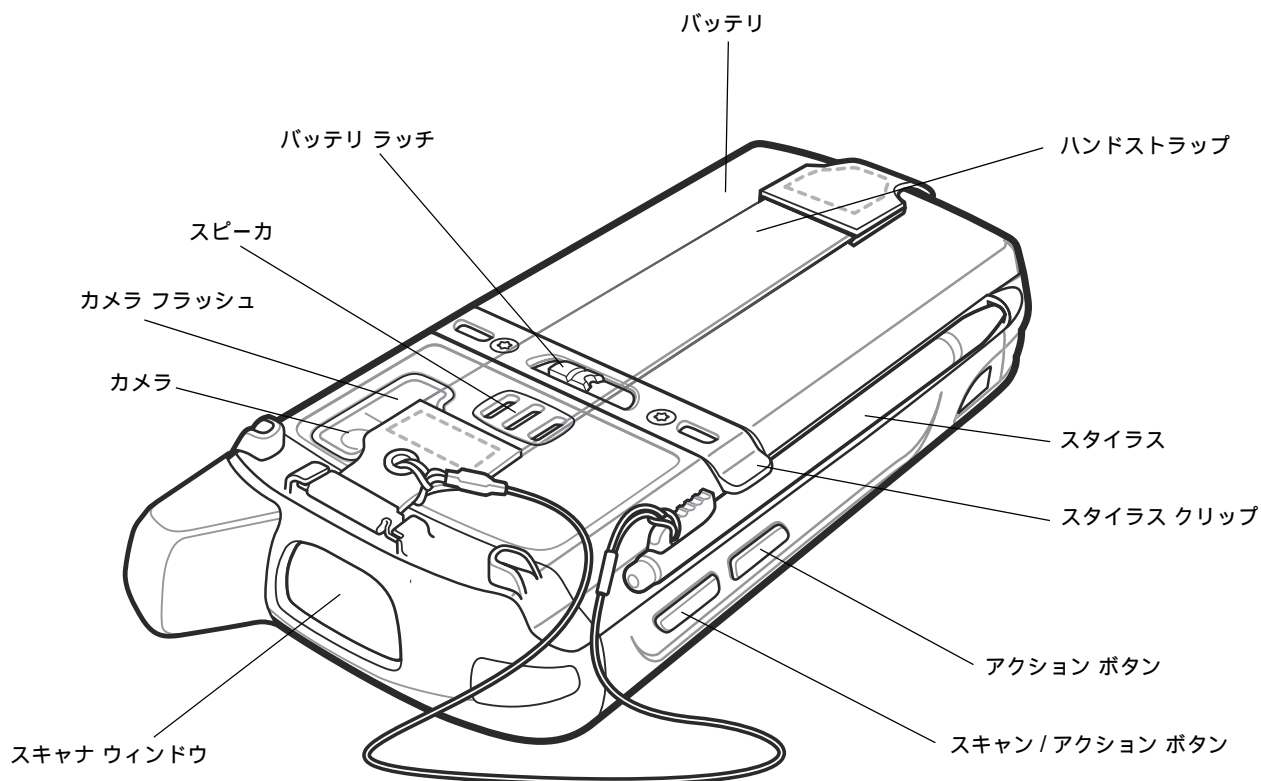


図 1-2 MC55 背面図

パッケージの開梱

MC55 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次のものが含まれていることを確認します。

- MC55 EDA
- 2400 または 3600mAh のリチウム イオン バッテリ
- ストラップ付きスタイラス (取り付け済み)
- スクリーン保護シート、ディスプレイ ウィンドウに取り付け済み
- 規制ガイド
- クイック スタート ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Motorola Enterprise Mobility Support Center (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート センター) にお問い合わせください。連絡先については、[xix ページ](#)を参照してください。

MC55 を初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

アクセサリ

表 1-1 に、MC55 EDA のアクセサリを示します。

表 1-1 MC55 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット USB クレードル	CRD5500-1000UR	MC55 のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。USB 接続を介して、MC55 とホスト コンピュータを同期します。
シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル	CRD5500-1000XR	MC55 のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。 イーサネット、モデム、または USB 接続を介して MC55 を ホスト コンピュータと同期します。
4 スロット充電専用 クレードル	CRD5500-4000CR	最大 4 台の MC55 デバイスを同時に充電します。
4 スロット イーサネット クレードル	CRD5500-4000ER	最大 4 台の MC55 デバイスを同時に充電し、MC55 を イーサネット ネットワークに接続します。
車載用クレードル	VCD5500-1000R	車載用のクレードルで、MC55 のメイン バッテリを充電します。
車載用ホルダー	VCH5500-1000R	MC55 を車載するもう 1 つのアクセサリです。MC55 の バッテリを充電するには、車用充電ケーブルが必要です。
充電器		
4 スロット予備バッテリ 充電器	SAC5500-4000CR	最大 4 個の MC55 バッテリ パックを同時に充電します。
USB 充電ケーブル	25-108022-02R	MC55 に電力を供給したり、USB 接続経由でホスト コンピュータ と通信します。
充電専用ケーブル	25-112560-01R	電源に接続すると MC55 に電気が供給されます。
車用充電ケーブル	VCA5500-01R	車両のシガー ライターを使って MC55 を充電します。
その他		
磁気ストライプ リーダー	MSR5500-100R	MC55 に装着して、磁気ストライプを読み取ることができます。
トリガ ハンドル	TRG5500-100R	MC55 にスキャン トリガを備えたガン タイプのハンドルが追加 されます。
DEX ケーブル	25-127558-01R	MC55 を自動販売機に接続します。
予備の 2400mAh リチウム イオン バッテリ	BTRY-MC55EAB00 BTRY-MC55EAB00-10 BTRY-MC55EAB00-50	交換用 2400 mAh バッテリ (MC5590 のみ)。 10 パック。 50 パック。
予備の 3600mAh リチウム イオン バッテリ	BTRY-MC55EAB02 BTRY-MC55EAB02-10 BTRY-MC55EAB02-50	交換用 3600mAh バッテリ。 10 パック。 50 パック。
予備の 3600mAh リチウム イオン バッテリ	BTRY-MC55EAB02-H	交換用 3600 mAh バッテリ (MC55A0-HC のみ)。
ベルト装着ホルスタ (ハードタイプ)	SG-MC5511110-01R	未使用時に MC55 を収めておくベルト装着ホルスタ。
ホルスタ (ソフトタイプ)	SG-MC5521110-01R	デバイスを保護するソフトタイプのホルダー。

表 1-1 MC55 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
スタイラス	KT-119150-03R KT-119150-50R	交換用スタイラス (3 本組)。 交換用スタイラス (50 本組)。
スタイラス	Stylus-00005-03R Stylus-00005-50R	MC55A0-HC 用交換用スタイラス (3 本組)。 MC55A0-HC 用交換用スタイラス (50 本組)。
スプリング付きスタイラス	STYLUS-00001-03R STYLUS-00001-10R	オプションのスプリング付きスタイラス (3 本組)。 オプションのスプリング付きスタイラス (10 本組)。
ストラップ	KT-122621-03R KT-122621-50R	交換用ストラップ (3 本組)。 交換用ストラップ (50 本組)。
抗菌ハンドストラップ	SG-MC5523341-01R	MC55A0-HC のみの交換用ハンドストラップ。
壁面用マウント キット	8710-050006-01R	4 スロット クレードルを壁に取り付けるのに使用します。
スクリーン保護シート	KT-67525-01R	スクリーン保護シート (3 枚組)。
ソフトウェア	-	Enterprise Mobility Developer Kits (EMDKs) http://support.symbol.com から入手可能。

ご使用の前に

MC55 を初めて使用する際には、次のことを行います。

- microSD カードの取り付け (オプション)
- SIM カードの取り付け (MC5574 のみ)
- メイン バッテリ パックの取り付け
- MC55 の充電
- MC55 の電源をオンにする

microSD カードの取り付け

microSD カードを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー パックの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 SD カードを損傷しないように、ESD に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
2. SIM カードホルダー ドアを上方にスライドさせてロックを解除します。
3. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。

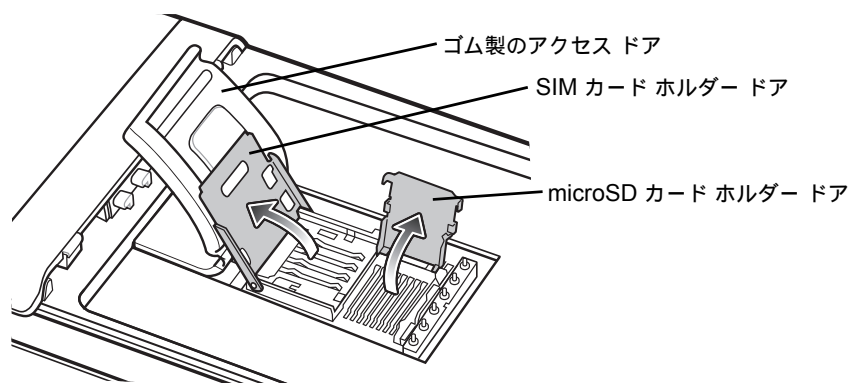


図 1-3 SIM スロットホルダードアを持ち上げる。

4. microSD カードホルダードアを持ち上げます。
5. microSD カードをカードホルダードアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

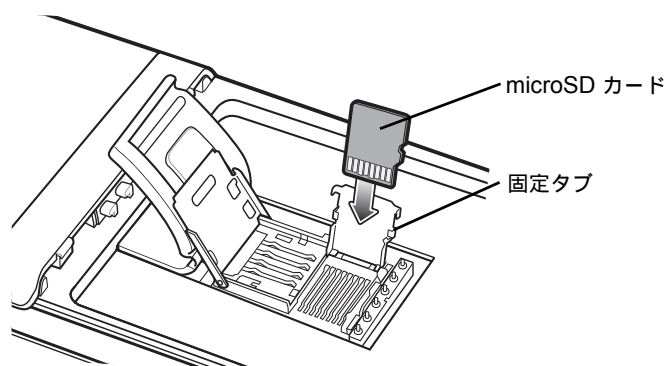


図 1-4 microSD カードをホルダーに挿入する

6. カードホルダードアを閉じて、カチッというまで押します。
7. SIM カードホルダードアを閉じて、所定の位置に固定されるまでスライドさせて押し込みます。
8. ゴム製のアクセスドアを閉じます。

SIM カードの取り付け

✓ **注** MC5574 モデルのみ

GSM 方式の回線を使用するには、SIM (Subscriber Identification Module: 加入者識別モジュール) カードまたはスマートカードを取り付ける必要があります。サービスプロバイダからこのカードを入手し、MC55 に取り付けてください。このカードには、次の情報を保存できます。

- サービスプロバイダのアカウントの詳細
- サービスへのアクセス方法と設定に関する情報
- 連絡先の情報。この情報は MC55 の Contacts (連絡先) に移動させることができます。
- 契約したその他のあらゆるサービス

✓ **注** SIM カードの詳細については、サービスプロバイダのマニュアルを参照してください。

SIM カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
2. SIM カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。
3. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。

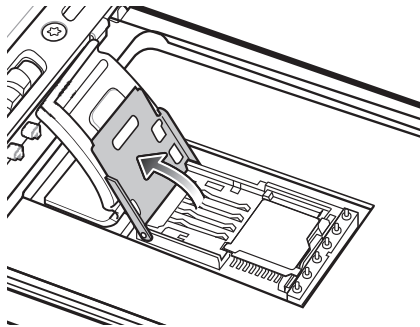


図 1-5 SIM カバーの持ち上げ方

4. 図 1-6 で示すように SIM カードを挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

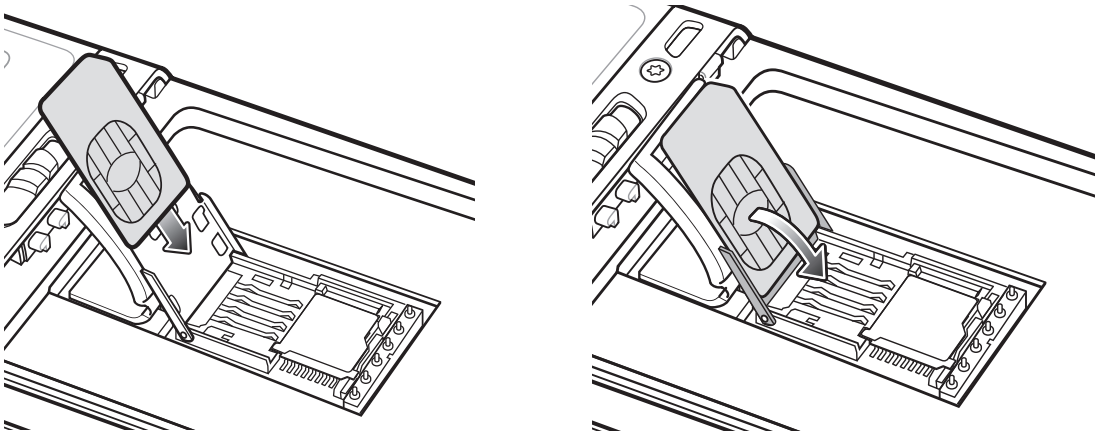


図 1-6 SIM カードの挿入

5. SIM カードホルダー ドアを閉じて、所定の位置にロックされるまでスライドさせて押し込みます。
6. ゴム製のアクセス ドアを閉じます。
7. バッテリーを取り付けます。

✓ **注** WWAN の有効化と設定の詳細については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

バッテリーの取り付け

- ✓ **注** MC55 には 2400 mAh または 3600 mAh バッテリーのいずれかが同梱されています。この取り付け手順では、2400 mAh バッテリーを例に挙げて説明します。

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC55 の背面のバッテリー コンパートメントに、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー コンパートメントに押し込みます。

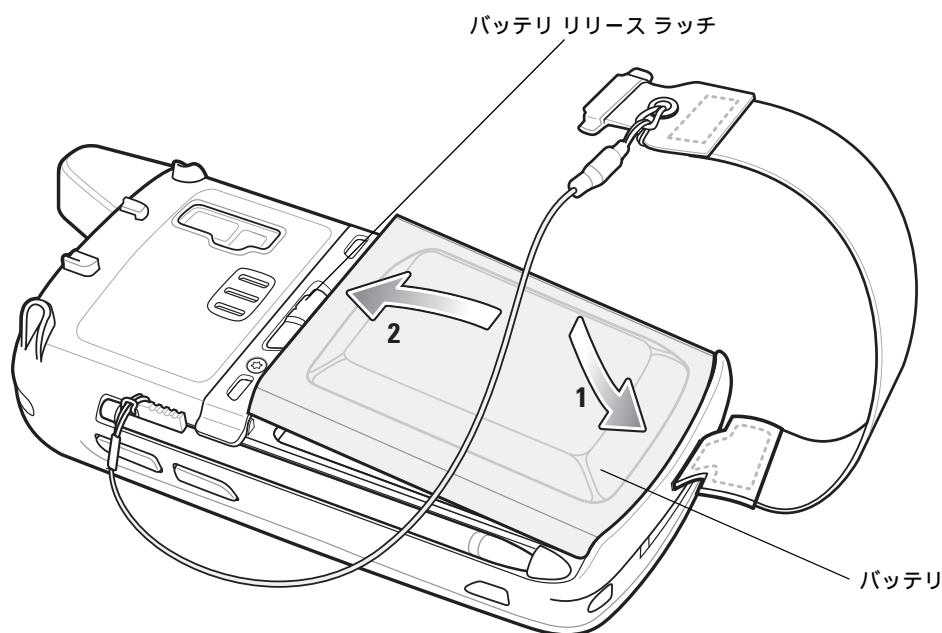


図 1-7 バッテリーの取り付け

充電されたバッテリーを MC55 に挿入すると、電源が自動的にオンになります。

バッテリーの充電



- 注意** 7-2 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

メイン バッテリーの充電

MC55 を初めて使用する場合は、充電/バッテリー状態 LED が黄色で点灯し続けるまでメイン バッテリーを充電します (充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表 1-2](#) を参照してください)。MC55 を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。MC55 のアクセサリの詳細については、[第 6 章の「アクセサリ」](#) を参照してください。

- ✓ **注** MC55A0 にだけバックアップ バッテリーが装備されています。

MC55A0 にはメモリ バックアップ バッテリーが装備されており、このバッテリーは、フル充電されたメイン バッテリーから自動的に充電されます。MC55A0 を初めて使用する場合は、バックアップ バッテリーがフル充電されるまで約 40 時間かかります。また、メイン バッテリーを数時間取り外して、バックアップ バッテリーが放電した場合も、同じ時間がかかります。MC55A0 のメイン バッテリーを取り外した場合、メモリ内の RAM データは、バックアップ バッテリーによって少なくとも 15 分間 (室温の

場合) 維持されます。MC55A0 のバッテリー残量が非常に少なくなった場合、メモリ内の RAM データは、メイン バッテリーとバックアップ バッテリーの両方によって少なくとも 48 時間維持されます。

ケーブルおよびクレードルの取り扱い方法および充電手順については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

- USB 充電ケーブル
- 充電専用ケーブル
- シングル スロット USB クレードル
- シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル
- 4 スロット充電専用クレードル
- 4スロット イーサネット クレードル。

メイン バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. MC55 をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。充電が開始されます。充電中は、充電/バッテリー状態 LED が黄色で点滅し、フル充電されると黄色で点灯します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 1-2](#)を参照してください。

2400 mAh バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。

表 1-2 LED 充電

充電/バッテリーの状態 LED	意味
オフ	MC55 は充電されていません。 MC55 が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。 充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	MC55 は充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。 注: MC55 に初めてバッテリーを取り付けたときにバッテリー残量が少なかったり、バッテリーが正しく入っていないと黄色の LED が 1 回点滅します。
黄色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。
黄色で 1 回点滅 (電源ボタンを押したとき)	バッテリーが完全に放電しています。
黄色で点滅 (電源ボタンを押したとき)	バッテリーが過熱状態になっています。

予備バッテリーの充電

アクセサリを使用して予備バッテリーを充電する方法については、[第 6 章の「アクセサリ」](#)を参照してください。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC55 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC55 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[表 1-2](#)を参照してください。

MC55 の電源の入れ方

バッテリーの挿入後、または MC55 の電源を初めてオンにすると、MC55 がフラッシュ ファイル システムを初期化している間、約 1 分間にわたって起動画面が表示され、その後調整ウィンドウが表示されます。これらのウィンドウは、コールド ブート時也表示されます。

スクリーンの調整

✓ **注** 調整画面にアクセスするには**ブルー** キーを押してから、**バックスペース** キーを押します。

タッチ スクリーンのカーソル位置とスタイラスの先端の位置が揃うようにスクリーンを調整するには、次の手順に従います。

1. MC55 の背面にあるホルダーからスタイラスを外します。
2. スタイラスの先端で、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。
3. スクリーン上を移動するターゲットに対して同じ操作を繰り返して、スクリーンをタップして続行します。

バッテリーの状態を確認する

✓ **注** バッテリーの状態を確認するには、MC55 から AC 電源 (クレードル、ケーブルなど) を取り外します。

MC55 でメイン バッテリーの充電状態を確認するには、**[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > Power (電源)** アイコンをタップして、**[Power] (電源)** ウィンドウを表示します。

バッテリー電力を節約するには、**[Advanced] (詳細)** タブをタップして、指定の時間が経過したら MC55 がオフになるように設定します。

バッテリーを交換する

1. 赤色の**電源**ボタンを押して、MC55 をサスペンド状態にします。

MC55A0 では、**[PowerKey Action] (PowerKey アクション)** ウィンドウが表示されます。**[Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換)** をタップします。読み取り LED が赤色で点灯した後、オフになります。

2. ハンドストラップを取り外します。
3. 指またはスタイラスでバッテリー ラッチを右にスライドさせると、バッテリーがリリースされます。バッテリーが少し外に出ます。

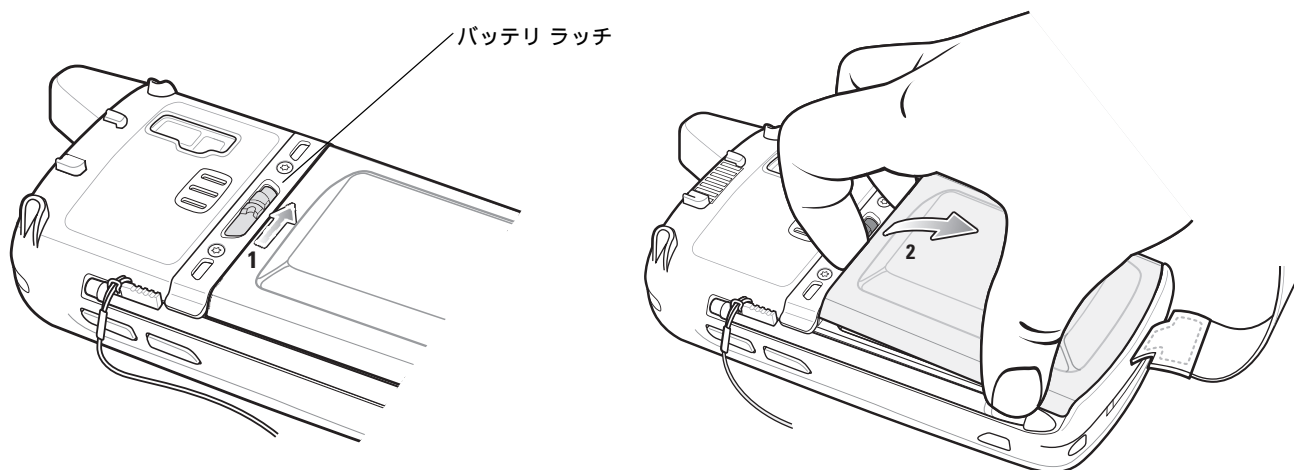


図 1-8 バッテリーの取り外し

4. バッテリーを MC55 から取り出します。
5. MC55 の背面のバッテリー コンパートメントに、交換用のバッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
6. ハンドストラップを再び取り付けます。
7. バッテリー リリース ラッチが固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
バッテリーを挿入すると MC55 の電源がオンになります。

microSD カードを取り外す

microSD カードを取り外すには、次の手順に従います。

1. 赤色の電源ボタンを押して、MC55 をサスペンド状態にします。
MC55A0 では、**[PowerKey Action] (PowerKey アクション)** ウィンドウが表示されます。**[Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換)** をタップします。読み取り LED が赤色で点灯した後、オフになります。
2. バッテリーを取り外します。
3. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
4. SIM カードホルダー ドアを上方にスライドさせてロックを解除します。
5. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。
6. microSD カードホルダー ドアを持ち上げます。
7. microSD カードをホルダーから取り外します。
8. microSD カードホルダー ドアを閉じます。
9. microSD カードホルダー ドアを閉じます。
10. SIM カードホルダー ドアを下方にスライドさせて所定の位置にロックします。
11. ゴム製のアクセス ドアを閉じます。
12. バッテリーを交換します。

バッテリーの管理

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- MC55 を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC55 を設定します。
- アイドル状態で一定時間経過したらバックライトがオフになるように MC55 を設定します。
- 無線機能を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。

電力設定の変更

アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC55 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > Power (電源) アイコン > [Advanced] (詳細) タブ**をタップします。
2. **[On battery power: Turn off device if not used for] (バッテリー使用時: 電源を切るまでのアイドル時間)** チェックボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[OK]** を選択します。

バックライトの設定の変更

バックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > Backlight (バックライト) アイコン > [Battery Power] (バッテリー電源) タブ**をタップします。
2. **[Disable backlight if device is not used for] (バックライトをオフにするまでのアイドル時間)** チェックボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[Brightness] (輝度)** タブを選択します。
4. **[Disable backlight] (バックライトを無効にする)** チェックボックスをタップして、ディスプレイのバックライトをオフにするか、スライダを使用してバックライトの値を低くします。
5. **[OK]** を選択します。

キーボードのバックライトの設定の変更

キーボードのバックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > Keylight (キーライト) アイコン > [Battery Power] (バッテリー電源) タブ**をタップします。
2. **[On battery power: Disable keylight if device is not used for] (バッテリー使用時: キーライトをオフにするまでのアイドル時間)** チェックボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[Advanced] (詳細) タブ**を選択します。
4. **[Disable keylight] (キーライトを無効にする)** チェックボックスをタップして、キーボードのバックライトをオフにします。
5. **[OK]** を選択します。

無線通信をオフにする方法

✓ **注** Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、[C-5 ページの「ステータス バー」](#)を参照してください。

Windows Mobile 6.1 デバイスには、デバイスのすべての無線機能を 1 か所で有効にしたり、無効にしたり、設定したりすることができる **Wireless Manager** が搭載されています。

Wireless Manager を開くには、**Connectivity (接続)** アイコンをタップするか、**[Today] (今日)** 画面で **[Wireless Manager]** をタップします。

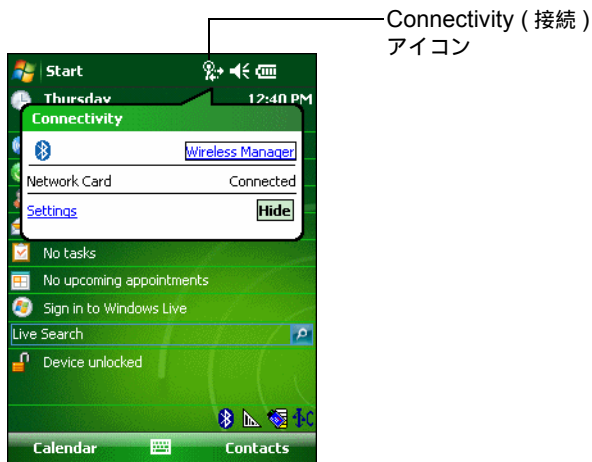


図 1-9 Wireless Manager の開き方

[Wireless Manager] を選択します。

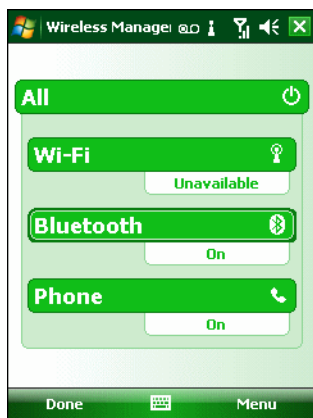


図 1-10 [Wireless Manager] ウィンドウ

✓ **注** 無線接続のオプションは、構成によって異なります。

無線接続を有効または無効にするには、目的のボタンをタップします。

すべての無線接続を有効または無効にするには、**[All] (すべて)** ボタンをタップします。

接続の設定を行うには、**[Menu] (メニュー)** をタップします。

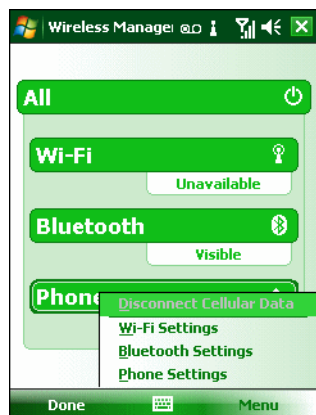


図 1-11 Wireless Manager の [Menu] (メニュー) の項目

ハンドストラップの交換

取り外し

MC55 からハンドストラップを取り外すには、次の手順に従います。

1. ハンドストラップ スロットからハンドストラップ クリップをスライドさせて取り外します。

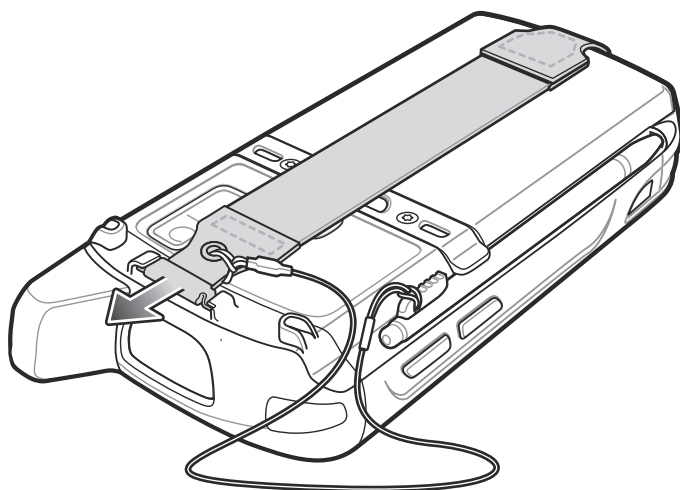


図 1-12 ハンドストラップ クリップの取り外し

2. 赤色の電源ボタンを押して、MC55 をサスペンド状態にします。

MC55A0 では、[PowerKey Action] (PowerKey アクション) ウィンドウが表示されます。[Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換) をタップします。読み取り LED が赤色で点灯した後、オフになります。

3. バッテリーを取り外します。



注意 ハンドストラップ ピンを取り外す際、ハンドストラップの取り付け位置を破損しないように気付けてください。

4. 次の図のように、ハンドストラップ ピンと筐体の間に小型のマイナス ドライバの先端を押しこみます。
5. てこの原理を利用してハンドストラップとピンを押し上げ、ストラップ取り付け位置から取り外します。

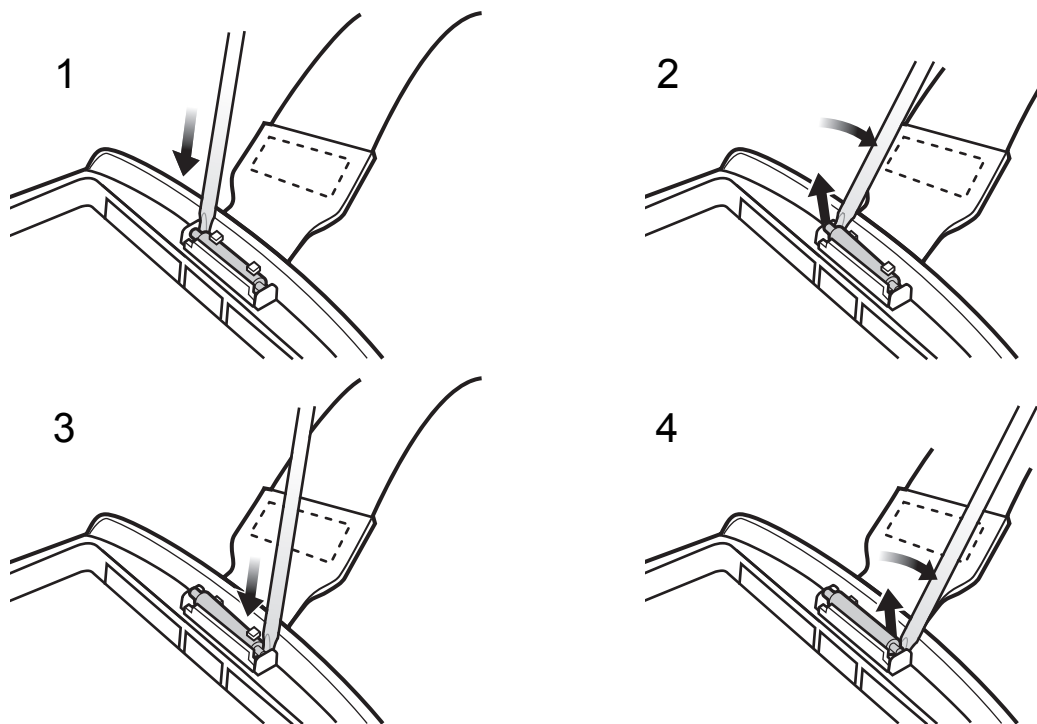


図 1-13 ハンドストラップとピンの取り外し

6. ハンドストラップの反対側でも同じ手順を繰り返します。
7. ハンドストラップからピンを取り外します。

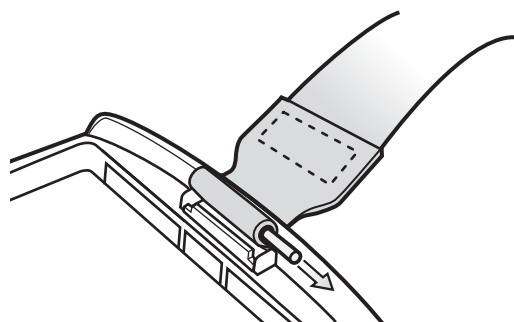


図 1-14 ピンの取り外し

8. ハンドストラップをハンドストラップのスロットを通してひっぱります。

機器の設置

新しいハンドストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC55 底部にあるハンドストラップ スロットにハンドストラップの端を通します。

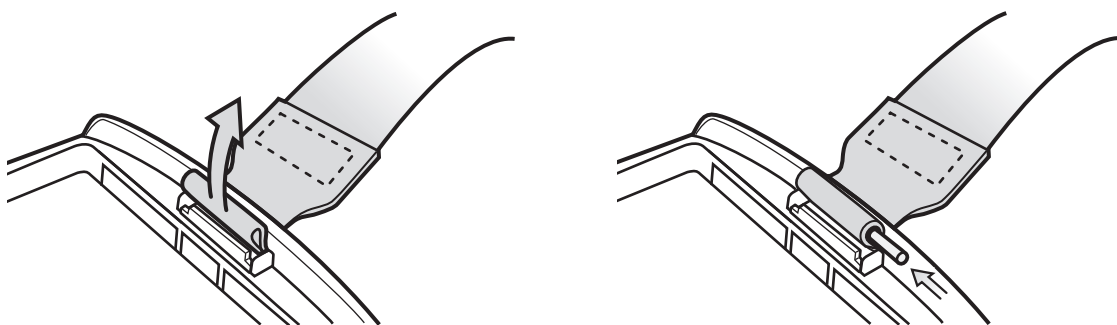


図 1-15 ハンドストラップ スロットにハンドストラップの端を通す

2. ハンドストラップの端にピンをスライドさせて入れます。
3. ピンがハンドストラップのループの中央に来るようにします。

✓ **注** ハンドストラップとピンはハンドストラップ取り付け位置にしっかりとはめてください。ハンドストラップを引っ張る際には、ピンが所定の位置に収まるよう十分な力を加えてください。

4. ピンとハンドストラップの端が取り付け位置にきちんと収まるようにハンドストラップを引っ張ります。

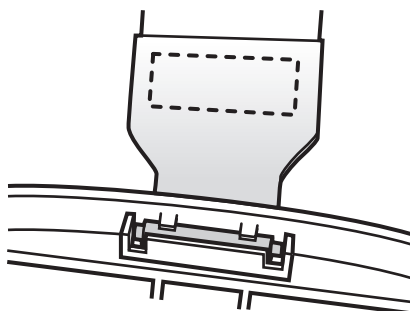


図 1-16 取り付け位置に収まったピンとハンドストラップ

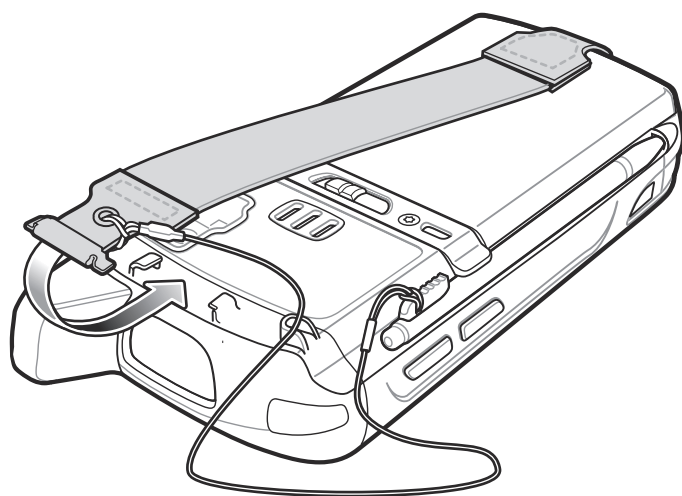


図 1-17 ハンドストラップ マウントにハンドストラップと留め具をスライドさせる

5. 留め具のループをハンドストラップの上にスライドさせます。

ハンドストラップ クリップをデバイスのスロットに挿入します。しっかりと固定されていることを確認します。

第2章 MC55 の使用方法

はじめに

ここでは、MC55 のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、電源の入れ方、MC55 のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC55 の基本的な使用方法についても説明します。

[Today] (今日) 画面

✓ **注** Windows Mobile 6.5.X のデバイスでは、[Today] (今日) 画面は異なります。詳細については、[C-2 ページの「ホーム画面」](#)を参照してください。

[Today] (今日) 画面には、今後の予定やステータス インジケータなどの重要な情報が表示されます。画面上のセクションをタップすると、関連付けられているプログラムが開きます。または、**[Start] (スタート) > [Today] (今日)** をタップして、**[Today] (今日)** 画面を表示します。

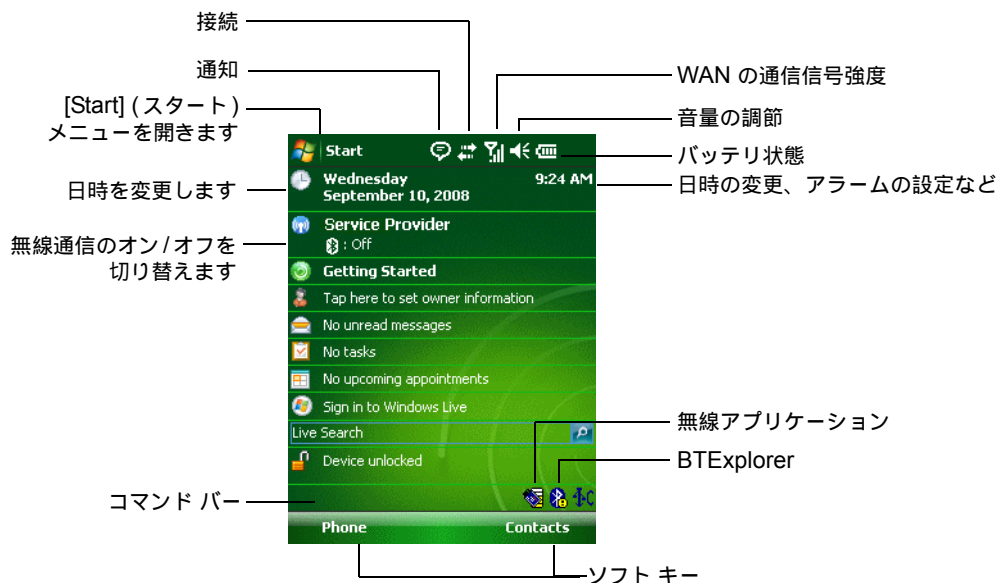


図 2-1 [Today] (今日) 画面

[Today] (今日) 画面をカスタマイズするには、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > Today (今日) アイコンをタップします。背景をカスタマイズするには [Appearance] (デザイン) タブを使用し、画面に表示される項目の表示と順番を変更するには [Items] (項目) タブを使用します。

ステータス アイコン

✓ 注 Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、[C-5 ページの「ステータス バー」](#)を参照してください。

画面の上部のナビゲーション バーには、[表 2-1](#) に示しているステータス アイコンが表示されます。

表 2-1 ステータス アイコン













































アイコン	機能	説明
	通知	1 つまたは複数のインスタント メッセージを受信したことを示します。
		1 つまたは複数の電子メール/テキスト メッセージを受信したことを示します。
		1 つまたは複数のボイス メッセージを受信したことを示します。
		表示しきれない通知アイコンがあります。このアイコンをタップすると、残りのアイコンが表示されます。
		今後のカレンダー イベントの通知を示します。
	接続	接続がアクティブです。
		接続が非アクティブです。
		同期中です。
		Wi-Fi を使用できます。
		Wi-Fi 使用中です。
		GPRS を使用できます (MC5574 のみ)
		GPRS 接続中です (MC5574 のみ)
		EGPRS を使用できます (MC5574 のみ)
		EGPRS 接続中です (MC5574 のみ)

表 2-1 ステータス アイコン (続き)

アイコン	機能	説明
	WAN (MC5574 のみ)	不在着信です。
		SIM カードが装着されていない状態でダイヤルしました。
		音声通話中です。
		通話を転送しました。
		通話保留中です。
		スピーカがオンになっています。
		アンテナ/信号アイコン: 無線オン/信号良好。
		アンテナ/信号アイコン: 無線オフ。
		アンテナ/信号アイコン: サービスなし、または検索中。
		GPRS 使用中です。
		EGPRS 使用中です。
		ローミング中です。
		SIM カードが装着されていません
	スピーカ	すべてのサウンドがオンになっています。
		すべてのサウンドがオフになっています。
	バッテリー	メイン バッテリー充電中。
		メイン バッテリーのレベル。
		メイン バッテリー残量が少ないまたは非常に少ない。
		バッテリー残量が極めて少ない。
 	時刻と次の予定	現在の時刻をアナログまたはデジタル形式で表示します。

画面下部のコマンド バーには、表 2-2 に示しているタスク トレイ アイコンが表示されます。

表 2-2 タスク トレイ アイコン

アイコン	説明	
	無線接続ステータス	WLAN 信号強度を示します。
	通信圏外 (未接続)	無線 LAN ネットワークに接続できないことを示しています。ネットワーク管理者に連絡してください。
	無線 LAN ネットワークカード未検出	無線 LAN が無効か無線通信が無効であることを示しています。ネットワーク管理者に連絡してください。
	Bluetooth 有効	Bluetooth 無線がオンになっていることを示します。(StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になると利用できます。)
	Bluetooth 無効	Bluetooth 無線がオフになっていることを示します。(StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になると利用できます。)
	Bluetooth の接続	Bluetooth 無線が、別の Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。(StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になると利用できます。)
	ActiveSync	MC55 とホスト コンピュータ間のシリアル接続が有効であることを示します。
	USB クライアント モード	MC55 が USB クライアント モードであることを示します。
	USB ホスト モード	MC55 が USB ホスト モードであることを示します。

Programs (プログラム)

✓ 注 Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、C-8 ページの「[Start] (スタート) 画面」を参照してください。

表 2-3 に、[Start] (スタート) メニューに表示されるデフォルトのプログラムを示します。

表 2-3 [Start] (スタート) メニューのプログラム



アイコン	名前	説明
	Office Mobile	モバイル デバイスで Microsoft® Office アプリケーション スイートのすべてのアプリケーションを使用できます。 Excel Mobile - ワークブックを新規作成したり、Microsoft® Excel® ワークブックを編集します。 OneNote Mobile - メモを新規作成したり、既存のメモを表示します。 PowerPoint Mobile - Microsoft® PowerPoint® のスライドとプレゼンテーションを表示します。 Word Mobile - Microsoft® Word 文書を作成、表示、編集します。
	Calendar (カレンダー)	予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。

表 2-3 [Start] (スタート) メニューのプログラム (続き)






アイコン	名前	説明
	Contacts (連絡先)	友人および同僚を管理します。
	Internet Explorer Mobile	Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。
	Messaging (メッセージ)	電子メールおよびテキスト メッセージを送受信します。
	Phone (電話)	電話をかける、電話を受ける、通話を切り替える、会議通話を設定します。
	Help (ヘルプ)	現在の画面またはプログラムのヘルプ トピックを表示します。

表 2-4 に、[Programs] (プログラム) ウィンドウに表示されるプログラムを示します。

表 2-4 [Programs] (プログラム) ウィンドウに表示されるプログラム












アイコン	名前	説明
	ActiveSync	MC55 とホスト コンピュータまたは Exchange Server 間で情報を同期します。
	AirBEAM	特別に設計されたソフトウェア パッケージをホスト サーバーと MC55 間で転送できます。詳細については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。
	BT Information (BT に関する情報)	Microsoft Bluetooth スタックが有効な場合、Bluetooth 情報を表示します。
	BTE Explorer	Bluetooth 接続を管理します。
	BTScannerCtlPanel (BT コントロール パネル)	RS507 のハンズフリー イメージャーで使用する COM ポートを設定します。
	Calculator (電卓)	加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算および計算を行います。

表 2-4 [Programs] (プログラム) ウィンドウに表示されるプログラム (続き)

アイコン	名前	説明
	Display_BD_Address (BD アドレスの表示)	機器の Bluetooth アドレスをバーコード形式で表示します。
	File Explorer (ファイル エクスプローラ)	デバイス上のファイルを整理および管理します。
	Getting Started (ご使用の前に)	時計、電子メール、パスワード、背景イメージの設定および音楽の転送に素早くアクセスできるリンクを提供します。
	Internet Sharing (インターネット共有)	MC55 のデータ接続を使用して、ノートブック コンピュータをインターネットに接続します。
	Messenger	モバイル バージョンの Windows Live Messenger を使用します。
	Modem Link (モデム リンク)	MC55 をモデムとして使用できるようにします。
	MSP Agent	MSP Agent と通信して、監視情報および資産情報を収集し、MC55 の構成、プロビジョニング、トラブルシューティングを行えるようにします。詳細については、『Mobility Services Platform 3.2 User Guide』を参照してください。
	Notes (メモ)	手書きのメモやタイプしたメモ、図、および音声録音を作成します。
	Pictures & Videos (画像とビデオ)	画像、アニメーション GIF、ビデオ ファイルを表示および管理します。
	Rapid Deployment Client (Rapid Deployment クライアント)	Mobility Services Platform Console FTP サーバーから MC55 ヘソフトウェアをダウンロードすることができます。詳細については、『Mobility Services Platform 3.2 User Guide』を参照してください。
	Remote Desktop Mobile (リモート デスクトップ モバイル)	Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC55 から使用します。
	Search (検索)	MC55 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。

表 2-4 [Programs] (プログラム) ウィンドウに表示されるプログラム (続き)

アイコン	名前	説明
	Task Manager (タスク マネージャ)	メモリおよび CPU の割り当てを表示し、プロセスを停止します。
	SIM Toolkit (SIM ツールキット)	SIM カードに保存されている連絡先を管理します。SIM の内容を MC55 の Contacts (連絡先) にコピーします。
	Tasks (タスク)	タスクを管理します。
	Windows Live	このモバイルバージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。
	Windows Media	オーディオ ファイルとビデオ ファイルを再生します。

Settings (設定)

✓ 注 Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、C-8 ページの「[Start] (スタート) 画面」を参照してください。

表 2-5 に、MC55 にプリインストールされている制御アプリケーションを示します。[Settings] (設定) ウィンドウを開くには、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) をタップします。

表 2-5 [Settings] (設定) ウィンドウの設定




アイコン	名前	説明
[Personal] (個人) タブ		
	Buttons (ボタン)	ボタンにプログラムを割り当てます。
	Input (入力)	各入力方法のオプションを設定します。
	Lock (ロック)	MC55 のパスワードを設定します。

表 2-5 [Settings] (設定) ウィンドウの設定 (続き)

アイコン	名前	説明
	Menus (メニュー)	[Start] (スタート) メニューに表示されるプログラムを設定します。
	Owner Information (オーナー情報)	個人情報を MC55 に入力します。
	Phone (電話)	電話をかける、電話を受ける、通話を切り替える、会議通話を設定します。
	Sounds & Notifications (サウンドと通知)	イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	Today (今日)	[Today] (今日) 画面のデザインと表示する情報をカスタマイズします。
[System] (システム) タブ		
	About (バージョン情報)	Windows Mobile® のバージョンや MC55 に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。
	Backlight (バックライト)	ディスプレイのバックライトのタイムアウトを設定したり、輝度を調整します。
	Certificates (証明書)	MC55 にインストールされている証明書に関する情報を表示します。
	Clock & Alarms (時計とアラーム)	デバイスの時計を自分の地域の日時に設定したり、出張時に出張先の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。
	Customer Feedback (カスタムフィードバック)	Windows Mobile 6.1 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。
	Encryption (暗号化)	ストレージ カード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。
	Error Reporting (エラー報告)	デバイスのエラー報告機能を有効または無効にします。この機能を有効にして、プログラム エラーが発生すると、プログラムとコンピュータの状態に関する技術データがテキスト ファイルに記録され、Microsoft のテクニカル サポートに送信するように選択した場合はそれが送信されます。

表 2-5 [Settings] (設定) ウィンドウの設定 (続き)

アイコン	名前	説明
	External GPS (外部 GPS)	必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。デバイス上に GPS データにアクセスするプログラムがある場合、または GPS レシーバを MC55 に接続する場合に、この設定を行う必要があります。
	GPS Setup (GPS のセットアップ)	GPS SUPL 情報を表示します。
	Keylight (キーライト)	キーボードのバックライトのタイムアウトを設定します。
	Managed Programs (管理プログラム)	システム管理者によってリモート操作でインストールされたアプリケーション一覧を表示します。
	Memory (メモリ)	デバイスのメモリ割り当て状態とメモリカード情報を確認します。
	Phone Info (電話情報)	電話のバージョン情報を表示します。
	Power (電源)	バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。
	Regional Settings (地域)	数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、MC55 で使用する地域設定を設定します。
	Remove Programs (プログラムの削除)	MC55 にインストールしたプログラムを削除します。
	Screen (スクリーン)	スクリーンの向きを変更したり、スクリーンを調整したり、スクリーンのテキストのサイズを変更します。
	System Info (システム情報)	MC55 のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。
	Task Manager (タスク マネージャ)	メモリおよび CPU の割り当てを表示し、プロセスを停止します。

表 2-5 [Settings] (設定) ウィンドウの設定 (続き)

アイコン	名前	説明
	USB Config (USB の設定)	USB ポートを設定します。
	Windows Update	Microsoft の Web サイトにリンクして、最新のセキュリティ パッチまたは修正プログラムでデバイス上の Windows Mobile® を更新します。使用しないでください。更新プログラムは Motorola から入手してください。
[Connections] (接続) タブ		
	Beam (ビーム)	受光 IrDA ビームを受信するようにデバイスを設定します。 (MC55 ではサポートされません。)
	Bluetooth	Microsoft Bluetooth スタックが有効な場合、Bluetooth ウィンドウを表示します。詳細については、 5-38 ページの「Microsoft Bluetooth スタックの使用方法」 を参照してください。
	Connections (接続)	電話のダイヤルアップ、GPRS、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続を設定して、デバイスがインターネットやプライベート ローカルネットワークにアクセスできるようにします。
	Domain Enroll (ドメインへの登録)	デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメイン メンバーに登録します。
	USB to PC (USB - PC)	拡張ネットワーク接続を有効または無効にします。
	Wi-Fi	無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。
	Wireless Manager (無線マネージャ)	MC55 の無線通信を有効または無効にしたり、Wi-Fi、Bluetooth、および Phone の設定をカスタマイズします。

音量を調節する

✓ **注** Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、[C-5 ページの「ステータス バー」](#)を参照してください。

ナビゲーション バーの **Speaker (スピーカ)** アイコンを使用して、システムの音量を調節するには、

1. **Speaker (スピーカ)** アイコンをタップします。[Volume] (音量) ダイアログ ボックスが表示されます。

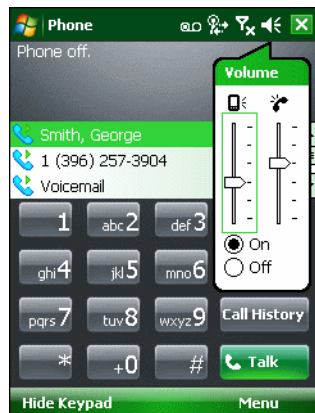


図 2-2 [Volume] (音量) ダイアログ ボックス

2. スライド バーをタップして移動し、音量を調節します。
3. [On] (オン) または [Off] (オフ) ラジオ ボタンを選択して、音量のオン/オフを切り替えます。

[Sounds & Notifications] (サウンドと通知) ウィンドウまたは MC55 の側面の上/下ボタンを使用してシステムの音量を調節することもできます。

バッテリー ステータス表示

Battery (バッテリー) アイコンは、ナビゲーション バーに表示され、バッテリー電力の残量を示します。メイン バッテリー電力の残量が定義済みのレベルを下回ると、アイコンによりステータスが示され、バッテリー電力のステータスを示すバッテリー ダイアログ ボックスが表示されます。

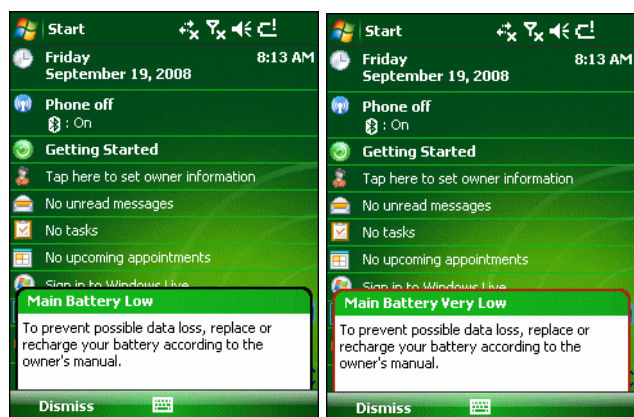


図 2-3 バッテリー ステータス ダイアログ ボックス

[Today] (今日) 画面が表示されている場合、**Battery (バッテリー)** アイコンは常に**ナビゲーション バー**に表示されます。このアイコンは、バッテリー電力の残量を示します。メッセージは、**[Dismiss] (消去)** ボタンを押すまで表示されます。



図 2-4 タイトル バー上の Battery (バッテリー) アイコン

[Power] (電源) ウィンドウでバッテリーのステータスを確認することもできます。次のいずれかの手順に従います。

- **Battery (バッテリー)** アイコンをタップします。
- **[Start] (スタート)** > **[Settings] (設定)** > **[System] (システム)** タブ > **Power (電源)** アイコン タブをタップします。

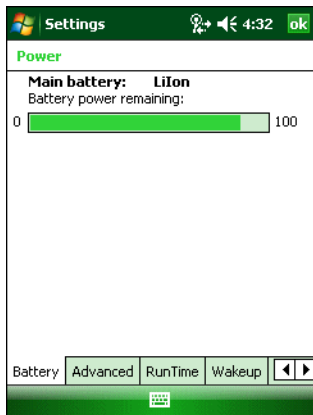


図 2-5 [Settings] (設定) の [Power] (電源) ウィンドウ

バッテリー確保オプション

バッテリーの残量がしきい値に達すると、MC55 はシャットダウンします。このしきい値は変更できますが、データを維持することが可能な時間に影響を与えます。

1. **[Start] (スタート)** > **[Settings] (設定)** > **[System] (システム)** タブ > **Power (電源)** アイコン > **[RunTime] (ランタイム)** タブをタップします。警告メッセージが表示されます。

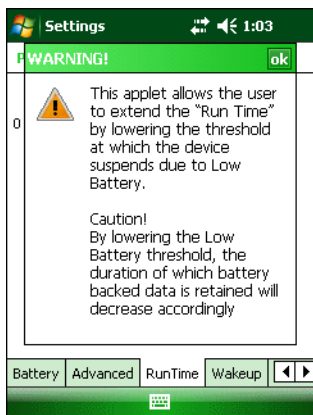


図 2-6 警告メッセージ

2. 警告メッセージを読んで、**[ok]** をタップします。

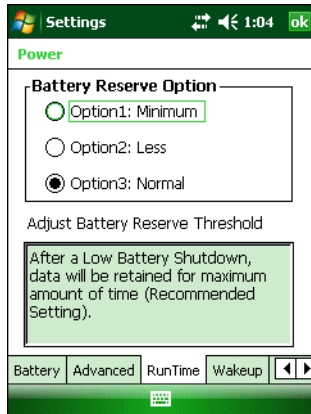


図 2-7 [RunTime] (ランタイム) タブ

3. いずれかの**バッテリー確保オプション**を選択します。

- **Option 1: Minimum (オプション 1: 最少)** - バッテリー残量低下によるシャットダウンの後、データは最少時間維持されます。データが失われないように直ちにバッテリーを交換する必要があります。
- **Option 2: Less (オプション 2: 小)** - バッテリー残量低下によるシャットダウンの後、データは標準時間よりも少ない時間維持されます。
- **Option 3: Normal (オプション 3: 標準)** - バッテリー残量低下によるシャットダウンの後、データは標準時間維持されます。

4. [ok] をタップします。

メイン バッテリーの温度通知

温度通知システムは、バッテリーの内部温度が特定の温度しきい値を超えたときに 3 つのレベルの通知を表示します。

- **レベル 1: Temperature Watch (温度監視)** - このレベルは、メイン バッテリーの残量が少なくなったときの警告と似ています。バッテリー温度が最初のしきい値レベルに達したことを示します。適切な動作温度の環境に移動する必要があります。
- **レベル 2: Temperature Warning (温度警告)** - このレベルは、メイン バッテリーの残量が非常に少なくなったときの警告と似ています。バッテリー温度が 2 番目のしきい値レベルに達したことを示します。実行中のアプリケーションをすべて終了して、MC55 の使用を停止してください。
- **レベル 3: Temperature Error (温度エラー)** - バッテリーが使用不能な温度しきい値に達したことを示し、直ちに MC55 をサスペンドします。このレベルでは、画面に通知は表示されません。



図 2-8 [Main Battery Temperature Watch] (メイン バッテリー温度監視) ダイアログ ボックス



図 2-9 [Main Battery Temperature Warning] (メイン バッテリー温度警告) ダイアログ ボックス

✓ **注** [Temperature Warning] (温度警告) ダイアログ ボックスは、[Hide] (非表示) をタップするまで表示され続けます。

LED インジケータ

MC55 には、3 つの LED インジケータがあります。スキャン/読み取り LED は、スキャンのステータスを示します。充電/バッテリー状態 LED は、バッテリーの残量と状態を示します。電波受信状況 LED は、WWAN 無線通信の状態を示します。

表 2-6 で、LED 表示の意味について説明します。

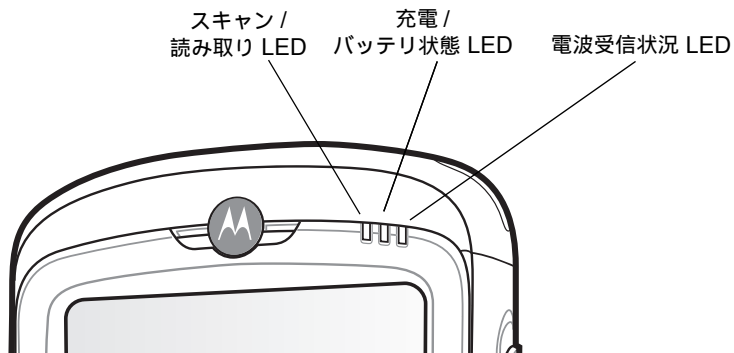


図 2-10 LED インジケータ

表 2-6 LED インジケータ

LED の状態	意味
スキャン/読み取り LED	
緑色の点灯	読み取り/収集が正常に完了しました。
赤色の点灯	レーザーは有効になっており、スキャン/イメージングを実行中です。
オフ	無効。
充電/バッテリー状態 LED	
黄色でゆっくり点滅	MC55 内のメイン バッテリーを充電中です。
黄色で点灯	MC55 内のメイン バッテリーがフル充電されました。

表 2-6 LED インジケータ (続き)

LED の状態	意味
黄色で速く点滅	充電エラーです。
オフ	充電していません。
黄色で 1 回点滅 (電源ボタンを押したとき)	バッテリーが完全に放電しています。
黄色で点滅 (電源ボタンを押したとき)	バッテリーが過熱状態になっています。
電波受信状況 LED (MC5574 のみ)	
緑色でゆっくり点滅	RF (WWAN) は有効です。
オフ	RF は無効です。

- ✓ **注** スキャン / 読み取りについては、[2-35 ページの「データ収集」](#)を参照してください。WWAN 無線通信の状態と設定については、[第 4 章の「電話の使用」](#)を参照するか、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

MC55 のリセット

ウォーム ブートとコールド ブートの 2 つのリセット機能があります。ウォーム ブートは、実行中の全プログラムを終了して MC55 を再起動します。コールド ブートでも、MC55 は再起動され、さらに一部のドライバが初期化されます。フラッシュメモリやメモリ カードに保存したデータは失われません。

MC55 が正常に機能していない場合は、まずウォーム ブートを実行します。それでも MC55 が応答しない場合は、コールド ブートを実行します。

ウォーム ブートの実行

赤色の電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。MC55 が起動を開始したら (起動画面が表示されます)、電源ボタンを放します。

コールド ブートの実行

コールド ブートを実行するには、以下の手順に従います。

- 数字キーパッドの場合、赤色の電源ボタンと  および  キーを同時に押します。
- 英数字キーパッドの場合、赤色の電源ボタンと  および  キーを同時に押します。
- PIM キーパッドの場合、赤色の電源ボタンと  および  キーを同時に押します。

MC55 のウェイクアップ

ウェイクアップ条件によって、モバイル コンピュータがサスペンド モードになった後に、それをウェイクアップする操作を定義します。モバイル コンピュータは、電源ボタンを押した場合に、または [Control Panel] (コントロール パネル) のタイムアウト設定によって自動的に、サスペンド モードになります。これらの設定は変更可能です。表 2-7 に示す工場出荷時のデフォルト設定は、変更/更新されることがあります。

表 2-7 ウェイクアップのデフォルト設定

ウェイクアップの条件	電源ボタン	自動タイムアウト
AC 電源が供給された。	いいえ	はい
モバイル コンピュータをクレードルにセットした。	いいえ	はい
モバイル コンピュータをクレードルから取り外した。	いいえ	はい
モバイル コンピュータを USB デバイスに接続した。	いいえ	はい
モバイル コンピュータを USB デバイスから切断した。	いいえ	はい
キーを押した。	いいえ	はい
スキャン トリガを押した。	いいえ	はい
スクリーンをタッチした。	いいえ	いいえ
Bluetooth 通信	はい	はい
電話の着信	はい	はい

MC55 のロック

✓ **注** Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、C-15 ページの「MC55 のロック」を参照してください。

キーやスクリーン タップを無効にするか、あるいはパスワードを要求することで MC55 をロックできます。

キーボードのロック

MC55 をロックすると、キーボードとタッチ スクリーン機能がオフになります。MC55 がオンになっている状態で、キーの誤操作を防止するのに役立ちます。

デバイスをロックするには、**Device unlocked (デバイス ロック解除)** アイコンをタップします。アイコンがロック状態に変わります。



図 2-11 Device Locked/Unlocked (デバイス ロック/デバイス ロック解除) アイコン

デバイスをロック解除して、使用できるようにするには、[Unlock] (ロック解除) をタップします

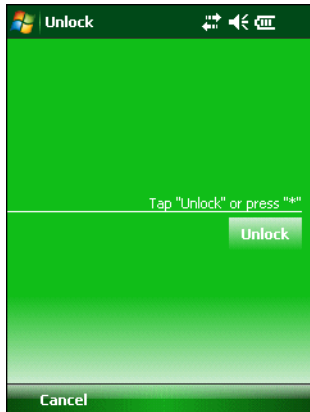


図 2-12 [Unlock] (ロック解除) デバイス ウィンドウ

[Unlock] (ロック解除) ウィンドウで [Unlock] (ロック解除) をタップします。

- ✓ **注** MC55 がロックされている場合でも、緊急通話は行えます。詳細については、[4-8 ページの「緊急通話をかける」](#)を参照してください。

パスワード ロック

[Password] (パスワード) ウィンドウでパスワードを設定し、MC55 への不正なアクセスを防止します。

- ✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1. [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Personal] (個人) タブ > Lock (ロック) アイコン > [Password] (パスワード) タブをタップします。

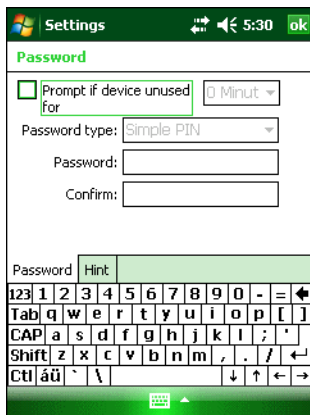


図 2-13 [Password] (パスワード) ウィンドウ - [Password] (パスワード) タブ

2. [Prompt if device unused for] (パスワード入力が必要になるまでの時間) チェック ボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。
4. [Password type:] (パスワード タイプ:) ドロップダウン リストから、[Simple PIN] (数字の簡易パスワード) または [Strong alphanumeric] (強力な英数字のパスワード) のいずれかを選択します。

5. 簡易パスワードの場合は、4桁のパスワードを **[Password] (パスワード)** フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. **[Password:] (パスワード:)** フィールドに7文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは7文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から3種類以上を含める必要があります。
 - b. **[Confirm:] (確認:)** フィールドにパスワードを再入力します。
6. **[ok]** をタップします。
7. パスワードを思い出すためのヒントを設定するには、**[Hint] (ヒント)** タブをタップします。

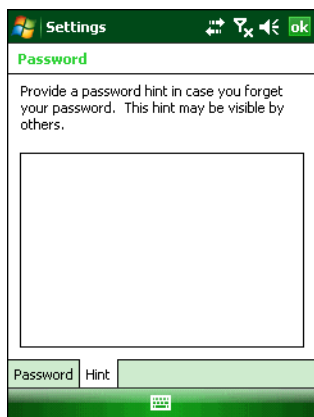


図 2-14 **[Password] (パスワード) ウィンドウ - [Hint] (ヒント) タブ**

8. テキストボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
9. **[ok]** をタップします。

一定時間使用されていなかった MC55 にアクセスしようとする時、**[Password] (パスワード) ウィンドウ**が表示されます。

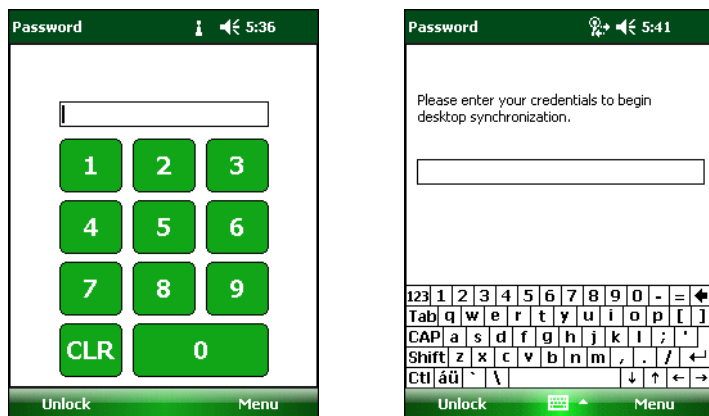


図 2-15 **[Enter Password] (パスワードの入力) ウィンドウ**

- ロックを解除するパスワードを入力します。
- [Unlock] (ロック解除)** をタップします。

キーボード

MC55 には、数字、英数字、および PIM の 3 種類のキーボード構成があります。

数字キーボード構成

数字キーボードには、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーが含まれます。キーボードは色分けされており、代替ファンクションキー（ブルー）の値が示されています。アプリケーションによってキーボードの機能が変わることもあるため、MC55 のキーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、表 2-8 を参照してください。キーボードの特殊機能については、2-22 ページの表 2-9 を参照してください。

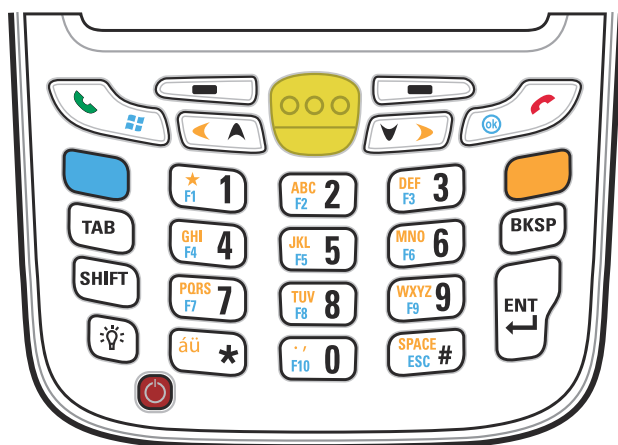


図 2-16 MC55 数字キーボード

表 2-8 MC55 数字キーボードの説明






キー	説明
ブルー キー 	アプリケーションを起動したり、項目（キーボードに青で示されている項目）にアクセスするには、このキーを使用します。 このモードをアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。 1 回押すと、キーのライトがオンになり、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。 
オレンジ キー 	文字と操作の第 2 階層（キーボードにオレンジで示されている項目）にアクセスするには、このキーを使用します。キーボードを英字入力モードに切り替えるには、オレンジ キーを 1 回押します。1 回押すと、キーのライトがオンになり、画面の下部に次のアイコンが表示されます。オレンジ キーをもう一度押すと、通常モードに戻ります。  オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります（次の押したキーにのみ適用されます）。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 

表 2-8 MC55 数字キーパッドの説明 (続き)




キー	説明
<p>Talk/Start (通話 / スタート) メニュー</p> 	<p>Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。 通話中に押すと、保留になります。 このキーとブルー キーを一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [Start] (スタート) メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。 MC5590: キーボードのキーをアプリケーション キー (APP キー) として使用する場合は、新しいキーボードのリマップ テーブルを作成してインストールします。ただし、レジストリ経由で緑色の電話キーを APP キーとしてリマップする場合は、以下のエントリが含まれる XML プロビジョニング ファイルを作成します。</p> <pre><characteristic type="HKLM\Hardware\DeviceMap\KYBD"> <parm name="GreenKeyOverride" value="xx" datatype="integer" /> [xx には新しい APP キーコードが入ります]</pre> <p>MC55 にファイルをプロビジョニングして、緑色の電話キーを押すと、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送信されます。XML プロビジョニング ファイルの作成方法については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。</p>
<p>スキャン (黄色)</p> 	<p>スキャン対応アプリケーションで / イメージャーがアクティブになります。</p>
<p>End/OK (終了 / OK)</p> 	<p>End (終了) (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。 このキーとブルー キーを一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。 キーボードのキーをアプリケーション キー (APP キー) として使用する場合は、新しいキーボードのリマップ テーブルを作成してインストールします。ただし、レジストリ経由で赤色の電話キーを APP キーとしてリマップする場合は、以下のエントリが含まれる XML プロビジョニング ファイルを作成します。</p> <pre><characteristic type="HKLM\Hardware\DeviceMap\KYBD"> <parm name="RedKeyOverride" value="yy" datatype="integer" /> [yy には新しい APP キーコードが入ります]</pre> <p>MC55 にファイルをプロビジョニングして、赤色の電話キーを押すと、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送信されます。XML プロビジョニング ファイルの作成方法については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。</p>
<p>上 / 左ヘスクロール</p> 	<p>1 つ上の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。</p>

表 2-8 MC55 数字キーボードの説明 (続き)

キー	説明
下/右へスクロール 	1 つ下の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。
ソフト キー  	画面上のコマンドやメニューにアクセスします。
アスタリスク 	デフォルトの状態では、アスタリスクが入力されます。 ブルー キーを押して放し、アスタリスク キーを押すと、特殊文字が入力されます。詳細については、 2-32 ページの「特殊文字キー」 を参照してください。
英数字 	デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。 英字モードの場合は、キーに示されている英字が小文字で入力されます。キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「i」が入力されます。 英字モードで SHIFT キーを押すと、キーに示されている英字が大文字で入力されます。たとえば、オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「G」が入力されます。オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「I」が入力されます。
Backspace 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
SHIFT 	キーボードの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。 1 回押すと、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。  オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

表 2-9 数字キーボードの入力モード

キー	数値モード			オレンジキー (英字小文字モード)				オレンジキー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー + キー	SHIFT + キー	1回 押した 場合	2回 押した 場合	3回 押した 場合	4回 押した 場合	1回 押した 場合	2回 押した 場合	3回 押した 場合	4回 押した 場合
1	1	F1	!	*	*	*	*	*	*	*	*
2	2	F2	@	a	b	c		A	B	C	
3	3	F3	#	d	e	f		D	E	F	
4	4	F4	\$	g	h	i		G	H	I	
5	5	F5	%	j	k	l		J	K	L	
6	6	F6	^	m	n	o		M	N	O	
7	7	F7	&	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	8	F8	*	t	u	v		T	U	V	
9	9	F9	(w	x	y	z	W	X	Y	Z
0	0	F10)	.	,			>	<		
上	上	上	上を強 調表示	左				左			
下	下	下	下を強 調表示	右				右			
Enter	アク ション	アク ション	アク ション	アク ション				アク ション			

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりには機能しない場合があります。

英数字キーボード構成

3種類の英数字キーボードで、26文字の英字(QWERTY、AZERTY、およびQWERTZ)、数字(0～9)、および各種文字を入力できます。キーボードは色分けされており、特定の文字を入力したり機能を実行するのに必要な修飾キーが示されています。キーボードのデフォルトの文字は、英字の小文字です。キーとボタンの説明については、[表 2-10](#)を参照してください。キーボードの特殊機能については、[2-26 ページの表 2-11](#)を参照してください。AZERTY キーボードはフランス語オペレーティングシステムがインストールされた構成で使用されます。QWERTZ キーボードはドイツ語オペレーティングシステムがインストールされた構成で使用されます。



図 2-17 QWERTY キーボード構成



図 2-18 AZERTY キーボード構成



図 2-19 QWERTZ キーボード構成

表 2-10 英数字キーボードの説明








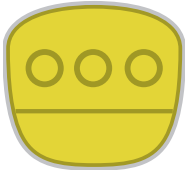
キー	アクション
ブルー キー 	<p>このモードを一時的にアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して放してから、別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。 </p> <p>このモードをロックするには、ブルー キーを 2 回押して放します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 </p> <p>ブルー キーを 3 回押して放すと、ロックが解除されます。</p>
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーボードにオレンジで示されている項目) にアクセスします。このモードを一時的にアクティブにするには、オレンジ キーを 1 回押して放してから、別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。 </p> <p>このモードをロックするには、オレンジ キーを 2 回押して放します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 </p> <p>オレンジ キーを 3 回押して放すと、ロックが解除されます。</p>
Talk/Start (通話 / スタート) メニュー 	<p>Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーボード ウィンドウを表示したり、電話キーボード ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。通話中に押すと、保留になります。このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [Start] (スタート) メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p> <p>キーボードのキーをアプリケーション キー (APP キー) として使用する場合は、新しいキーボードのリマップ テーブルを作成してインストールします。ただし、レジストリ経由で緑色の電話キーを APP キーとしてリマップする場合は、以下のエントリが含まれる XML プロビジョニング ファイルを作成します。</p> <pre data-bbox="505 1304 1317 1398"><characteristic type="HKLM\Hardware\DeviceMap\KYBD"> <parm name="GreenKeyOverride" value="xx" datatype="integer" /> [xx には新しい APP キーコードが入ります]</pre> <p>MC55 にファイルをプロビジョニングして、緑色の電話キーを押すと、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送信されます。XML プロビジョニング ファイルの作成方法については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションで / イメージャーがアクティブになります。</p>

表 2-10 英数字キーボードの説明 (続き)

キー	アクション
End/OK (終了 /OK) 	End (終了) (赤色の電話): 電話キーボード ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。 このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。 MC5590: キーボードのキーをアプリケーション キー (APP キー) として使用する場合は、新しいキーボードのリマップ テーブルを作成してインストールします。ただし、レジストリ経由で緑色の電話キーを APP キーとしてリマップする場合は、以下のエントリが含まれる XML プロビジョニング ファイルを作成します。 <pre><characteristic type="HKLM\Hardware\DeviceMap\KYBD"> <parm name="RedKeyOverride" value="yy" datatype="integer" /> [yy には新しい APP キーコードが入ります]</pre> MC55 にファイルをプロビジョニングして、赤色の電話キーを押すと、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送信されます。XML プロビジョニング ファイルの作成方法については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。
上 / 左ヘスクロール 	1 つ上の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。
下 / 右ヘスクロール 	1 つ下の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。
ソフト キー 	画面上のコマンドやメニューにアクセスします。
Shift 	英字小文字モードを英字大文字モードに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> このモードを一時的にアクティブにするには、Shift キーを 1 回押して別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。  このモードをロックするには、Shift キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。  ロックを解除するには、Shift キーをもう一度押します。
バックライト 	ディスプレイのバックライトのオン / オフを切り替えます。
Backspace 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。

表 2-10 英数字キーボードの説明 (続き)




キー	アクション
Enter 	選択した項目または機能を実行します。
アスタリスク 	アスタリスクが入力されます。
au 	特別な文字が入力されます。

表 2-11 QWERTY キーボードの入力モード

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Q	q	Q	*	q
W	w	W	1	w
E	e	E	2	e
R	r	R	3	r
T	t	T	+	t
Y	y	Y	-	y
U	u	U	-	u
I	i	I	=	i
O	o	O	"	o
P	p	P	áü	p
A	a	A	#	a
S	s	S	4	s
D	d	D	5	d
F	f	F	6	f
G	g	G	(g
H	h	H)	h
J	j	J	/	j
K	k	K	:	k
L	l	L	'	l
Backspace	Backspace	Backspace	Backspace	Backspace
Shift	Shift	Shift-Lock	Shift	Shift

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表2-11 QWERTY キーボードの入力モード (続き)

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Z	z	Z	7	z
X	x	X	8	x
C	c	C	9	c
V	v	V	%	v
B	b	B	&	b
N	n	N	!	n
M	m	M	?	m
,	,	<	@	,
ENTER	Enter	Enter	Enter	Enter
0	0)	0	0
TAB	Tab	Tab	Back tab	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.(ピリオド)	.	>	.	.

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表2-12 AZERTY キーボードの入力モード

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
A	a	A	*	a
Z	z	Z	1	z
E	e	E	2	e
R	r	R	3	r
T	t	T	+	t
Y	y	Y	-	y
U	u	U	-	u
I	i	I	=	i
O	o	O	"	o
P	p	P	áü	p
Q	q	Q	#	q
S	s	S	4	s
D	d	D	5	d
F	f	F	6	f
G	g	G	(g
H	h	H)	h

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 2-12 AZERTY キーボードの入力モード (続き)

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
J	j	J	/	j
K	k	K	:	k
L	l	L	'	l
Backspace	Backspace	Backspace	Backspace	Backspace
Shift	Shift	Shift-Lock	Shift	Shift
W	w	W	7	w
X	x	X	8	x
C	c	C	9	c
V	v	V	%	v
B	b	B	&	b
N	n	N	!	n
M	m	M	?	m
,	,	<	@	
Enter	Enter	Enter	Enter	Enter
0	0)	0	0
TAB	Tab	Tab	Back tab	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.(ピリオド)	.	>	.	.

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 2-13 QWERTZ キーボードの入力モード

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Q	q	Q	*	q
W	w	W	1	w
E	e	E	2	e
R	r	R	3	r
T	t	T	+	t
Z	z	Z	_	z
U	u	U	-	u
I	i	I	=	i
O	o	O	"	o
P	p	P	áü	p
A	a	A	#	a

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 2-13 QWERTZ キーボードの入力モード (続き)

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
S	s	S	4	s
D	d	D	5	d
F	f	F	6	f
G	g	G	(g
H	h	H)	h
J	j	J	/	j
K	k	K	:	k
L	l	L	'	l
Backspace	Backspace			
Shift	Shift			
Y	y	Y	7	y
X	x	X	8	x
C	c	C	9	c
V	v	V	%	v
B	b	B	&	b
N	n	N	!	n
M	m	M	?	m
,	,	<	@	,
ENTER	Enter	ENTER	ENTER	Enter
0	0)	0	0
TAB	Tab	Tab	Back tab	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.(ピリオド)	.	>	.	.

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

PIM キーパッド構成

PIM キーパッドにはアプリケーション キーとスクロール キーがあります。アプリケーションによってキーパッドの機能が変換することがあるため、MC55 のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[表 2-8](#)を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[2-22 ページの表 2-9](#)を参照してください。

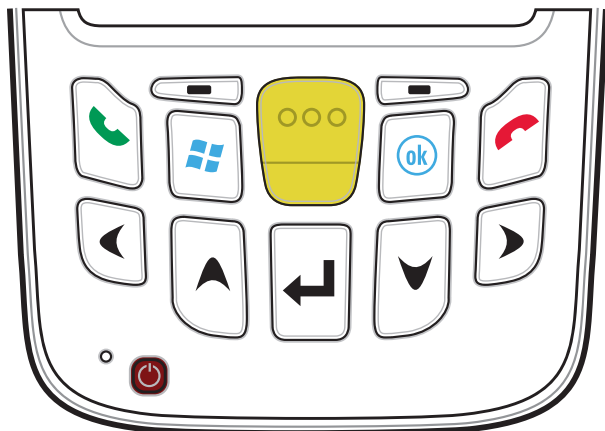


図 2-20 MC55 PIM キーパッド

表 2-14 MC55 PIM キーパッド 説明



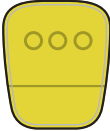







キー	説明
Talk (通話) (緑色の電話) 	<p>このキーは、ユーザーによるプログラムが可能です。</p> <p>キーボードのキーをアプリケーション キー (APP キー) として使用する場合は、新しいキーボードのリマップテーブルを作成してインストールします。ただし、レジストリ経由で緑色の電話キーを APP キーとしてリマップする場合は、以下のエントリが含まれる XML プロビジョニング ファイルを作成します。</p> <pre><characteristic type="HKLM\Hardware\DeviceMap\KYBD"> <parm name="GreenKeyOverride" value="xx" datatype="integer" /> [xx には新しい APP キーコードが入ります]</pre> <p>MC55 にファイルをプロビジョニングして、緑色の電話キーを押すと、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送信されます。XML プロビジョニング ファイルの作成方法については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。</p>
End (終了) (赤色の電話) 	<p>このキーは、ユーザーによるプログラムが可能です。</p> <p>キーボードのキーをアプリケーション キー (APP キー) として使用する場合は、新しいキーボードのリマップテーブルを作成してインストールします。ただし、レジストリ経由で赤色の電話キーを APP キーとしてリマップする場合は、以下のエントリが含まれる XML プロビジョニング ファイルを作成します。</p> <pre><characteristic type="HKLM\Hardware\DeviceMap\KYBD"> <parm name="RedKeyOverride" value="yy" datatype="integer" /> [yy には新しい APP キーコードが入ります]</pre> <p>MC55 にファイルをプロビジョニングして、赤色の電話キーを押すと、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送信されます。XML プロビジョニング ファイルの作成方法については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 2-14 MC55 PIM キーボード 説明 (続き)

キー	説明
スキャン (黄色) 	スキャン対応アプリケーションで/イメージャーがアクティブになります。
Scroll Up (上にスクロール) 	1 つ上の項目へ移動します。
Scroll Down (下にスクロール) 	1 つ下の項目へ移動します。
Scroll Left (左にスクロール) 	1 つ左の項目へ移動します。
Scroll Right (右にスクロール) 	1 つ右の項目へ移動します。
ソフト キー 	画面上のコマンドやメニューにアクセスします。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。
OK 	OK ボタンまたは終了ボタンとして使用します。

特殊文字キー

✓ **注** 特殊文字は、英数字キーボード構成でのみ入力することができます。

MC55 **áü** キーを使用して特殊文字を追加するには、まず関連する文字を入力し、オレンジ キーを 2 回押して、**áü (P)** キーを押します。特殊文字が表示されるまで、**áü** キーを押し続けます。既存の文字を変更するには、文字の右側にカーソルを移動してオレンジ キーを 2 回押し、元の文字が特殊文字に置き換わるまで **áü** キーを押します。表 2-15 に、入力可能な特殊文字を示します。

表 2-15 特殊文字

キー	特殊文字	キー	特殊文字
a	à á â ã ä å æ	A	À Á Â Ã Ä Å Æ
c	ç ć ċ	C	Ç Ć Ć
d	ð	D	Ð
e	è é ê ë ě	E	È É Ê Ë Ě
i	ì í î ï	I	Ì Í Î Ï
l	ł	L	Ł
n	ñ	N	Ñ
o	ò ó ô õ ö ø œ	O	Ò Ó Ô Õ Ö Ø Œ
p	þ	P	Þ
r	®	R	®
s	ş š ß	S	Ş Š ß
t	ţ	T	Ț
u	ù ú û ü	U	Ù Ú Û Ü
y	ý	Y	Ý
z	ź ź	Z	Ź Ź
\$	€ £ ¥	/	\
"	' « ' »	([{ < «
)] } > »	+	± & - _
!	! ? ¿	.	! ;
*	#	@	~ %
%	^	,	; . :
#	*	&	- _ + ±
_	+ ± & -	'	« » "
?	¿ ! !	:	; ; .
-	_ + ± &		

機能ボタン

MC55 のボタンは、特定の機能を実行します。

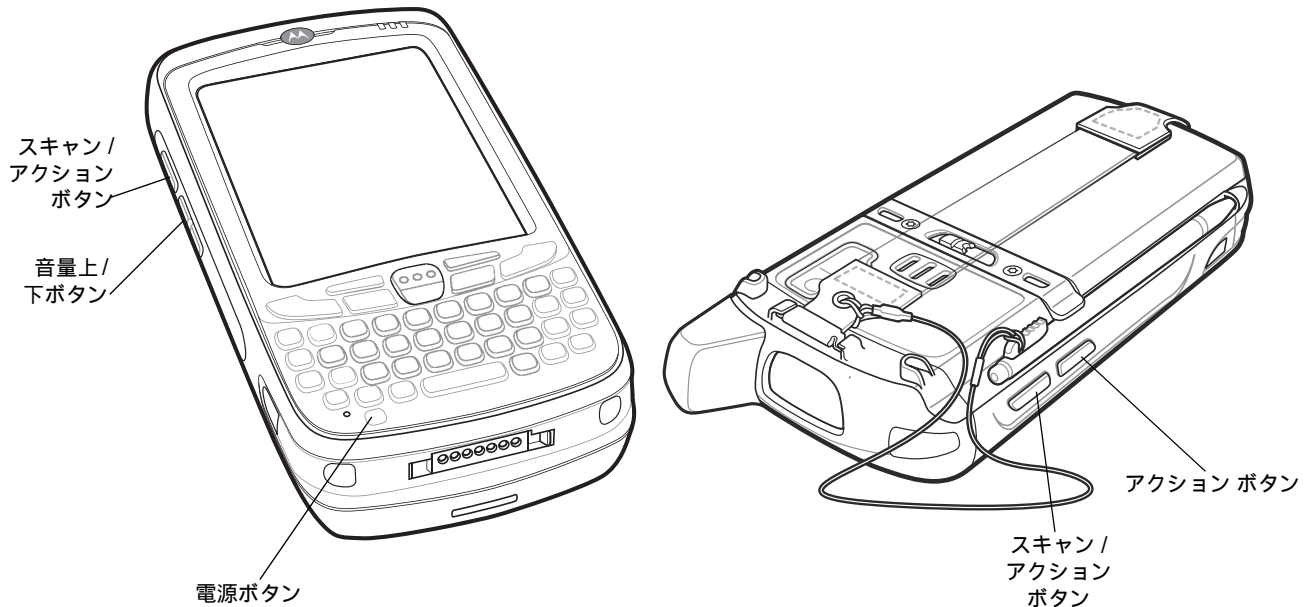


図 2-21 機能ボタン

- **電源**: 赤色の電源ボタンを押すと、MC55 の画面のオン/オフが切り替わります。画面がオフになっている場合、MC55 はサスペンド モードになっています。詳細については、[1-9 ページの「MC55 の電源の入れ方」](#)を参照してください。電源ボタンは、ウォーム ブートまたはコールド ブートを実行して MC55 をリセットする際にも使用します。[2-15 ページの「MC55 のリセット」](#)を参照してください。
- **スキャン/アクション**: バーコードをスキャンしたり、画像をキャプチャする場合に押します。[2-35 ページの「データ収集」](#)を参照してください。または、アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。アプリケーションを開くように設定する方法については、『Microsoft® Applications for Mobile 6 User Guide』を参照してください。
- **音量上/下**: MC55 の音量を調節する場合に押します。
- **アクション**: アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。開くアプリケーションの設定方法については、『Microsoft® Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。

スタイラス

MC55 のスタイラスを使用して、項目を選択したり、情報を入力します。スタイラスはマウスと同様に機能します。

- **タップ**: オプション ボタンを押したり、メニュー項目を開くには、スタイラスでスクリーンを 1 回タッチします。
- **タップして押し続ける**: ある項目で実行可能な操作の一覧を表示するには、スタイラスでその項目をタップして押し続けます。表示されるポップアップ メニューで、実行する操作をタップします。
- **ドラッグ**: テキストや画像を選択するには、スタイラスでスクリーンをタップして、スタイラスを押したままドラッグします。複数の項目を選択するには、リストにドラッグします。

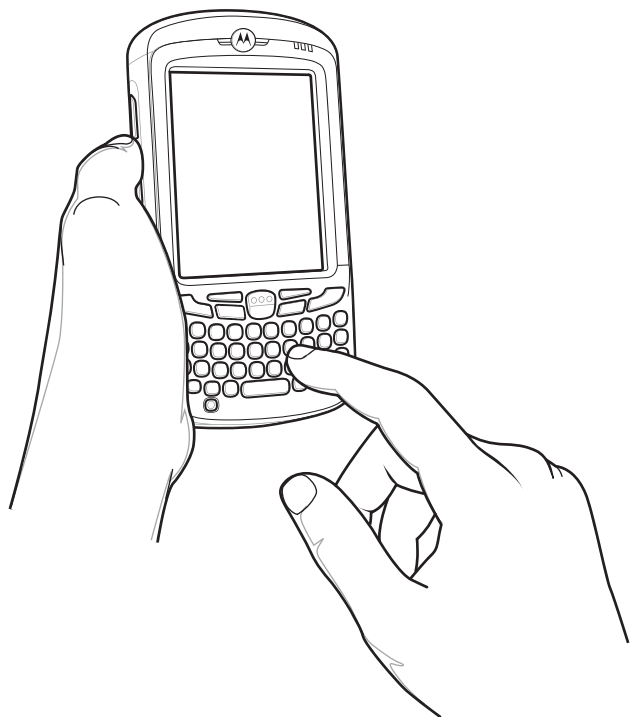


注意

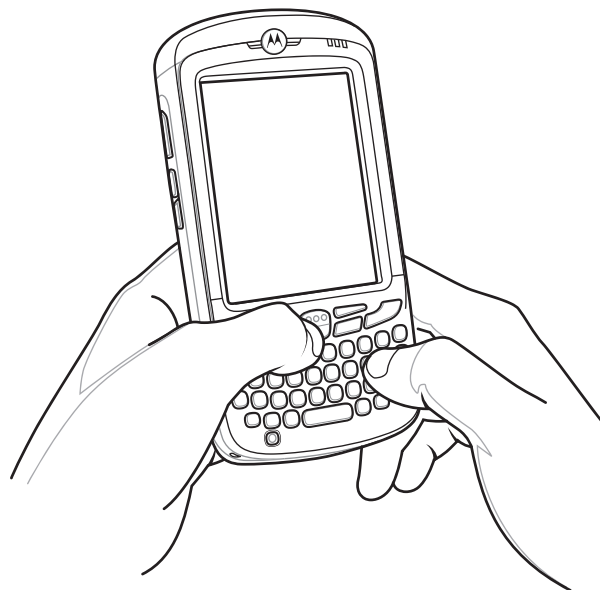
画面を傷めないように、Motorola 製のスタイラス以外は使用しないでください。

データを入力する

キーボードでデータを入力するには、片手または両手で入力します ([図 2-22](#) を参照)。



片手での操作



両手での操作

図 2-22 キーボードでのデータの入力

データ収集

MC55 には、次の 3 種類のデータ収集オプションがあります。

- リニア スキャン
- イメージング
- デジタル カメラ

✓ **注** データ収集を実行するには、スキャン対応アプリケーションが MC55 にインストールされている必要があります。サンプルのスキャンアプリケーションを Motorola Support サイト (<http://support.symbol.com>) からダウンロードすることができます。

リニア スキャン

統合リニア 搭載の MC55 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、1-D コードを含む、各種バーコード シンボルの読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な照準機能。

イメージング

イメージャー搭載の MC55 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザー照準機能。

イメージャーは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

動作モード

統合イメージャー搭載の MC55 は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。各モードは、**スキャン** ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード**: このモードでは MC55 は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャーはこのモードのままになります。

✓ **注** ピック リスト モードを有効にするには、Support Central Web サイト (<http://support.symbol.com>) から Control Panel (コントロール パネル) アプレットをダウンロードしてください。ピック リストは、API コマンドを使用してアプリケーション内で設定することもできます。

- **ピック リスト モード**: このモードでは、MC55 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字またはドットを合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。
- **画像読み取りモード**: このモードは、MC55 の読み取り幅内にある画像を読み取るのに使用します。この機能は、署名を収集したり、損傷した箱の画像などを収集するのに便利です。

デジタル カメラ

統合デジタル カメラ搭載の MC55 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能照準機能。

カメラは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲
スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。
範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- 角度
スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザ光線が反射してに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりは読み取れなくなります。
これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためには散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合は、MC55 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、MC55 を近づけてください。

✓ **注** スキャン手順は、アプリケーションと MC55 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

リニア スキャン

1. スキャン対応アプリケーションが MC55 にインストールされていることを確認します。
2. スキャン ウィンドウをバーコードに向けます。

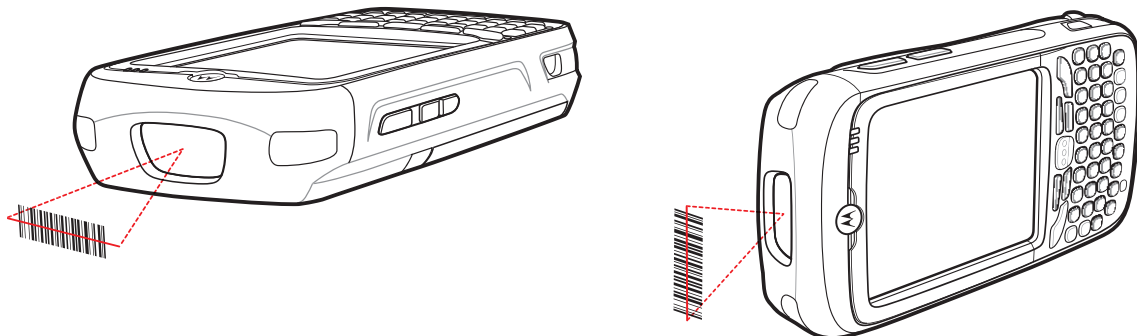


図 2-23 リニア スキャン

3. スキャン ボタンを押します。赤色のスキャン光線がバーコード全体をカバーしていることを確認します。スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り（デフォルト設定の場合）、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

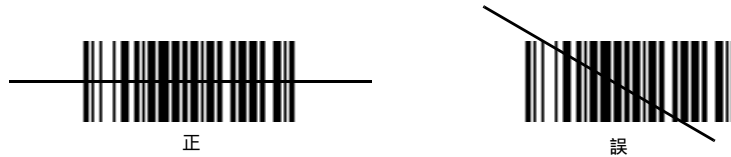


図 2-24 リニアの照準パターン

イメージャー スキャン

1. スキャン対応アプリケーションが MC55 にインストールされていることを確認します。
2. スキャン ウィンドウをバーコードに向けます。

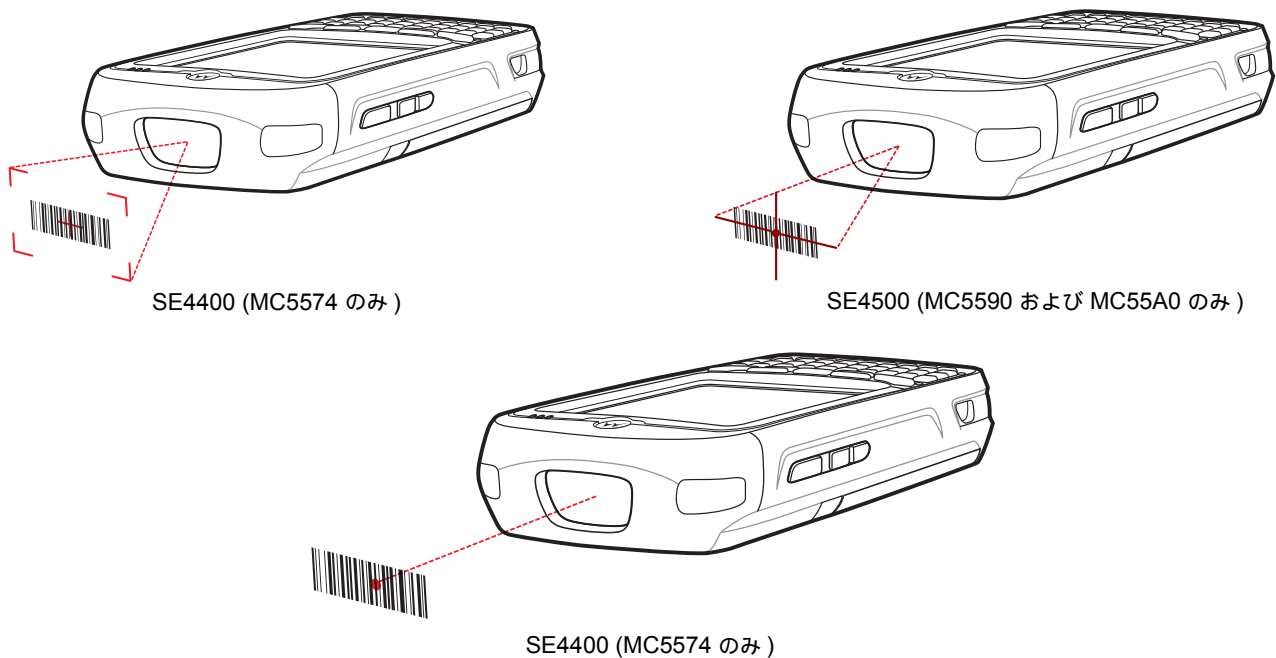


図 2-25 イメージャー スキャン

3. スキャン ボタンを押します。

照準を合わせるための赤色のレーザ照準パターンまたは照準ドットがオンになります。照準パターンのブラケット内の領域にバーコードが納まっているあるいは照準ドットに隣接していることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り（デフォルト設定の場合）、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。MC55 がピック リスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャーはバーコードを読み取りません。

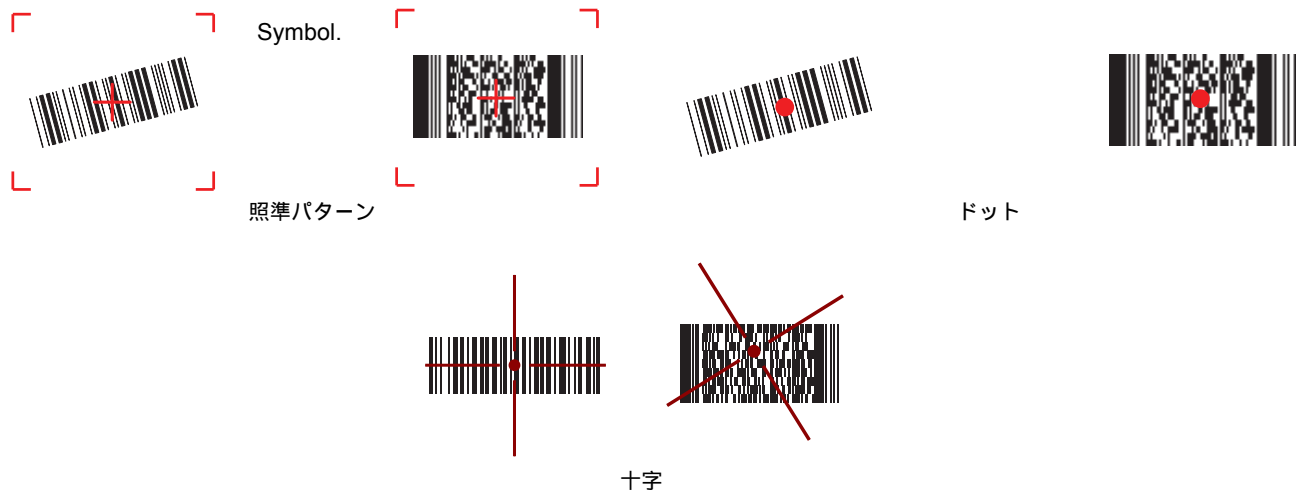


図 2-26 イメージャーの照準パターン: バーコードが中央にある場合

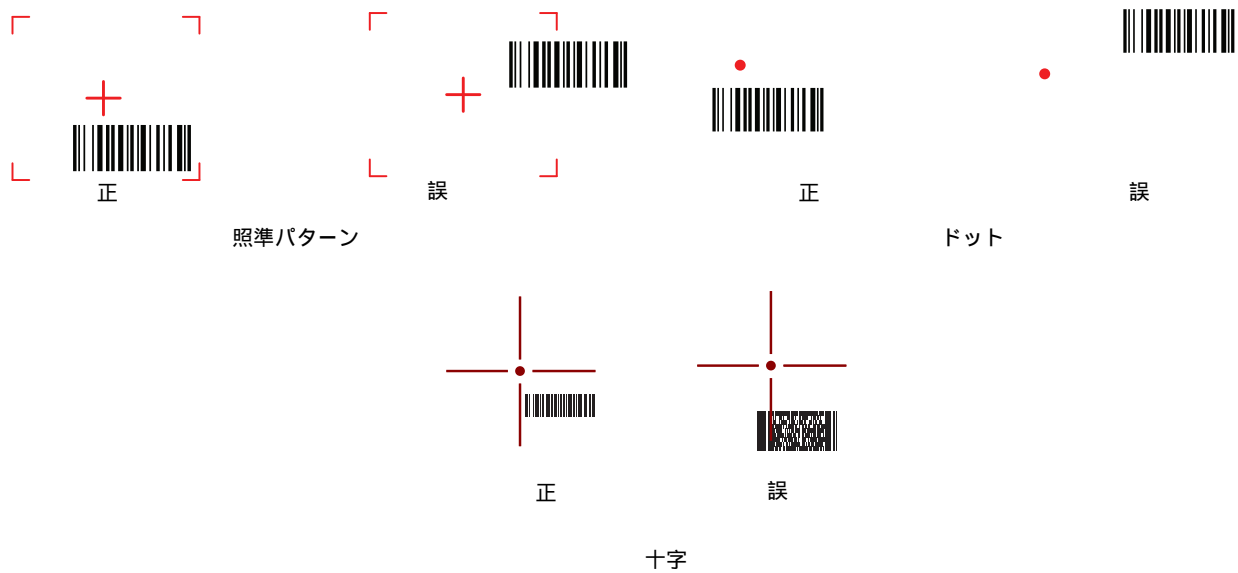


図 2-27 イメージャーの照準パターン: バーコードが中央にない場合

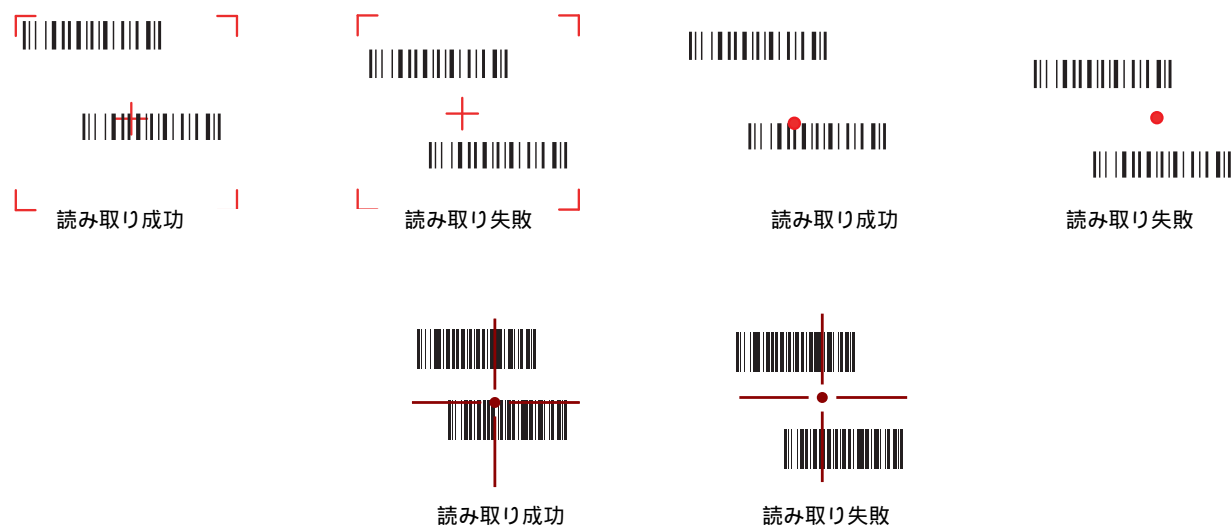


図 2-28 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

4. スキャン ボタンを放します。

- ✓ **注** イメージャーの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真 (画像) を撮影する手順が繰り返されます。

RS507 のハンズフリー イメージャーの使用

RS507 のハンズフリー イメージャーを MC55 で使用して、バーコードデータを収集できます。

- ✓ **注** OEM バージョン 02.35.000 以上が必要です。

RS507 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > BTScannerCtlPanel (BT コントロールパネル)** アイコンをタップします。
2. 必要に応じて、**[BT Scanner] (BT)** チェックボックスをオンにしてから、ドロップダウン リストから適切な COM ポートを選択します。
3. **[Save and Exit] (保存して終了)** をタップします。
4. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > BD Address (BD アドレス)** アイコンをタップします。バーコードが表示されます。
5. RS507 をバーコードに向けます。RS507 がバーコードを読み取り、MC55 とのペアリングを開始します。必要に応じて、PIN (12345) を入力します。

詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

デジタルカメラによるスキャン

1. スキャン対応アプリケーションが MC55 にインストールされていることを確認します。
2. MC55 の背面にあるカメラのレンズをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを押し続けます。ディスプレイ ウィンドウにプレビュー ウィンドウが表示され、中央に赤い照準が表示されます。スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。

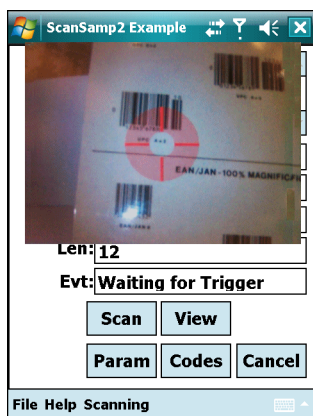


図 2-29 プレビュー ウィンドウを備えたサンプルのスキャン アプリケーション

4. スキャンするバーコードに赤色の照準が当たるように MC55 を動かします。
5. スキャン/読み取り LED が緑色で点灯してピーブ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

✓ **注** カメラ デコード機能は、デフォルトでバーコードの読み取り時に自動的にデコードするように設定されています。この機能は、デコードが正常に行われた場合に緑色の照準を表示してバーコードが正しくデコードされ、スキャン ボタンを離すように示すようにプログラムできます。

VoIP を使用する

MC55 は Motorola または サードパーティの音声クライアントを使用して Voice over IP over WLAN (VoWLAN) をサポートします。MC55 では、複数のオーディオ出力 (バック スピーカ電話、前面受信機、前面ハンドセット、および Bluetooth ヘッドセットなど) を使用して VoIP による通信が可能です。

音声アプリケーションでは、無線ネットワークに 802.11a (5 GHz) を使用することをお勧めします。5 GHz を使用すると、802.11b/g (2.4 GHz) で無線干渉により発生する可能性があるノイズを避けることができます。

MC55 と VoWLAN で Bluetooth ヘッドセットを使用する場合、必ずハンズフリー プロファイルではなく、Bluetooth Headset (ヘッドセット) プロファイルを使用してください。通話を開始および終了するには、MC55 のボタンを使用します。Bluetooth Headset (ヘッドセット) プロファイルの設定方法については、[第 5 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。

写真の撮影

写真を撮影するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > Pictures & Videos (画像とビデオ)** アイコンをタップします。
2. コマンドバーで **[Camera] (カメラ)** をタップします。
3. ビューファインダで画像を確認して、必要に応じて調整します。
4. **Enter** キーを押して、写真を撮影します。シャッター音がするまで MC55 を動かさないでください。

ビデオの録画

ビデオクリップを録画するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > Pictures & Videos (画像とビデオ)** アイコンをタップします。
2. コマンドバーで **[Camera] (カメラ)** をタップします。
3. **[Menu] (メニュー) > [Video] (ビデオ)** をタップして、ビデオ撮影モードを設定します。
録画可能な時間が画面に表示されます。

✓ **注** デフォルトでは、ビデオの録画時間は 30 秒に設定されています。

4. **Enter** キーを押して録画を開始します。
もう一度 **Enter** ボタンを押すと録画が終了します。

写真やビデオの表示

写真やビデオクリップを表示するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > Pictures & Videos (画像とビデオ)** アイコンをタップします。
2. 表示する画像またはビデオクリップをタップします。

第3章 GPS ナビゲーションの使用

はじめに

✓ **注** MC5574 でのみ使用可能です。

MC55 には、SiRF III チップセットを使用した グローバル ポジショニング システム (GPS) テクノロジーが搭載されています。GPS テクノロジーは、地球を周回してデジタル電波信号を連続的に送信する GPS 衛星の世界的なシステムを基礎としています。この電波信号には衛星の場所や正確な時刻に関するデータが含まれており、地球上での自分の位置の特定に使用されます。



警告! 車両内で MC55 を使用する場合、ユーザーは、事故や身体的損傷、物的損傷が生じたり、視界を妨げたりしないように設置、固定、および使用する義務があります。ドライバーは、車両を安全に操作し、常にすべての運転状況を観察し、MC55 のために安全な運転が妨げられるほど注意散漫にならないようにする義務があります。運転中の MC55 の操作は危険です。

ソフトウェアのインストール

サードパーティ製の GPS ナビゲーション ソフトウェアが必要です。評価用ソフトウェアはさまざまなサプライヤから提供されています。たとえば VisualGPS というソフトウェアがあります。詳しくは <http://www.visualgps.net/VisualGPSce/> をご覧ください。

GPS ナビゲーション ソフトウェアを購入される場合は、ソフトウェアの購入、ダウンロード、インストール等をする前に、GPS ソフトウェアのベンダーに問い合わせて、そのアプリケーションと MC55 の間に互換性があるか確認してください。アプリケーションのインストールおよびセットアップについては、アプリケーションのユーザー ガイドを参照してください。

MC55 GPS のセットアップ

GPS 対応の MC55 は Microsoft Windows Mobile 6.5.X を使用しているため、オペレーティング システムが GPS 受信機へのアクセスを自動的に管理し、複数のプログラムによる GPS データへの同時アクセスを可能にします。

MC55 のデフォルト設定は次のとおりです。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム)** と選択して、**External GPS (外部 GPS)** アイコンをタップします。

2. **[Programs] (プログラム)** タブでは、**[GPS program port] (GPS プログラム ポート)** が **[None] (なし)** に設定されています。
3. **[Hardware] (ハードウェア)** タブでは、**[GPS hardware port] (GPS ハードウェア ポート)** が **[COM8]** に設定されています。

同時に複数のプログラムから GPS レシーバにアクセスするには、Microsoft GPS API を使用するか、または GPS プログラムのポート設定を変更して、多重方式で GPS プログラム ポートにアクセスします。

動作

衛星信号の取得に数分かかることがあります。最適な結果を得るには、空がはっきり見え、遮る物のない屋外に出てください。空がはっきり見えない場合、信号の取得および初期位置の算出に時間がかかることがあります。室内で MC55 を操作すると、GPS 信号へのアクセスが制限される場合や、アクセスできない場合があります。

- ✓ **注** GPS ナビゲーション アプリケーションを使用する場合は、MC55 がサスペンドモードにならないようにしてください。MC55 がサスペンド状態になると、GPS 無線の電源が切れます。GPS 受信機を再開するには有効な GPS 信号を取得し直す必要があるため、位置情報の取得に遅延が生じます。

microSD カード上の GPS マップ

GPS ナビゲーション ソフトウェアのベンダーから、microSD カードでマップが発売されている場合があります。GPS ナビゲーション ソフトウェアで microSD カードを使用するには、[1-4 ページの「microSD カードの取り付け」](#)の手順に従って microSD メモリ カードを取り付けます。

GPS 使用中の電話への応答

GPS ナビゲーション ソフトウェアの使用中に電話に応答するには、次の手順に従います。

1. **[Answer] (応答)** ボタンを押して電話に出ます。
2. 通話が終了したら、**[End Call] (通話終了)** ボタンを押して、GPS ソフトウェアの音声を再開します。

- ✓ **注** MC55 で GPS の使用中に電話を受けると、GPS ナビゲーション ソフトウェアの音声は通話が終了するまでミュートになります。

車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合

車両の窓やフロントガラスが耐熱ガラス製の場合、衛星からの GPS 信号の受信がブロックされるため、MC55 での GPS のパフォーマンスに影響が出る場合があります。GPS 信号の強度を改善するには、空がはっきり見える場所に MC55 を置いてください。衛星からの情報にアクセスするには、MC55 と GPS 衛星の間が直線で見通せる必要があります。

アシスト GPS

- ✓ **注** OEM バージョン 03.38.0004 を搭載したデバイスで、SUPL サーバーから GPS データを取得するように MC5574 を設定する方法の詳細については、[C-18 ページの「アシスト GPS」](#)を参照してください。

GPS は、スタンドアロン モードでもアシスト GPS (aGPS) モードでも使用できます。スタンドアロン型の GPS 受信機は、GPS 衛星からデータを直接ダウンロードします。ビルの谷間や木の葉が密生しているところなど通信に不利な環境でも、初期位置算出時間 (TTTF) の向上に aGPS を使用できます。デフォルトでは、SUPL プロトコルが使用されています。これにはキャリアの提供するサードパーティのデータベース/サービスが必要です。GPS Location サーバーを使用すると、通常では GPS 衛星からダウンロードする必要のあるデータが A-GPS によって供給されるため、GPS 受信機の TTTF が劇的に短縮されます。aGPS データを使用すると、GPS 受信機によるより高速かつ信頼性の高い操作が可能になります。

MC55 で SUPL をセットアップする方法については、EMDK のヘルプ ファイルを参照してください。

第4章 電話の使用

はじめに

MC55 を使用して、電話をかけたり、短縮番号を設定したり、通話を管理したり、テキストメッセージを送信したりすることができます。また、無線サービス プロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

また、統合されている電話機能を使用して、ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読むこともできます。インターネットや企業ネットワークには、セルラー回線を使用して、General Packet Radio Service (GPRS) で接続するか、モバイル オペレータに指定されたモデムを使用して接続します。MC55 の電話機能の詳細、および電話機能の設定を変更してカスタマイズする方法については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

電話キーパッドへのアクセス

✓ **注** キーパッドは、サービスおよび電話の状態によって変わります。

使用しているプログラムにかかわらず、キーパッドにアクセスできます。MC55 上のアプリケーションは、通話中も使用できます。

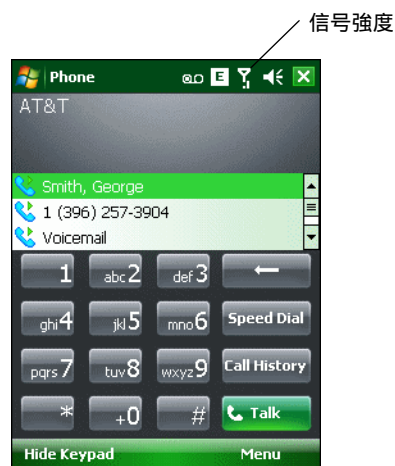


図 4-1 電話キーパッド

電話キーボードにアクセスするには、**[Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか**、左側のソフトキーを押すか、または MC55 のキーボード上の緑色の電話キーを押します。

MC55 がサスペンド モードになっているときに電話を受けるには、電話の無線をオンのままにしておき、任意のキーでウェイクアップするように MC55 を設定します。

電話のオン/オフの切り替え

✓ **注** Windows Mobile 6.5.3 を搭載した機器の詳細については、[C-5 ページの「ステータス バー」](#)を参照してください。

Windows Mobile 6.1 デバイスには **Wireless Manager (無線マネージャ)** が搭載されていて、これを使用して簡単に電話のオン/オフを切り替えることができます。

Wireless Manager を開くには、**Connectivity (接続)** アイコンをタップします。

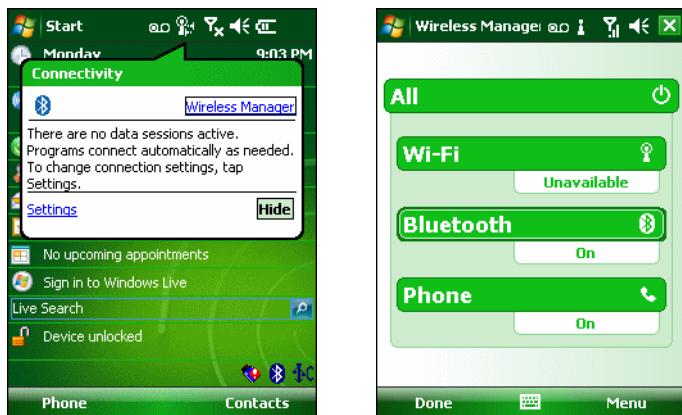


図 4-2 Wireless Manager の開き方

[Wireless Manager] を選択します。**[Wireless Manager]** ウィンドウが表示されます。

電話のオン/オフを切り替えるには、青色の **[Phone] (電話)** バーをタップします。

接続の設定を行うには、**[Menu] (メニュー) > [Phone Settings] (電話の設定)** をタップします。

✓ **注** デバイスがサスペンド モードになっているときに電話を受けるには、電話をオンのままにしておきます。

音声モード

MC55 は、3 つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセットモード**: MC55 の前面上部にあるスピーカから音声出力され、MC55 をハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカモード**: MC55 をスピーカフォンとして使用できます。このモードにするには、**[Speaker On] (スピーカ オン)** ボタンをタップします。ハンドセットモードに戻すには、**[Speaker Off] (スピーカ オフ)** ボタンをタップします。
- **ヘッドセットモード**: Bluetooth ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

MC55 のデフォルトのモードは、ハンドセットモードです。Bluetooth ヘッドセットが MC55 で使用できるように設定されていれば、イヤークラスとスピーカフォンはミュートになり、音声はヘッドセットから出力されます。

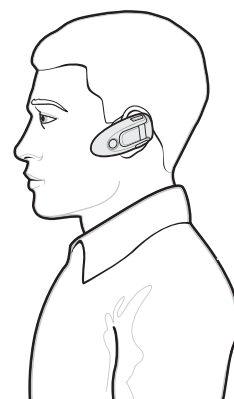
✓ **注** Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、モバイル コンピュータはサスペンド モードになりません。



ハンドセットモード



スピーカモード



ヘッドセットモード

図 4-3 音声モード

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットを MC55 に接続する方法については、[第 5 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC55 の音量を適切に調節します。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカはミュートになります。

Headset (ヘッドセット) プロファイルではなく、Bluetooth Hands-free (Bluetooth ハンズフリー) プロファイルを使用して通話することをお勧めします。詳細については、[第 5 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。

✓ **注** Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、MC55 の電源ボタンは無効になり、サスペンド モードになりません。通話が終了すると、電源ボタンが有効になります。

Bluetooth ヘッドセットの接続が確立された状態で、電源ボタンが押されると、次のダイアログ ボックスが表示されます。



図 4-4 [WWAN Bluetooth Audio Notification] (WWAN Bluetooth 音声通知) ダイアログ ボックス

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、Volume Control Slider (音量調節スライダ) または MC55 の側面にある音量上/下ボタンを使用します。

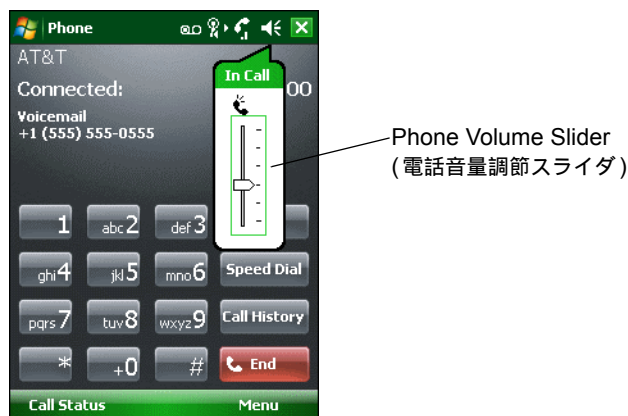


図 4-5 Phone Volume Slider (電話音量調節スライダ)

音量を調節するには、タイトルバーの **Speaker (スピーカ)** アイコンをタップします。スライダを上下に動かして、音量を調節します。

- ✓ **注** 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

電話をかける

- ✓ **注** MC55 がロックされている場合、または SIM カードが装着されていない場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、[4-8 ページの「緊急通話をかける」](#)を参照してください。

MC55 では、電話キーパッド、連絡先、短縮ダイヤル、および通話履歴から電話をかけることができます。

電話の使用

電話キーパッドを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Phone] (電話)** をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Phone] (電話)** キーパッドで、電話番号をタップします。
3. **[Talk] (通話)** をタップします。
4. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、**[End] (終了)** をタップします。

✓ **注** また、MC55 のキーパッドの電話キーを使用してダイヤルしたり（緑色の電話キー）、通話を終了する（赤色の電話キー）こともできます。

電話番号を間違えて入力した場合は、[Delete] (削除) キーをタップして、カーソルの後ろにある番号を 1 つずつ消去できます。電話番号全体を消去するには、[Delete] (削除) キーをタップして押したままにします。

連絡先の使用

連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力することなく電話をかけることができます。

連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先)** をタップします。
2. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。

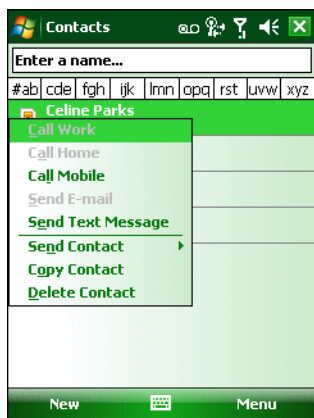


図 4-6 [Contacts] (連絡先) メニュー

3. **[Call Work] (仕事)**、**[Call Home] (自宅)**、または **[Call Mobile] (携帯電話)** をタップします。

✓ **注** 未設定の連絡先から電話をかけるには、電話番号を入力します。連絡先の詳細については、デバイスのヘルプを参照してください。

Outlook 連絡先の作成

✓ **注** 星印 (*) の後ろにプラス記号 (+) が付いた連絡先電話番号を入力する場合は、連絡先を Outlook 連絡先として保存します。このような連絡先を SIM カードに保存しないでください。

Outlook 連絡先を作成するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先)** をタップします。
2. **[New] (新規)** をタップします。

3. [Phone] (電話) がオンになっていれば、[Select Contact Type] (連絡先の種類を選択) ウィンドウが表示されます。
[Outlook Contact] (Outlook 連絡先) を選択します。

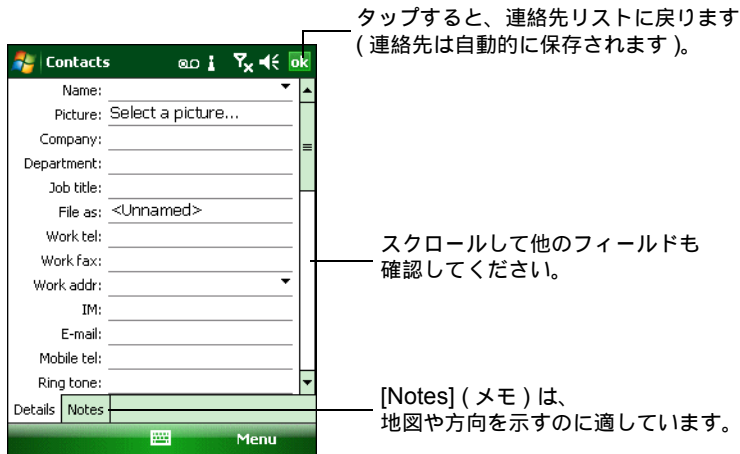


図 4-7 連絡先の作成

4. 入力パネルを使用して、各フィールド内をタップし、必要な連絡先情報を入力します。下にスクロールして、すべてのフィールドを確認してください。
5. [Name:] (名前:) または [Home addr:] (自宅住所:) のフィールドの横にある矢印をタップすると、ウィンドウが開き、詳細を追加できます。
6. 連絡先を分類する場合は、[Categories] (分類項目) をタップします。
7. 連絡先に複数の分類項目を選択する場合は、それらのチェックボックスをオンにします。このようにすると、連絡先リストで分類項目別に連絡先を表示できます。
8. 分類項目を追加するには、[New] (新規) をタップします。
9. 分類項目のテキスト ボックスに名前を入力して、[ok] をタップします。
10. [ok] をタップします。
11. メモを追加するには、[Notes] (メモ) タブをタップしてテキストや図を入力するか、録音を作成します。
12. 完了したら、[ok] をタップします。連絡先リストに戻ります。

Outlook 連絡先の編集

連絡先を変更するには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先) をタップします。
2. 連絡先リストで目的の連絡先をタップすると、その連絡先が開きます。
3. [Menu] (メニュー) > [Edit] (編集) をタップし、変更を加えます。
4. [ok] をタップします。

連絡先の削除

連絡先を削除するには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先) をタップします。
2. 連絡先リストで目的の連絡先をタップしたまま、ポップアップ メニューで [Delete Contact] (連絡先の削除) を選択するか、または連絡先を選択して [Menu] (メニュー) > [Delete Contact] (連絡先の削除) をタップします。

SIM カード連絡先の作成

SIM カード連絡先を作成するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 星印 (*) の後ろにプラス記号 (+) が付いた連絡先電話番号を入力する場合は、連絡先を Outlook 連絡先として保存します。このような連絡先を SIM カードに保存しないでください。

1. **[Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先)** をタップします。
2. **[New] (新規)** をタップします。
3. **[SIM Contact] (SIM カード連絡先)** を選択します。

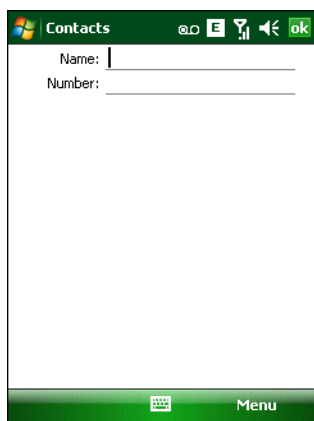


図 4-8 SIM カード連絡先の作成

4. 入力パネルを使用して、各フィールド内をタップし、連絡先情報を入力します。
5. 完了したら、**[ok]** をタップします。連絡先リストに戻ります。

通話履歴の使用

通話履歴を使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Phone] (電話)** をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Phone] (電話)** キーパッドで、**[Call History] (通話履歴)** をタップします。



図 4-9 通話履歴

3. 番号の横にある Phone (電話) アイコンをタップすると、ダイヤル操作が開始され、電話キーパッドに戻ります。
4. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、MC55 のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

短縮ダイヤルの使用

短縮ダイヤルを使用して、短縮ダイヤルに登録されている相手に電話をかけることができます。

短縮ダイヤルを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、連絡先に割り当てられている短縮ダイヤル番号をタップして押し続けます (1 桁の短縮ダイヤル番号にダイヤルするには、短縮ダイヤル番号をタップして押し続けます。2 桁の短縮ダイヤル番号にダイヤルするには、1 桁目をタップし、2 桁目をタップして押し続けます)。

または

[Phone] (電話) キーパッドで、**Speed Dial (短縮ダイヤル)** をタップして、リスト内の目的の連絡先の短縮ダイヤル番号をタップします。



図 4-10 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、MC55 のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

緊急通話をかける

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911 や 999 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされていたり、SIM カードが装着されていなくても電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、電話に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。

英数字キーパッドにロックされている場合は、オレンジ キーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。

- ✓ **注** 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

電話に応答する

着信すると、MC55 にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか無視します。

着信に応答するには、[Phone] (電話) > [Incoming...] (着信) ダイアログ ボックスの [Answer] (応答) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押します。

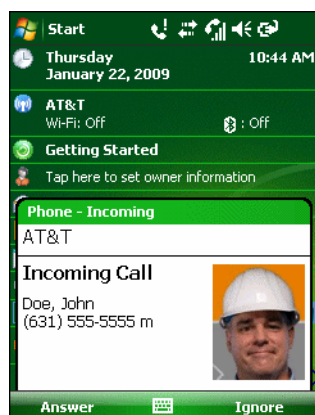


図 4-11 着信

着信を無視するには、**[Ignore] (無視)** をタップします。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されることがあります。それ以外の場合は、発信者に**話中音**が流れます。

通話を終了するには、**[End] (終了)** をタップするか、MC55 のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

着信機能

- 通話中に着信した場合は、**[Wait] (保留)** をタップして通話を保留することができます。
- 通話中に MC55 で他のプログラムを使用することができます。[Phone] (電話) に戻るには、**[Talk] (通話)** をタップするか **[Start] (スタート)** > **[Phone] (電話)** をタップします。通話を終了するには、**[End] (終了)** をタップします。
- 発信者が連絡先リストに登録されていない場合は、通話中に連絡先を作成することができます。または、[Call History] (通話履歴) で **[Menu] (メニュー)** > **[Save to Contacts] (連絡先に保存)** をタップして連絡先を作成することもできます。
- 通話中に着信した場合に、現在の通話を終了して、着信に応答するには、[Phone] (電話) キーパッドで **[End] (終了)** をタップして現在の通話を切断し、**[Answer] (応答)** をタップするか **Send (送信)** キーを押して着信に応答します。
- 現在の通話を保留にして、着信に応答するには、**[Answer] (応答)** をタップするか **Send (送信)** キーを押して現在の通話を保留にして、着信に応答します。
- 通話を保留にして、別の番号に発信したり、着信に応答するには、**[Hold] (保留)** をタップします。通話を切り替えるには、**[Swap] (切り替え)** をタップします。

スマートダイヤル

スマートダイヤルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマートダイヤル機能によって自動的に SIM カード上の [Contacts] (連絡先) 内の連絡先エントリ、および [Call History] (通話履歴) (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並び替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

[Phone] (電話) 画面を開き、発信する電話番号または連絡先に対応するキーをタップします。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマートダイヤル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- [Call History] (通話履歴) で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている [Contacts] (連絡先) および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。

連絡先名を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマートダイヤル機能はその文字を、連絡先名の先頭文字と、連絡先名のスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。たとえば、[2] ([Phone] (電話) キーパッドの [a, b, c] に対応) をタップすると、次の連絡先名が一致しているとみなされます: 「Smith, Bernard」、 「Adams, John」、 「Carlson, Eileen」、 「Dillon, Albert」、 「Childs, Larry」、 「Cooper, Robert」、 「Parks, Celine」。
- 検索結果が多い場合は、別の文字を入力して結果を絞り込みます。上記の例の場合、[3] ([d, e, f] に対応) をタップすると、次の連絡先名に絞り込まれます: 「Smith, Bernard」、 「Adams, John」、 「Parks, Celine」。

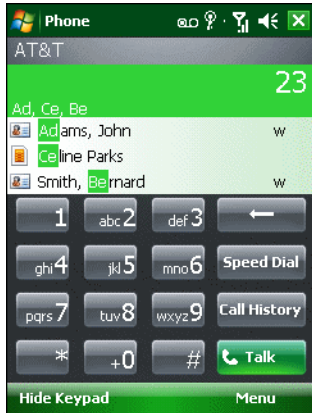


図 4-12 連絡先の検索

スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、テキストメッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. 目的の番号または文字の先頭から数文字を入力します。
2. [Smart Dialing] (スマートダイヤル) パネルで、キーパッドの上/下矢印を使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、[TALK] (通話) を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にテキストメッセージを送信するには、[Menu] (メニュー) > [Send Text Message] (テキストメッセージを送信) をタップします。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている異なる電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

通話をミュートする

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、こちらの声は聞こえないようにすることができます。この機能は、こちら側で会話したり、こちら側の騒音が激しい場合に便利です。

通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. 電話をかけます。
3. [Mute] (ミュート) をタップして、音声をミュートにします。Mute (ミュート) アイコンが表示されます。

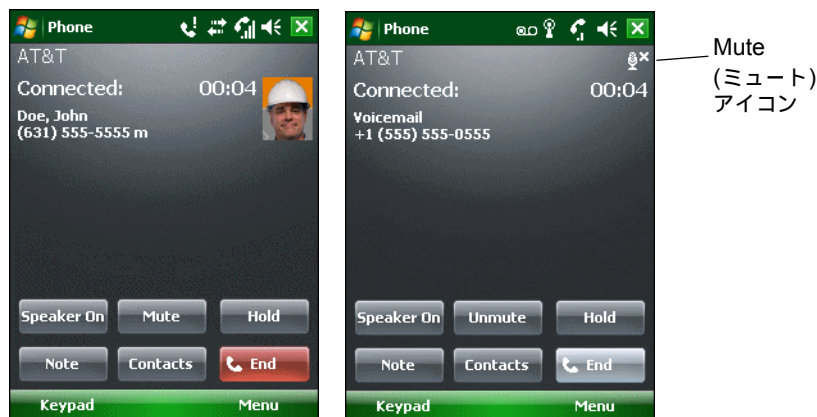


図 4-13 [Mute] (ミュート) ボタンとアイコン

メモの作成

通話中にメモを作成するには、[Note] (メモ) をタップして、メモを入力します。メモの入力方法の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

通話中に作成したメモにアクセスするには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3. 目的のメモが含まれている通話エントリの番号または Note (メモ) アイコンをタップして押し続けます。

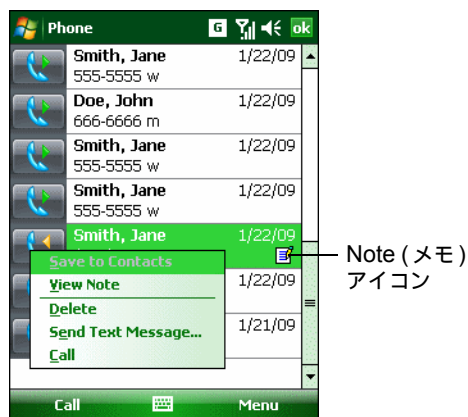


図 4-14 [Call History] (通話履歴) - [Notes] (メモ) メニュー

4. [View Note] (メモを表示) をタップします。



図 4-15 [Call History] (通話履歴) - [Notes] (メモ)

5. [ok] をタップして終了します。

- ✓ **注** [Start] (スタート) > [Proframs] (プログラム) < [Notes] (メモ) をタップして、Notes (メモ) アプリケーションで直接メモにアクセスすることもできます。

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルを作成すると、頻繁に電話する番号を 1 回タップするだけでダイヤルできるようになります。短縮ダイヤルエントリを作成する前に、電話番号が [Contacts] (連絡先) に存在することを確認してください。

短縮ダイヤルエントリの追加

電話キーボードで短縮ダイヤルエントリを追加するには、次の手順に従います。

1. 連絡先と電話番号が [Contacts] (連絡先) リストに存在することを確認します。
2. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーボードの緑色の電話キーを押します。
3. [Speed Dial] (短縮ダイヤル) > [Menu] (メニュー) > [New] (新規) をタップします。



図 4-16 Contacts (連絡先)

4. リスト内の目的の連絡先名と番号をタップします。

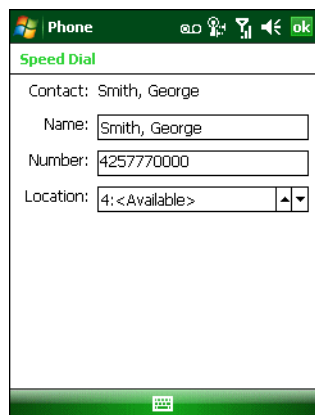


図 4-17 短縮ダイヤルの連絡先のロケーション

5. **[Location] (場所)** フィールドで、上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
6. **[ok]** をタップして、連絡先を短縮ダイヤル リストに追加します。

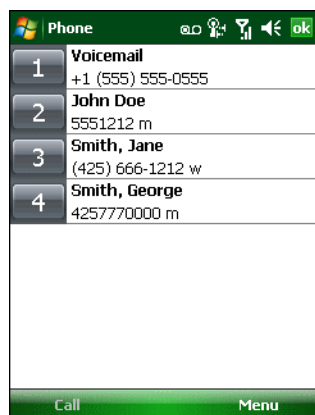


図 4-18 短縮ダイヤル連絡先リスト

7. **[ok]** をタップして、**[Speed Dial Contact List] (短縮ダイヤル連絡先リスト)** を終了します。

[Contacts] (連絡先) ウィンドウから短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先)** をタップします。

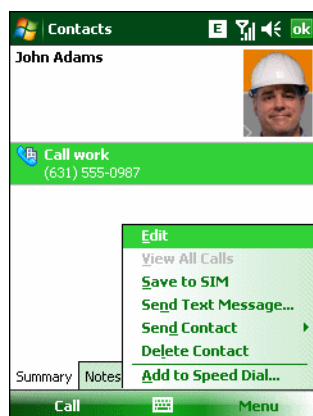
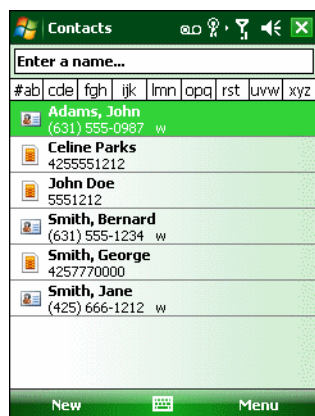


図 4-19 Contacts (連絡先)

- 連絡先名をタップします。
- [Menu] (メニュー) > [Add to Speed Dial] (短縮ダイヤルに追加)** をタップします。

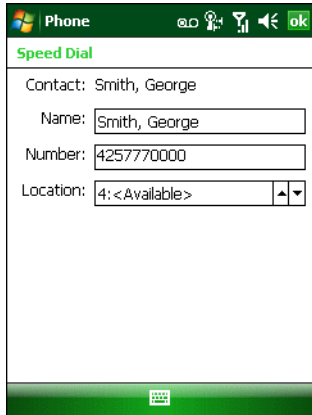


図 4-20 短縮ダイヤルの連絡先のロケーション

- 上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
- [ok]** をタップします。

短縮ダイヤル エントリの編集

- [Start] (スタート) > [Phone] (電話)** をタップするか、MC55 のキーボードの緑色の電話キーを押します。
- [Speed Dial] (短縮ダイヤル)** をタップします。

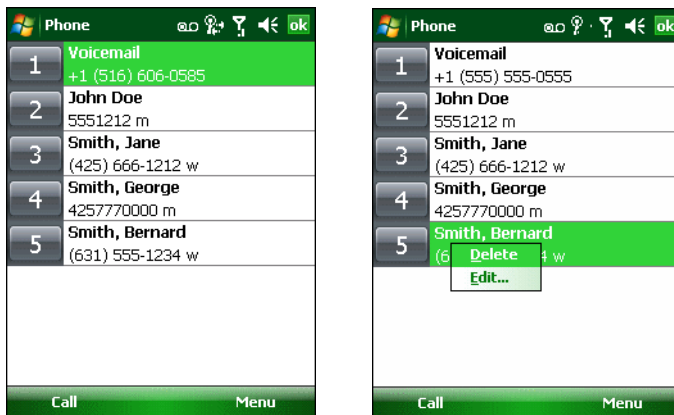


図 4-21 短縮ダイヤル連絡先リスト

- 連絡先名をタップして押し続けます。
- [Edit...] (編集)** をタップします。
- 名前、電話番号、またはロケーション情報を変更します。
- [ok]** をタップします。

✓ **注** **[Speed Dial] (短縮ダイヤル)** で名前や電話番号を編集しても、**[Contacts] (連絡先)** (**[Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先)**) の連絡先情報は変更されません。

短縮ダイヤルエントリの削除

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーボードの緑色の電話キーを押します。
2. [Speed Dial] (短縮ダイヤル) をタップします。
3. 連絡先名をタップして押し続けます。

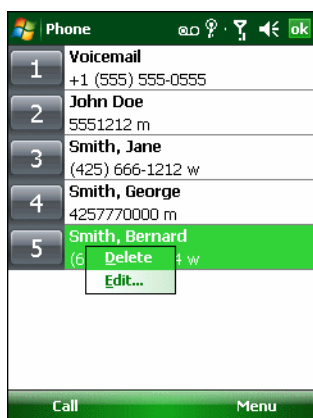


図 4-22 短縮ダイヤルの [Delete] (削除) メニュー

4. [Delete] (削除) をタップします。
5. [Yes] (はい) をタップして、短縮ダイヤル エントリを完全に削除します。

✓ **注** [Speed Dial] (短縮ダイヤル) から名前や電話番号を削除しても、[Contacts] (連絡先) ([Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先)) の連絡先情報は削除されません。

通話履歴を使用する

[Call History] (通話履歴) を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。[Call History] (通話履歴) には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間と通話時間が表示されます。また、全通話の概要が表示され、通話中に入力したメモに容易にアクセスすることができます。表 4-1 に、[Call History] (通話履歴) ウィンドウに表示される Call History (通話履歴) アイコンを示します。

表 4-1 Call History (通話履歴) アイコン

アイコン	説明
	すべての 発信 の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての 着信 の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての 不在着信 の連絡先情報の横に表示されます。

通話履歴の管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、[Call History] (通話履歴) に保存されている通話を管理することができます。

[Call History] (通話履歴) の表示の変更

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、[Phone] (電話) キーパッドを表示します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3. [Menu] (メニュー) > [Filter] (フィルタ) をタップして、メニューを表示します。

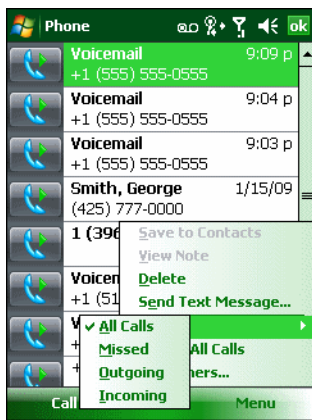


図 4-23 [Call History] (通話履歴) - [All Calls] (すべての通話)/Show (表示) メニュー

4. メニューから表示タイプを選択して、不在着信、発信、着信のみが表示されるようにしたり、発信者名のアルファベット順に通話が表示されるようにすることができます。
5. [ok] をタップして [Call History] (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話カウンタのリセット

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、[Phone] (電話) キーパッドを表示します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3. [Menu] (メニュー) をタップします。

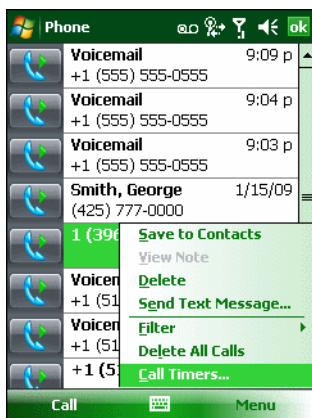


図 4-24 [Call History] (通話履歴) - [Tools] (ツール) メニュー

4. **[Call Timers...]** (通話タイマー) を選択します。

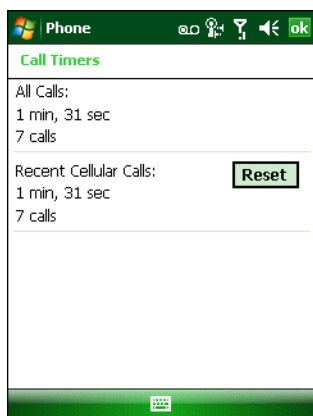


図 4-25 **[Call History]** (通話履歴) - 通話タイマー

5. **[Reset]** (リセット) をタップします (**[All Calls:]** (すべてのコール) カウンタはリセットできません)。
6. **[ok]** をタップして **[Call Timers]** (通話タイマー) ウィンドウを終了します。

通話日による通話履歴項目の削除

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Call Timers...]** (通話タイマー) をタップ

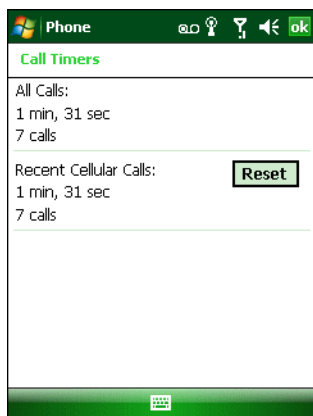


図 4-26 **[Call History]** (通話履歴) - 通話タイマー

4. **[Delete call history items older than:]** (次の期間より前の通話履歴項目を削除する) ドロップダウン リストで、保存されている項目の削除対象期間を選択します。
5. **[ok]** をタップして **[Call Timers]** (通話タイマー) ウィンドウを終了します。

すべての通話履歴項目の削除

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。

3. **[Menu] (メニュー)** をタップします。

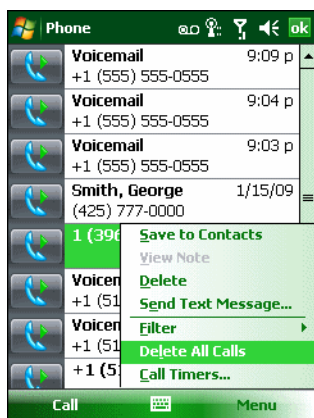


図 4-27 **[Call History] (通話履歴)** - **[Tools] (ツール)** メニュー

4. **[Delete all calls] (すべての通話を削除)** を選択します。

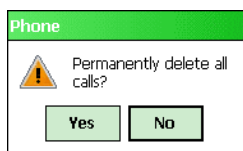


図 4-28 **[Call History] (通話履歴)** - **[Delete All] (すべて削除)** ダイアログ ボックス

5. **[Yes] (はい)** をタップします。
6. **[ok]** をタップして **[Call History] (通話履歴)** ウィンドウを終了します。

通話ステータスの表示

1. **[Start] (スタート)** > **[Phone] (電話)** をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone] (電話)** キーパッドを表示します。
2. **[Phone] (電話)** キーパッドで、**[Call History] (通話履歴)** をタップします。
3. エントリをタップします。**[Call Status] (通話ステータス)** ウィンドウが表示されます。

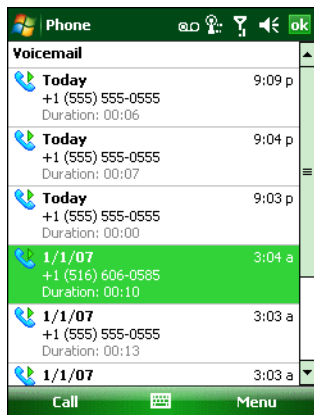


図 4-29 **[Call History] (通話履歴)** - 詳細

- ✓ **注** 複数の通話を行っている場合は、最初の通話の通話時間のみが記録されます。

4. [ok] を 2 回タップして終了します。

[Call History] (通話履歴) メニューの使用

[Call History] (通話履歴) メニューを使用して、Activation Wizard (ライセンス認証ウィザード) へのアクセス、連絡先の保存、メモの表示、リストの削除、SMS の送信、および発信を行うことができます。

1. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、[Phone] (電話) キーパッドを表示します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3. リストで項目をタップして押し続けます。

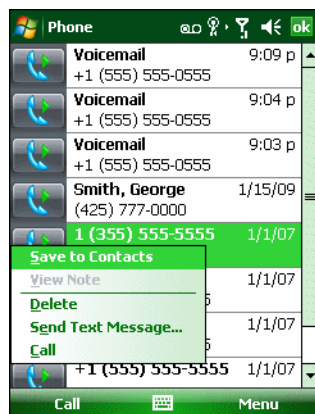


図 4-30 [Call History] (通話履歴) - メニュー

4. 必要に応じて、メニューから該当する項目を選択します。
5. 選択した項目に応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、[Send Text message] (テキストメッセージを送信) を選択すると、[Text Messages] (テキストメッセージ) ウィンドウが表示されます。
6. [ok] をタップして [Call History] (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話の切り替え

複数の通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Phone] (電話)** をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone] (電話)** キーパッドを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、**[Talk] (通話)** をタップします。接続されると、キーパッドに **[Hold] (保留)** ボタンが表示されます。



図 4-31 [Call Swapping] (通話切り替え) - [Hold] (保留)

3. **[Hold] (保留)** をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2 番目の番号を入力して、**[Talk] (通話)** をタップします。

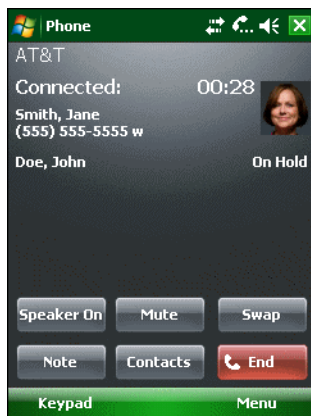


図 4-32 [Call Conferencing] (電話会議) - 会議中

5. **[Swap] (切り替え)** をタップして、通話を切り替えます。
6. 各通話を終了するには、**[End] (終了)** をタップするか、MC55 のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

Conference Calling (会議通話)

- ✓ **注** 一部のサービスでは、Conference Calling (会議通話) 機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。Conference Calling (会議通話) 機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Phone] (電話)** をタップするか、MC55 のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone] (電話)** キーパッドを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、**[Talk] (通話)** をタップします。接続されると、キーパッドに **[Hold] (保留)** ボタンが表示されます。

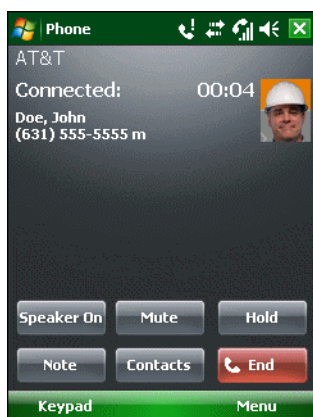


図 4-33 [Conference Call] (会議通話) - [Hold] (保留)

3. **[Hold] (保留)** をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2 番目の電話番号を入力して、**[Talk] (通話)** をタップします。
5. 通話に応答した後に、**[Menu] (メニュー) > [Conference] (会議)** をタップして、通話を会議モードにします。

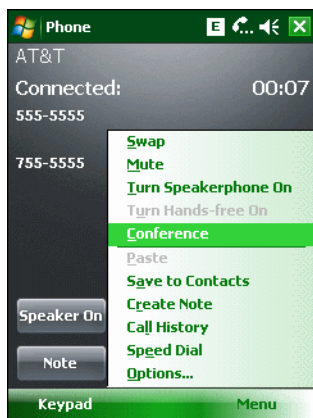


図 4-34 会議通話の確立

6. **[Hold] (保留)** をタップして、会議を保留にします。
7. 別の電話番号を入力して、**[Talk] (通話)** をタップします。
8. 通話に応答した後に、**[Menu] (メニュー) > [Conference] (会議)** をタップして、すべての通話を会議モードにします。

9. 最大 6 つの電話番号で手順 6 ~ 8 を繰り返します。

10. 会議通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、MC55 のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

✓ **注** 会議通話中に 1 人の相手と私的に話すには、[Menu] (メニュー) > [Private] (プライベート) をタップします。すべての相手を再度参加させるには、[Menu] (メニュー) > [Conference] (会議) をタップします。

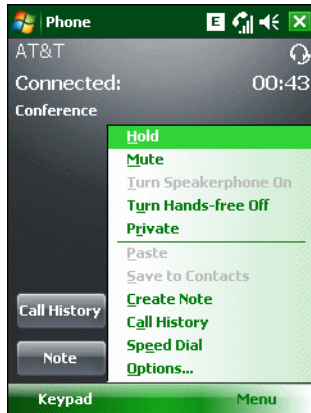


図 4-35 私的通話の確立

テキスト メッセージ

[Text Messages] (テキスト メッセージ) ウィンドウを使用して、携帯電話間でテキスト メッセージを送受信することができます。テキストには、160 文字以内で文字、数字、または英数字の組み合わせを含めることができます。

送信側の MC55 からモバイル ネットワーク経由で送信されたショート テキスト メッセージは、中央のショート メッセージ センターに保存され、送信先のモバイル デバイスに転送されます。受信者が不明な場合は、メッセージが保存され、あとから送信できるようになります。

テキスト メッセージの表示

テキスト メッセージを表示するには、次の手順に従います。

テキスト メッセージは、電話がオンまたはオフの状態に表示できます。電話がオンになっている場合、通知アイコンからテキスト メッセージを表示できます。ナビゲーション バーの **text message notification (テキスト メッセージの通知)** アイコンをタップして、メッセージを表示します。

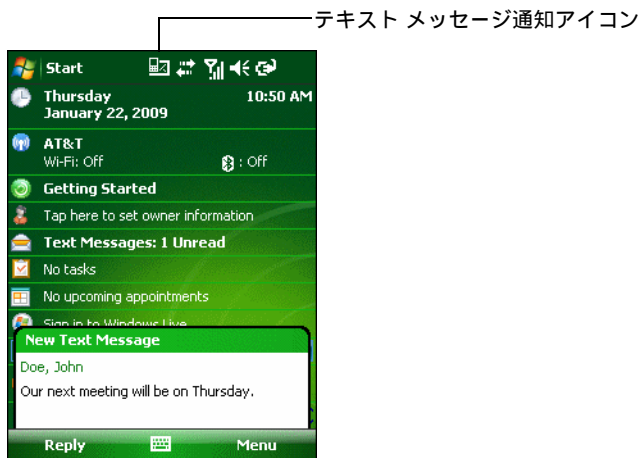


図 4-36 新規テキスト メッセージの通知

Caller Identification (発信者識別) 機能は、着信テキストメッセージ番号と **[Contacts] (連絡先)** に保存されている番号を照合して、メッセージの送信者を表示します。また、**[New Text Message] (新規テキストメッセージ)** ダイアログボックスでは、送信者に発信したり、メッセージを保存、拒否、削除することもできます。

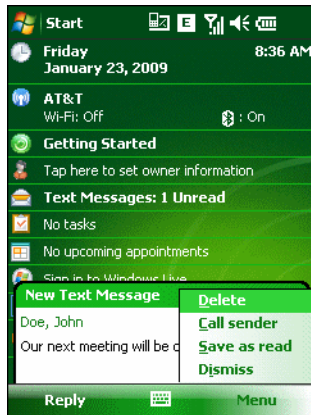


図 4-37 **[New Text Message] (新規テキストメッセージ) のオプション**

電話機能がオフの場合でも、受信したテキストメッセージを **[Messaging] (メッセージ)** で表示できます。

1. **[Start] (スタート) > [Messaging] (メッセージ) > [Text Messages] (テキストメッセージ)** をタップするか、**[Today] (今日)** 画面で **[Text Messages] (テキストメッセージ)** をタップします。



図 4-38 **[Today] (今日) 画面のテキストメッセージ**

[Text Messages] (テキストメッセージ) ウィンドウが表示されます。

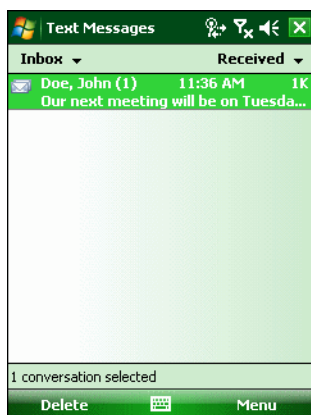
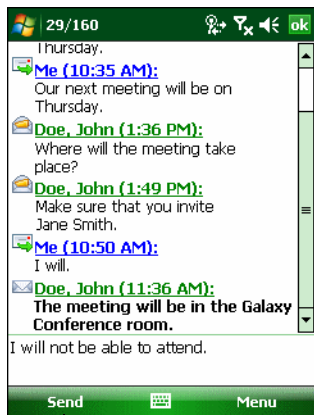


図 4-39 **[Messaging] (メッセージ) ウィンドウ**

2. メッセージ リストでテキスト メッセージをタップします。ウィンドウに以前のテキスト会話が表示されます。



タップしてメッセージに返信します。

図 4-40 テキスト メッセージ - 会話

応答するには、応答フィールドにテキストを入力して、**[Send] (送信)** をタップします。

- ✓ **注** 電話がオフになっている場合に、送信者に発信しようとしたり、応答を返信しようとしたり、メッセージを転送しようすると、電話機能をオンにすることを求めるメッセージが表示されます。

テキスト メッセージの送信

テキスト メッセージを作成するには、次の手順に従います。

1. **[Phone] (電話)** 画面で、メッセージの送信先の連絡先名を選択します。
2. **[Menu] (メニュー)** > **[Send Text Message] (テキスト メッセージを送信)** をタップします。

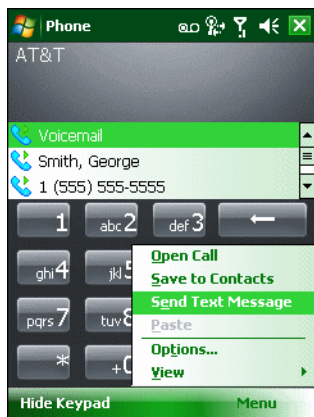


図 4-41 [Phone] (電話) 画面の [Contact] (連絡先) リスト

3. メッセージを作成します。



図 4-22 テキストメッセージの作成

- オートコレクト機能により、メッセージの入力時に一般的なスペルミスが自動的に修正されるため、正確なメッセージを作成できます。
- 文字カウンタにより、作成中にメッセージのサイズを確認および制御することができます。
- 相手がテキストメッセージを受信したかどうかを確認するには、**[Menu] (メニュー) > [Message Options] (メッセージ オプション)** をタップして、**[Request message delivery notification] (メッセージの配信通知を要求する)** チェック ボックスをオンにします。

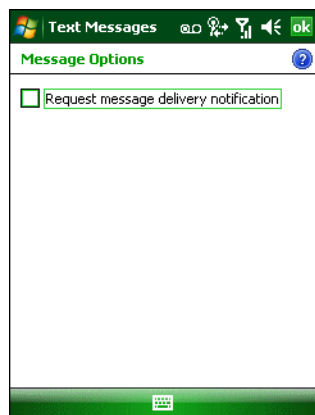


図 4-23 [Message Options] (メッセージ オプション) ウィンドウ

4. メッセージが完了したら、**[Send] (送信)** をタップします。

電話がオンになっている場合は、テキストメッセージが送信されます。オフになっている場合は、電話をオンを求めるメッセージが表示されます。電話をオンにすると、メッセージが送信されます。オンにしないで **[ok]** をタップすると、メッセージは **[Drafts] (下書き)** フォルダに保存され、電話をオンにしたときに送信されます。

通信圏外にいる場合、メッセージは **[Drafts] (下書き)** フォルダに保存され、通信圏内に戻ったときに送信されます。

- ✓ **注** MC5504 および MC5574 では、メッセージは **[Drafts] (下書き)** フォルダに残り、通信圏内に戻ったときに手動で再送信する必要があります。

データ接続の確立

✓ **注** データ接続の設定については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

1. MC55 に SIM カードが取り付けられていることを確認します。
2. GPRS データ接続を設定します。詳細は、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。
3. 画面上部の接続アイコン **G** または **E** をタップします。



図 4-44 [Connectivity] (接続) ダイアログ ボックス

4. [Settings] (設定) をタップします。
5. [Connections] (接続) アイコンをタップします。
6. [Managing existing connections] (既存の接続の管理) をタップします。
7. 目的のデータ接続をタップし、メニューが表示されるまで押したままにします。

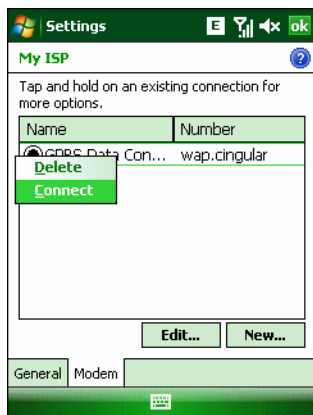


図 4-45 データ接続

8. [Connect] (接続) を選択します。

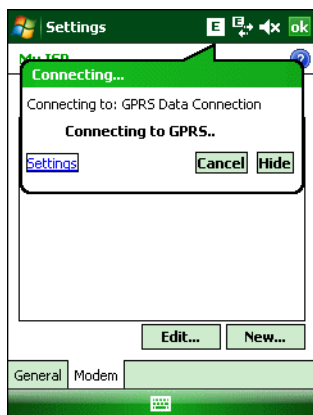


図 4-46 GPRS を使用して接続

- SIM カードが個人識別番号 (PIN) で保護されている場合は、ダイアログ ボックスがポップアップし、SIM カードのロックを解除するための適切な PIN を入力するよう求められます。その場合は、PIN を入力して **[ok]** をタップします。

✓ **注** 緊急通話は、PIN を入力しなくても、また SIM カードが装着されていなくても常にかけることができます。

- 接続が確立されたら、**Internet Explorer** を起動して、インターネットをブラウズしたり、使用可能なアプリケーションを起動します。

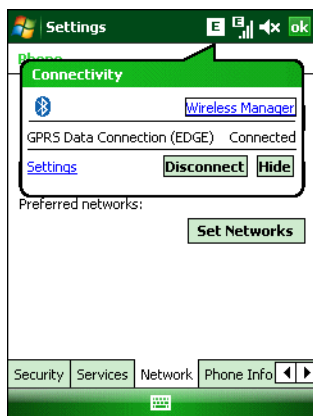
✓ **注** 接続が確立されない場合は、正しい APN の再入力が必要になる可能性もあります。データ接続の設定については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

データ接続の終了

進行中のデータ接続を取り消すには、**[Connecting...]** (**接続**) ダイアログ ウィンドウで、**[Cancel]** (**キャンセル**) をタップします。

データ接続の確立を終了するには、次の手順を行います。

- G** または **E** をタップします。**[Connectivity]** (**接続**) ダイアログ ボックスが表示されます。

図 4-47 **[Connectivity]** (**接続**) ダイアログ ボックス

- [Disconnect]** (**切断**) をタップします。

✓ **注** アクティブなデータ転送 (Web ページのダウンロードなど) の途中で **[Disconnect]** (**切断**) をタップすると、自動的に再接続されます。データ転送が完了するまで、接続を切断することはできません。

第 5 章 Bluetooth の使用

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/30 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載した MC55 は、電話機、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル コンピュータといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。MC55 をモデムとして使用するには、コンピュータと MC55 間でダイヤルアップ モデム接続を確立します。

Bluetooth 搭載の MC55 は、StoneStreet Bluetooth スタックと Microsoft Bluetooth スタックのいずれかを使用します。StoneStreet One Bluetooth スタック API を使用するアプリケーションを作成する場合は、Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help を参照してください。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップ シーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Motorola 製のモバイル コンピュータはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

MC55 の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 32.8 フィート (10m) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。

✓ **注** 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通 PIN 番号を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の一つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。または PIN コードをモバイル コンピュータに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Microsoft のスタックは Smart-pairing をサポートしています。詳細は、Microsoft MSDN を参照してください。

セキュリティ モード 3 (リンク レベル暗号化)

MC55 はセキュリティ レベル 3 (リンク レベル暗号化) をサポートしています。リンク レベル暗号化は、2 つのデバイス間での転送時に、データ リンク レベルで情報を暗号化するデータ セキュリティ処理です。

Microsoft Bluetooth スタック

Microsoft Bluetooth UI を使用してリモート デバイスとペアリングするときは、セキュリティ レベル 3 (リンク レベル暗号化) が自動的に使用されます。Microsoft Bluetooth スタックを使用してアプリケーションを開発するときは、**BthSetEncryption** API コールを使用してセキュリティ モード 3 を有効にしてください。詳細については、Microsoft MSDN を参照してください。

StoneStreet One Bluetooth スタック

発信シリアル ポート接続にセキュリティ モード 3 を設定するには、**[Settings] (設定) > [Security] (セキュリティ) タブ**で **[Encrypt Link On All Outgoing Connections] (すべての送信接続でリンクを暗号化)** チェックボックスをオンにします。詳細については、**5-33 ページの「[Security] (セキュリティ) タブ**」を参照してください。

Bluetooth の設定

MC55 は、デフォルトでは StoneStreet One Bluetooth スタックを使用するように設定されます。Microsoft Bluetooth スタックへの切り替えについては、『MC55 Integrator Guide』の「付録 B」を参照してください。

MC55 が StoneStreet One Bluetooth スタックを使用するように設定されている場合、[Today] (今日) 画面の右下に Bluetooth アイコンが表示されます。Microsoft Bluetooth スタックが設定されている場合には、Bluetooth アイコンは表示されません。

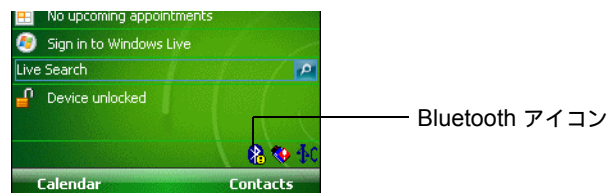


図 5-1 Bluetooth アイコン

表 5-1 に、StoneStreet One Bluetooth スタックと Microsoft Bluetooth スタックでサポートされるサービスを示します。

表 5-1 Bluetooth サービス

Microsoft Bluetooth スタック	StoneStreet One Bluetooth スタック
OBEX Object Push (OBEX オブジェクト プッシュ) サービス	File Transfer Service (ファイル転送サービス)
Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス	Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス
Serial Port (シリアル ポート) サービス	OBEX Object Push (OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス	Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス)
PBAP サービス	Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
	Serial Port (シリアル ポート) サービス
	Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
	IrMC Service (IrMC サービス)
	HID Client (HID クライアント) サービス
	A2DP/AVRCP サービス

表 5-2 に、StoneStreet One Bluetooth スタックと Microsoft Bluetooth スタックに使用できる COM ポートを示します。

表 5-2 COM ポート

Microsoft Bluetooth スタック	StoneStreet One Bluetooth スタック
COM5	COM5
COM9	COM9
	COM11

表 5-2 COM ポート (続き)

Microsoft Bluetooth スタック	StoneStreet One Bluetooth スタック
	COM21
	COM22
	COM23

Bluetooth の電源の状態

コールドブート

MC55 でコールドブートを実行すると、初期化後に Bluetooth がオフになります (初期化にはしばらく時間がかかります)。すべてのモードで初期化中に **Bluetooth** アイコンと待機カーソルが表示/非表示になることは正常な動作です。

ウォームブート

MC55 でウォームブートを実行すると、Bluetooth がオフになります。

サスペンド

MC55 をサスペンドすると、Bluetooth がオフになります。

- ✓ **注** MC55 と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、MC55 はタイムアウトしません。ただし、MC55 の電源ボタンを押すと MC55 はサスペンドモードになり、リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信するとサスペンドモードからウェイクアップします (たとえば、ヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth からデータが送信された場合)。

再開

サスペンド前に Bluetooth がオンになっていた場合、MC55 が再開されると Bluetooth はオンになります。

Bluetooth StoneStreet One Bluetooth スタックの使用方法

以降のセクションでは、Stone Street One Bluetooth スタックの使い方について説明します。

Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え

- ✓ **注** Windows Mobile 6.5.3 デバイスでは、**Wireless Manager (無線マネージャ)** を使用して、Bluetooth 無線のオンとオフを切り替えます。ステータスバーをタップして、**Connectivity (接続)** アイコンを選択します。**[Wireless Manager (無線マネージャ)]** をタップします。

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC55 を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

- ✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、**Bluetooth アイコン** > **[Disable Bluetooth] (Bluetooth を無効にする)** をタップします。**Bluetooth アイコン**が変わり、Bluetooth が無効になったことを示します。

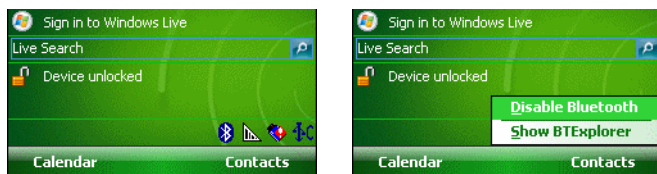


図 5-2 Bluetooth の無効化

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、**Bluetooth アイコン** > **[Enable Bluetooth] (Bluetooth を有効にする)** をタップします。**Bluetooth アイコン**が変わり、Bluetooth が有効になったことを示します。



図 5-3 Bluetooth の有効化

モード

BTE Explorer アプリケーションには、Wizard Mode (ウィザード モード) と Explorer Mode (エクスプローラ モード) という 2 つの Bluetooth 接続管理モードがあります。Wizard Mode (ウィザード モード) は、Bluetooth を初めて使用するユーザー向けのモードで、Explorer Mode (エクスプローラ モード) は Bluetooth に精通しているユーザー向けのモードです。モードを切り替えるには、**[View] (表示)** > **[Wizard Mode] (ウィザード モード)** または **[View] (表示)** > **[Explorer Mode] (エクスプローラ モード)** を選択します。

Wizard Mode (ウィザード モード)

Wizard Mode (ウィザード モード) では、Bluetooth デバイスを検出して接続するための簡単な手順が示されます。

- ✓ **注** Wizard Mode (ウィザード モード) と Explorer Mode (エクスプローラ モード) の切り替えを行うと、確立されているすべての接続が切断されます。

Wizard Mode (ウィザード モード) では、ウィザードの手順に従って作成した簡潔な [Favorites] (お気に入り) ビューにデバイスとサービスが表示されます。

Explorer Mode (エクスプローラ モード)

[Explorer Mode] (エクスプローラ モード) ウィンドウは、容易にナビゲートすることができ、Bluetooth に精通しているユーザーに優れた制御機能を提供します。メニュー バーから、デバイスの接続に使用するオプションとツールにすばやくアクセスできます。エクスプローラ モードにアクセスするには、**[View] (表示)** > **[Explorer Mode] (エクスプローラ モード)** をタップします。

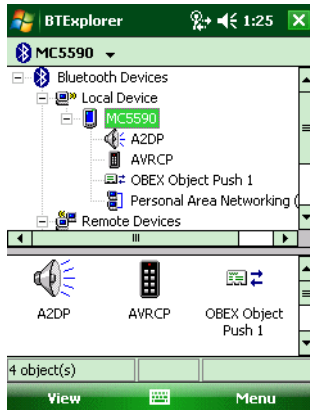


図 5-4 [Explorer Mode] (エクスプローラ モード) ウィンドウ

項目をタップして押し続けることで、使用可能なオプションを表示することもできます。スクロールバーと表示オプションは、Windows デスクトップのものに類似しています。ツリー構造で、次のサブ項目が表示されます。

- Local Device (ローカル デバイス) - このデバイス
- Remote Device (リモート デバイス) - 他の Bluetooth デバイス
 - Trusted Devices (信頼されたデバイス) - 結合済みの (ペアリングされた) Bluetooth デバイス
 - Untrusted Devices (信頼されていないデバイス) - 検出されたが結合されていないデバイス
- Favorites (お気に入り) - 選択し、すばやくアクセスできるようにお気に入りに設定したサービス。

✓ **注** Wizard Mode (ウィザード モード) と Explorer Mode (エクスプローラ モード) の切り替えを行うと、確立されているすべての接続が切断されます。

Bluetooth デバイスの検出

MC55 は、検出されたデバイスと結合されていなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合すると、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC55 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[5-22 ページの「検出したデバイスとの結合」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. MC55 で必要なプロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。
4. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
5. Bluetooth アイコンをタップして、**[Show BTExplorer] (BTExplorer を表示)** を選択します。**[BTExplorer]** ウィンドウが表示されます。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites] (お気に入り)** 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** 画面が表示されます。

6. **[Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続)** をタップします。**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** が表示されます。

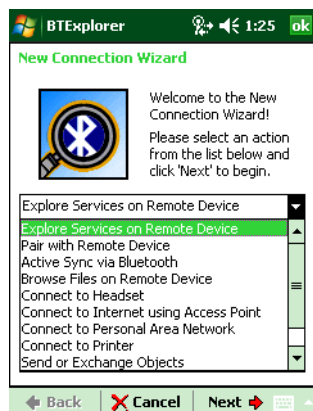


図 5-5 [BTExplorer] ウィンドウ

7. ドロップダウン リストから **[Explore Services on Remote Device]** (リモート デバイス上のサービスを検索) または他のオプションを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。

ドロップダウン リストでは、次の操作を選択できます (表示される操作は、構成によって異なります)。

- Explore Services on Remote Device (リモート デバイス上のサービスを検索)
- Pair with a Remote Device (リモート デバイスとペアリング)
- Active Sync via Bluetooth (Bluetooth 経由で ActiveSync)
- Browse Files on Remote Device (リモート デバイス上のファイルを参照)
- Connect to Headset (ヘッドセットを接続)
- Connect to Internet using Access Point (アクセス ポイントを使用してインターネットに接続)
- Connect to Internet using Phone/Modem (電話/モデムを使用してインターネットに接続)
- Connect to Personal Area Network (パーソナル エリア ネットワークに接続)
- Connect to Printer (プリンタに接続)
- Send or Exchange Objects (オブジェクトを送信または交換)
- Associate Serial Port (シリアル ポートに関連付ける)
- Connect to High-Quality Audio (高品質オーディオに接続)

✓ **注** デバイス検出操作を以前に実行したことがない場合は、デバイスの検出が自動的に開始されます。デバイスの検出を以前に実行したことがある場合は、デバイスの検出処理がスキップされ、以前に検出されたデバイスのリストが表示されます。新たにデバイスの検出を実行するには、ウィンドウをタップして押し続け、ポップアップ メニューから **[Discover Devices]** (デバイスの検出) を選択します。

8. **BTExplorer** は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。

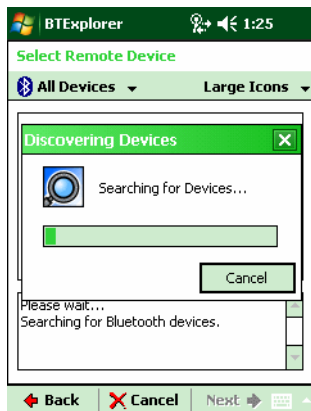


図 5-6 [Discover Devices] (デバイスの検出) ダイアログ ボックス

[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウに、検出されたデバイスが表示されます。

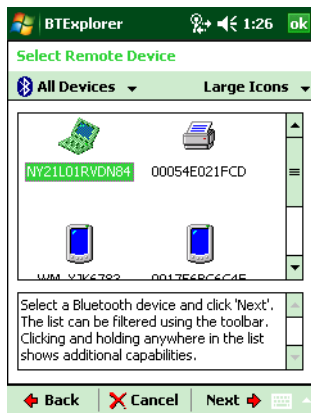


図 5-7 [Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウ

- リストからデバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。MC55 は、選択した Bluetooth デバイス上でサービスを検索します。

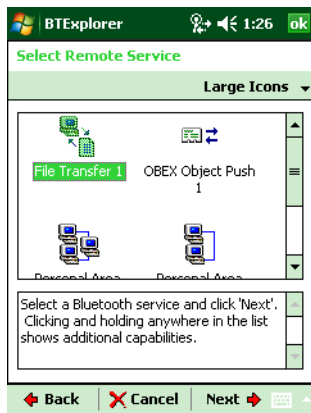


図 5-8 デバイスのサービス

✓ 注 MC55 がサービスを検出したが、そのサービスをサポートしていない場合、サービス アイコンは淡色表示されます。

10. リストからサービスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。

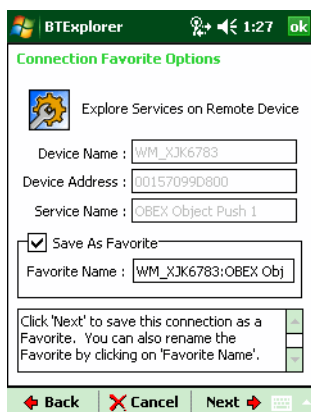


図 5-9 [Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウ

11. [Favorite Name] (お気に入りの名前) テキスト ボックスで、このサービスの名前を入力します。この名前は、[Favorite] (お気に入り) ウィンドウに表示されます。
12. [Next] (次へ) をタップします。[Connection Summary] (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
13. [Connect] (接続) をタップして、サービスを [Favorite] (お気に入り) ウィンドウに追加して、サービスに接続します。

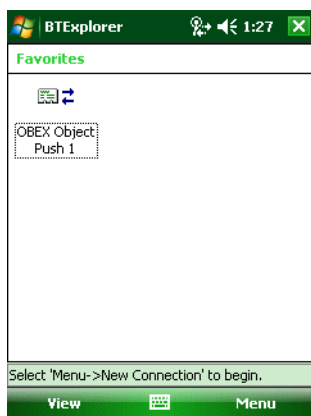


図 5-10 [Favorite] (お気に入り) ウィンドウ

使用可能なサービス

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

MC55 は、次のサービスを提供しています。

- File Transfer Service (ファイル転送サービス)
- Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス
- OBEX Object Push (OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
- Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス)
- Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
- Serial Port (シリアル ポート) サービス

- Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
- IrMC Service (IrMC サービス)
- A2DP/AVRCP

これらのサービスについては、以降のセクションを参照してください。

File Transfer Service (ファイル転送サービス)

✓ **注** 共有フォルダは、セキュリティ上のリスクとなります。

MC55 と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. MC55 で OBEX File Transfer (OBEX ファイル転送) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)」を参照してください。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

2. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
3. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Select Remote Service]** (リモート サービスの選択) ウィンドウが表示されます。
4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
5. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
6. **[Connect]** (接続) をタップします。リモート デバイスのアクセス可能なフォルダが表示されます。

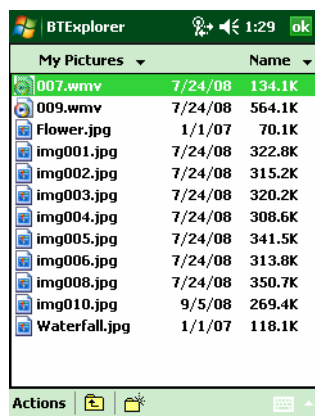


図 5-11 [File Transfer] (ファイル転送) ウィンドウ

7. コピーするファイルをダブルタップします。**[Save Remote File]** (リモート ファイルの保存) ウィンドウが表示されます。

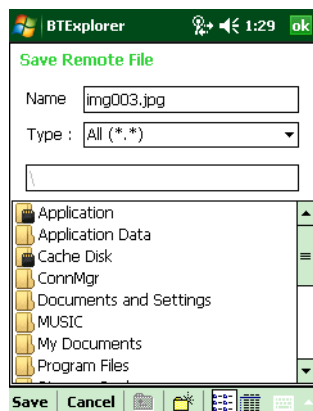


図 5-12 [Save Remote File] (リモート ファイルの保存) ウィンドウ

8. ファイルをタップして押し続けます。ポップアップ メニューが表示されます。
9. 実行する操作を選択します。
 - **New (新規)** - リモート デバイス上にファイルまたはフォルダを新規作成します。
 - **Delete (削除)** - リモート デバイス上の選択したファイルを削除します。
 - **Get File (ファイルを取得)** - リモート デバイスから MC55 にファイルをコピーします。
 - **Put File (ファイルをプット)** - MC55 からリモート デバイス にファイルをコピーします。

ファイルまたはフォルダの新規作成

リモート デバイス上にファイルまたはフォルダを新規作成するには、次の手順に従います。

1. 画面上をタップして押し続け、**[New] (新規) > [Folder] (フォルダ)** または **[New] (新規) > [File] (ファイル)** を選択します。**[Create New Folder] (フォルダの新規作成)** または **[Create New File] (ファイルの新規作成)** ウィンドウが表示されます。
2. 新しいフォルダまたはファイルの名前を入力します。
3. **[OK]** をタップして、リモート デバイス上にフォルダまたはファイルを新規作成します。

ファイルの削除

リモート デバイスからファイルを削除するには、次の手順に従います。

1. 削除するファイルをタップして押し続け、**[Delete] (削除)** を選択します。
2. **[Delete Remote Device File] (リモート デバイスのファイルの削除)** ダイアログ ボックスで、**[Yes] (はい)** をタップします。

ファイルの取得

リモート デバイスからファイルをコピーするには、次の手順に従います。

1. ファイルをダブルタップするか、タップして押し続けて、**[Get] (取得)** を選択します。**[Save Remote File] (リモート ファイルの保存)** ウィンドウが表示されます。
2. ファイルを保存するディレクトリへ移動します。
3. **[Save] (保存)** をタップします。リモート デバイスから MC55 にファイルが転送されます。

ファイルのコピー

ファイルをリモート デバイスにコピーするには、次の手順に従います。

1. **[Action] (操作) > [Put] (プット)** をタップします。**[Send Local File] (ローカル ファイルの送信)** ウィンドウが表示されます。
2. ファイルを保存するディレクトリに移動して、ファイルを選択します。
3. **[Open] (開く)** をタップします。MC55 からリモート デバイスにファイルがコピーされます。

アクセス ポイントを使用したインターネットへの接続

ここでは、ネットワーク接続用の Bluetooth 対応 LAN アクセス ポイント (AP) にアクセスする方法について説明します。Internet Explorer を使用してサーバーに接続します。

1. MC55 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。[5-25 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ](#)を参照してください。
2. MC55 で、**Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク)** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)を参照してください。
3. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Bluetooth AP を検索します。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites] (お気に入り)** 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** 画面が表示されます。

4. **[Personal Area Network] (パーソナル エリア ネットワーク)** または **[Network Access] (ネットワーク アクセス)** サービスを選択して、ポップアップ メニューから **[Connect] (接続)** を選択します。MC55 は、アクセス ポイント経由で接続します。
5. **[Start] (スタート) > [Internet Explorer]** を選択します。**[Internet Explorer]** ウィンドウが表示されます。
6. アドレス フィールドにインターネット アドレスを入力して、**[Enter]** ボタンをタップします。Web ページが読み込まれます。

✓ **注** Network Access Profile (ネットワーク アクセス プロファイル) はサポートしていません。

Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス

ダイヤルアップ ネットワークにより、MC55 に PC またはラップトップを接続して、MC55 をオフィスのネットワークまたは ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ダイヤルアップ ネットワークの設定を行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. MC55 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。[5-25 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ](#)を参照してください。
2. MC55 で **Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク)** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)を参照してください。
3. **[Menu] (メニュー) > [Settings] (設定) > [Services] (サービス)** タブをタップします。

4. **[Add] (追加)** ボタンをタップします。
5. **[Dial-up networking Service] (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)** を選択します。
6. **[OK]** をタップする **[Edit Local Services] (ローカル サービスの編集)** ウィンドウが表示されます。

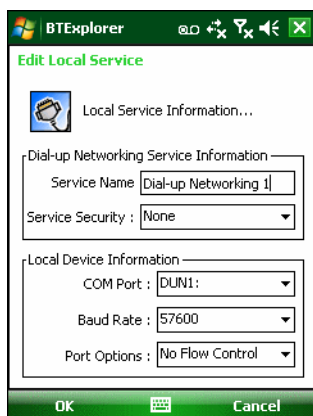


図 5-13 **[Edit Local Services] (ローカル サービスの編集)** ウィンドウ

7. **[Local COM Port] (ローカル COM ポート)** ドロップダウン リストで、**[DUN1] (GSM 構成)** を選択します。
8. **[OK]** を 2 回タップします。
9. PC またはラップトップで、製造元の指示に従って Bluetooth の設定を行います。
10. PC またはラップトップの Bluetooth ソフトウェアで、MC55 を検索して、**[Dial-up Networking] (ダイヤルアップ ネットワーク)** サービスを選択します。
11. PC またはラップトップのダイヤルアップ ソフトウェアを使用して、MC55 に接続します。
12. MC55 の電話機能により ISP の番号がダイヤルされて、ISP に接続します。
13. 確認するには、PC またはラップトップで Internet Explorer を起動して Web サイトを開きます。

Object Exchange Push Services (オブジェクト交換プッシュ サービス)

Object Exchange (OBEX) は、Bluetooth を使用して連絡先や画像などのオブジェクトを共有できるようにする一連の protocols です。

他の Bluetooth 対応デバイスと連絡先情報を交換するには、次の手順に従います。

1. MC55 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。5-25 ページの「**[Device Info] (デバイス情報) タブ**」を参照してください。
2. MC55 で **OBEX Object Push** (OBEX オブジェクト プッシュ) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-36 ページの「**[Profiles] (プロファイル) タブ**」を参照してください。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites] (お気に入り)** 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** 画面が表示されます。

3. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
4. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
5. **[OBEX Object Push]** サービスを選択して **[Connect] (接続)** を選択します。**[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ)** ウィンドウが表示されます。

6. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、次のいずれかのオプションを選択します。**[Send Contact Information]** (連絡先情報の送信)、**[Swap Contact Information]** (連絡先情報の入れ替え)、**[Fetch Contact Information]** (連絡先情報の取得)、**[Send a Picture]** (画像の送信)。

連絡先の送信

他のデバイスに連絡先を送信するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 連絡先を送信および受信する前に、デフォルトの連絡先を設定する必要があります。

1. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、**[Connect]** (接続) を選択します。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。

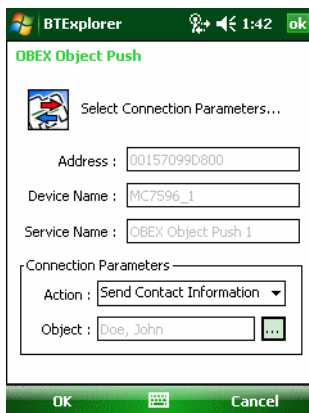


図 5-14 **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、**[Send Contact Information]** (連絡先情報の送信) を選択します。
3. **[...]** をタップします。**[Select Contact Entry]** (連絡先エントリの選択) ウィンドウが表示されます。

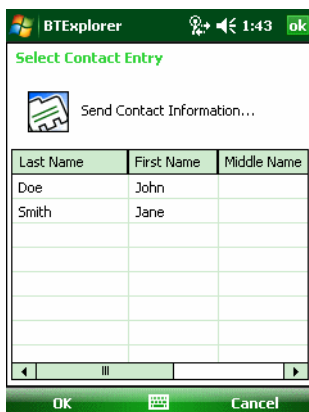


図 5-15 **[Select Contact Entry]** (連絡先エントリの選択) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する連絡先を選択します。
5. **[OK]** をタップする
6. **[OK]** をタップして、他のデバイスに連絡先を送信し、連絡先を受け付けるための確認ダイアログ ボックスを他のデバイスに表示します。**[Send Contact]** (連絡先の送信) ダイアログ ボックスが表示されます。
7. **[OK]** をタップします。

連絡先の入れ替え

他のデバイスと連絡先を入れ替えるには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 連絡先を入れ替える場合は、連絡先を送信する前にデフォルトの連絡先を設定する必要があります。
MC55 が接続可能になっていることを確認します。

1. **[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ)** をタップして押し続けて、**[Connect] (接続)** を選択します。**[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ)** ウィンドウが表示されます。

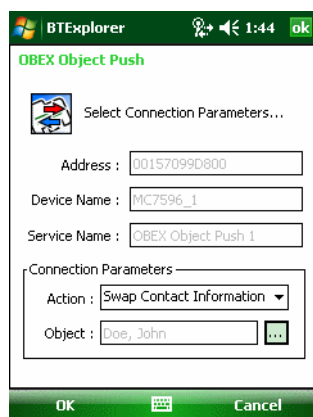


図 5-16 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action] (操作)** ドロップダウン リストで、**[Swap Contact Information] (連絡先情報の入れ替え)** を選択します。
3. **[...]** をタップします。**[Select Contact Entry] (連絡先エントリの選択)** ウィンドウが表示されます。



図 5-17 [Select Contact Entry] (連絡先エントリの選択) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する連絡先を選択します。
5. **[OK]** をタップする
6. **[OK]** をタップして、他のデバイスと連絡先を入れ替えて、連絡先を受け付けるための確認ダイアログ ボックスを他のデバイスに表示します。
7. **[OK]** をタップする

連絡先の取得

他のデバイスから連絡先を取得するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 連絡先を送信および受信する前に、デフォルトの連絡先を設定する必要があります。
MC55 が接続可能になっていることを確認します。

1. **[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ)** をタップして押し続けて、**[Connect] (接続)** を選択します。
[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。

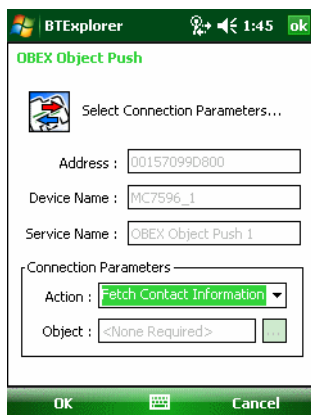


図 5-18 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action] (操作)** ドロップダウン リストで、**[Fetch Contact Information] (連絡先情報の取得)** を選択します。
3. **[OK]** をタップする 他のデバイス上の連絡先がコピーされます。

画像の送信

他のデバイスへ画像を送信するには、次の手順に従います。

1. **[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ)** をタップして押し続けて、**[Connect] (接続)** を選択します。
[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。

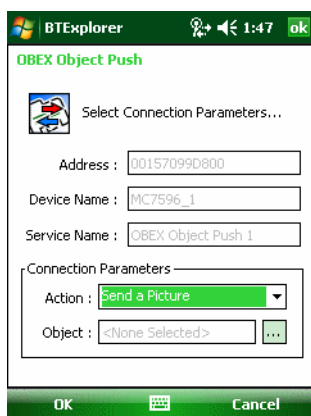


図 5-19 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action:] (操作)** ドロップダウン リストで、**[Send A Picture] (画像の送信)** を選択します。
3. **[...]** をタップします。**[Send Local Picture] (ローカルの画像の送信)** ウィンドウが表示されます。

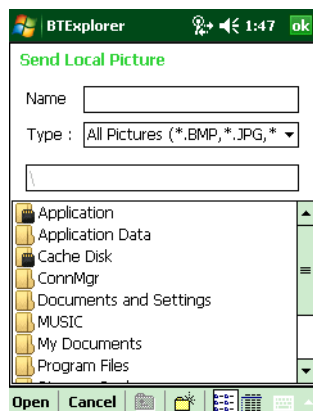


図 5-20 [Send Local Picture] (ローカルの画像の送信) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する画像を選択します。
5. **[Open] (開く)** をタップします。
6. **[OK]** をタップして、他のデバイスに画像を送信します。送信先のデバイスに、画像を受け付けるための確認ダイアログボックスが表示されます。**[Send Picture] (画像の送信)** ダイアログボックスが表示されます。
7. **[OK]** をタップする

Headset Services (ヘッドセット サービス)

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

1. MC55 が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。5-25 ページの「**[Device Info] (デバイス情報) タブ**」を参照してください。
2. MC55 で **Headset (ヘッドセット)** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-36 ページの「**[Profiles] (プロファイル) タブ**」を参照してください。
3. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Bluetooth ヘッドセットを検索します。
4. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
5. **[Headset] (ヘッドセット)** サービス名を選択して、**[Connect] (接続)** を選択します。MC55 がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** Bluetooth ヘッドセットと Headset Services (ヘッドセット サービス) を使用している場合、ヘッドセットで通話を受けたり終了させることはできません。MC55 で通話を受けたり終了させる必要があります。

6. ヘッドセットの通信ボタンを押します。これにより、両方のシステムがつながり、WAN 通話音声ヘッドセットに送信されます。
7. MC55 で通話を受けた場合は、**[Accept] (通話)** ボタンをタップして通話に応答します。
8. 音声を MC55 に戻すには、ヘッドセットの通信ボタンを押します。

Hands-free (ハンズフリー) サービス

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、MC55 のスピーカーから出力されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルを使用して、通話を受たりリダイヤルすることができます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルは、3 者通話をサポートしていません。

1. MC55 が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。5-25 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. MC55 で Hands Free (ハンズフリー) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-36 ページの「[Profiles] (プロファイル) タブ」を参照してください。
3. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Bluetooth ハンズフリー ヘッドセットを検索します。
4. ハンズフリー デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
5. **[Hands-free] (ハンズフリー)** サービス名を選択して、**[Connect] (接続)** を選択します。MC55 がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。
6. 接続が確立されている場合、電源ボタンを押しても MC55 はサスペンド モードになりません。このことを通知するメッセージが表示されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルで WAN 通話が切断されると、電源ボタンが有効になります。



図 5-21 [WWAN Bluetooth Audio Notification] (WWAN Bluetooth 音声通知) ダイアログ ボックス

Serial Port (シリアルポート) サービス

無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定します。

シリアルポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Bluetooth シリアル デバイスを検索します。
2. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。**[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション)** ウィンドウが表示されます。
3. **[Local COM Port:] (ローカル COM ポート)** ドロップダウン リストで、COM ポートを選択します。
4. **[Finish] (完了)** をタップします。

シリアルポートサービスを使用した ActiveSync

- ✓ **注** デフォルトでは、COM ポート COM5、COM9、COM11、COM21、COM22、および COM23 が Bluetooth 仮想ポートです。アプリケーションがこれらのいずれかのポートを開くと、Bluetooth ドライバが有効になり、Bluetooth 接続を確立するための手順が表示されます。

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定する必要があります。



図 5-22 PC の [ActiveSync Connection Settings] (ActiveSync 接続設定) ウィンドウ

ActiveSync 接続を確立するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** ActiveSync 接続を作成するときは、ウィザードモードで StoneStreet One Bluetooth エクスプローラだけを使用します。

1. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、PC などの Bluetooth デバイスを検索します。ドロップダウン リストで、**[ActiveSync via Bluetooth] (Bluetooth 経由で ActiveSync)** を選択します。
2. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。**[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション)** ウィンドウが表示されます。
3. **[Connect] (接続)** をタップします。**[Remote Service Connection] (リモートサービス接続)** ウィンドウが表示されます。

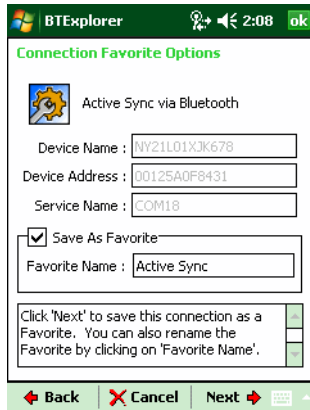


図 5-23 [Remote Service Connection] (リモート サービス接続) ウィンドウ

4. [Service Type] (サービスのタイプ) ドロップダウン リストで、[ActiveSync] を選択します。
5. [OK] をタップする MC55 が PC への接続を確立し、ActiveSync セッションが開始されます。
6. [Finish] (完了) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
7. セッションを終了するには、[Favorite] (お気に入り) ウィンドウで ActiveSync アイコンをタップして、ポップアップ ウィンドウから [Disconnect] (切断) を選択します。

Personal Area Network Services (パーソナルエリア ネットワーク サービス)

- ✓ **注** このプロファイルは、アドホックおよび PAN ユーザーをサポートしています。Network Access Profile (ネットワーク アクセス プロファイル) はサポートしていません。

複数の Bluetooth デバイスを接続して、ファイルを共有したり、共同作業を行ったり、マルチプレイヤー ゲームをプレイしたりすることができます。パーソナル エリア ネットワーク接続を確立するには、次の手順に従います。

1. MC55 で、**Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク)** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)」を参照してください。
2. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
3. デバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
4. [Next] (次へ) をタップします。[Connection Summary] (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
5. [Connect] (接続) をタップします。MC55 が Bluetooth デバイ스에接続されます。

IrMC Synchronization Services (IrMC 同期サービス)

IrMC Synchronization (IrMC 同期) を使用して、PIM の連絡先をリモート デバイスと MC55 間で同期します。IrMC 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. MC55 が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。5-25 ページの「[\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ](#)」を参照してください。
2. MC55 で **Sync (同期)** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)」を参照してください。

3. **[Menu] (メニュー) > [Settings] (設定) > [Services] (サービス)** タブをタップします。
4. **[Add] (追加)** ボタンをタップします。
5. **[IrMC Synchronization] (IrMC 同期)** を選択します。
6. **[OK]** をタップする **[Edit Local Services] (ローカル サービスの編集)** ウィンドウが表示されます。
7. **[OK]** を 2 回タップします。
8. **Connection Wizard (接続ウィザード)** を使用して、Car Kit (自動車用キット) などの Bluetooth デバイスを検索します。
9. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。 **[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション)** ウィンドウが表示されます。
10. **[IrMA Synchronization] (IrMA 同期)** をタップして押し続け、ポップアップ メニューで **[Connect] (接続)** を選択します。

✓ **注** Car Kit (自動車用キット) に自動的に連絡先を転送するには、MC55 で IrMC Synchronization (IrMC 同期) サービスが有効になっていることを確認します。

A2DP/AVRCP サービス

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. MC55 が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。 [5-25 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ](#) を参照してください。
2. リモート Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。手順はデバイスのユーザー マニュアルを参照してください
3. MC55 で **A2DP/AVRCP** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、 [5-36 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#) を参照してください。
4. **[Menu] (メニュー) > [Settings] (設定) > [Services] (サービス)** タブをタップします。
5. **[Add] (追加)** ボタンをタップします。
6. **Advanced Audio Distribution Services (高品質オーディオ配信サービス)** を選択します。
7. **[OK]** をタップする **[Edit Local Services] (ローカル サービスの編集)** ウィンドウが表示されます。
8. **[OK]** を 2 回タップします。
9. **[Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続)** をタップします。
10. ドロップダウン リストから **[Connect to High-Quality Audio] (高品質オーディオ デバイスに接続)** を選択します。
11. **[Next] (次へ)** をタップします。
12. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
13. リモート デバイスの PIN コードを入力して **[OK]** をタップします。 **[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション)** ウィンドウが表示されます。
14. **[Next] (次へ)** をタップします。
15. **[Connect] (接続)** をタップします。MC55 が高品質オーディオ ヘッドセットに接続されます。

ハンズフリー サービスを使用できるステレオ ヘッドセットの場合は、A2DP サービスに接続後、ハンズフリー サービスに接続します。

1. **[Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続)** をタップします。
2. ドロップダウン リストから **[Connect to Headset] (ヘッドセットを接続)** を選択します。
3. **[Next] (次へ)** をタップします。
4. ステレオ ヘッドセットを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
5. **[Hands-Free unit] (ハンズフリー装置)** サービスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。
7. **[Connect] (接続)** をタップします。

HID デバイスの接続

MC55 は、Bluetooth キーボードなどのヒューマン インタフェース デバイス (HID) を接続できます。

1. MC55 が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。5-25 ページの「**[Device Info] (デバイス情報) タブ**」を参照してください。
2. リモート Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。手順はデバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
3. MC55 で、**HID Client (HID クライアント)** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-36 ページの「**[Profiles] (プロファイル) タブ**」を参照してください。
4. **[Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続)** をタップします。
5. ドロップダウン リストから **[Explore Services on Remote Device] (リモート デバイス上のサービスを検索)** を選択します。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。
7. デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
8. サービス を選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
9. **[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション)** ウィンドウが表示されます。
10. **[Next] (次へ)** をタップします。
11. **[Connect] (接続)** をタップします。MC55 が HID デバイスに接続されます。

検出したデバイスとの結合

結合とは、セキュリティ保護された方法で情報を交換するために、MC55 と他の Bluetooth デバイス間で構築される関係です。結合の構築には、2 つのデバイスに同じ PIN を入力することが含まれます。結合を構築して Bluetooth 無線をオンにすると、デバイスは結合を認識し、再度 PIN を入力することなく情報を交換することができます。

検出された Bluetooth デバイスと結合するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites] (お気に入り)** 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** 画面が表示されます。

1. **Bluetooth** アイコンをタップして、**[Show BTE Explorer] (BTE Explorer を表示)** を選択します。**[BTE Explorer]** ウィンドウが表示されます。
2. **[Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続)** をタップします。**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** が表示されます。

3. ドロップダウン リストで **[Pair with Remote Device] (リモート デバイスとペアリング)** を選択します。
4. **[Next] (次へ)** をタップします。 **[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択)** ウィンドウが表示されます。

✓ **注** 時間を節約するために、以前に検出されたデバイスが表示されます。新たにデバイスの検出を実行するには、リスト領域をタップして押し続け、ポップアップメニューから **[Discover Devices] (デバイスの検出)** を選択します。

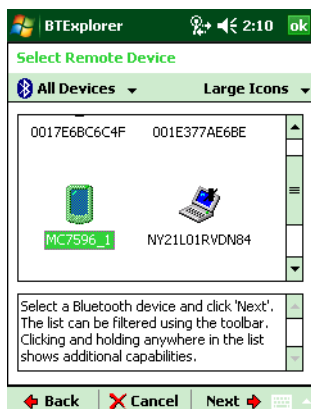


図 5-24 **[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択)** ウィンドウ

5. リストからデバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。 **[PIN Code Request] (PIN コード要求)** ウィンドウが表示されます。

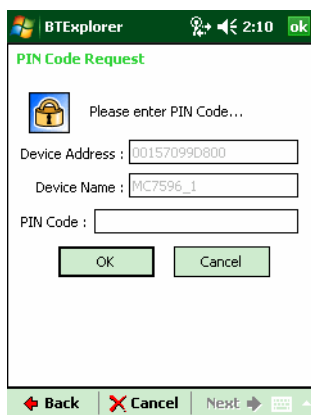


図 5-25 **[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション)** ウィンドウ

6. **[PIN Code] (PIN コード)** フィールドに PIN コードを入力します。
7. **[OK]** をタップする **[Pairing Status] (ペアリングのステータス)** ウィンドウが表示されます。

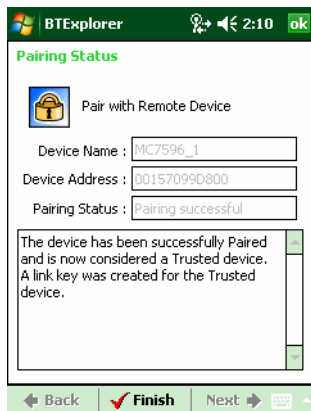


図 5-26 [Pairing Status] (ペアリングのステータス) ウィンドウ

8. **[Finish] (完了)** をタップします。デバイスが正常にペアリングされます。デバイス名が **[Trusted Devices] (信頼されたデバイス)** ウィンドウに移動します。

結合されたデバイスの削除

不要になったデバイスを削除するには、次の手順に従います。

1. **Bluetooth** アイコンをタップして、**[Show BTExplorer] (BTExplorer を表示)** を選択します。**[BTExplorer]** ウィンドウが表示されます。
2. **[Menu] (メニュー)** > **[Trusted Devices] (信頼されたデバイス)** をタップします。**[Trusted Devices] (信頼されたデバイス)** ウィンドウが表示されます。
3. デバイスをタップして押し続け、ポップアップメニューで **[Delete Link Key] (リンク キーの削除)** を選択します。
4. 確認ダイアログボックスが表示されます。**[Yes] (はい)** をタップします。

結合の了承

リモートデバイスが MC55 と結合することを求めている場合、PIN を入力して権限を与えます。

1. MC55 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。[5-25 ページの「Bluetooth の設定」](#)を参照してください。リモート デバイスと結合することが求められると、**[PIN Code Request] (PIN コード要求)** ウィンドウが表示されます。

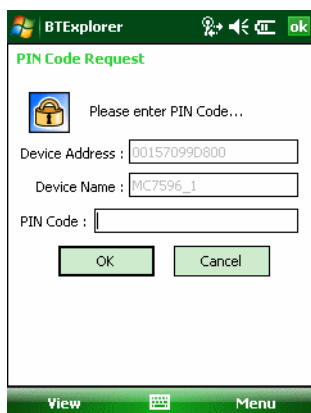


図 5-27 [PIN Code Request] (PIN コード要求) ウィンドウ

2. **[PIN Code:] (PIN コード)** テキスト ボックスに、結合を求めているデバイスと同じ PIN を入力します。PIN は、1 ~ 16 文字でなければなりません。
3. 必要に応じて、**[Device Name:] (デバイス名)** テキスト ボックスで、結合を求めているデバイスの名前を編集します。
4. **[OK]** をタップして、結合を構築します。これで MC55 は、他のデバイスと情報を交換することができます。

Bluetooth の設定

[BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) ウィンドウを使用して、**BTE Explorer** アプリケーションの動作を設定します。**[Menu] (メニュー) > [Settings] (設定)** をタップします。**[BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定)** ウィンドウが表示されます。

[Device Info] (デバイス情報) タブ

[Device Info] (デバイス情報) タブを使用して、MC55 の Bluetooth 接続モードを設定します。



図 5-28 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Device Info] (デバイス情報) タブ

表 5-3 [Device Info] (デバイス情報) タブの設定項目

項目	説明
Device Name (デバイス名)	MC55 の名前が表示されます。
Discoverable Mode (検出可能モード)	他の Bluetooth デバイスが MC55 を検出できるようにするかどうかを選択します。
Connectable Mode (接続可能モード)	他の Bluetooth デバイスが MC55 に接続できるようにするかどうかを選択します。

[Services] (サービス) タブ

- ✓ **注** リモート デバイスが MC55 サービスを使用するときに、MC55 が検出可能で接続可能になっていることを確認します。

[Services] (サービス) タブを使用して、Bluetooth サービスを追加または削除します。

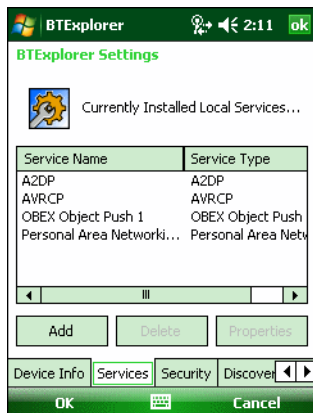


図 5-29 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Services] (サービス) タブ

サービスを追加するには、次の手順に従います。

1. **[Add] (追加)** をタップします。**[Add Local Service] (ローカル サービスの追加)** ウィンドウが表示されます。

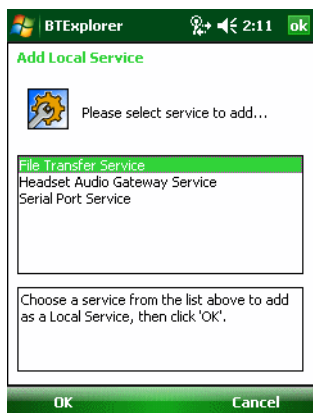


図 5-30 [Add Local Service] (ローカル サービスの追加) ウィンドウ

2. リストで、追加するサービスを選択します。
3. **[OK]** をタップする 選択したサービスの **[Edit Local Service] (ローカル サービスの編集)** ウィンドウが表示されます。
4. 適切な情報を選択して、**[OK]** をタップします。使用可能なサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス) により、他の Bluetooth デバイスがダイヤルアップ モデムにアクセスできるようになります。

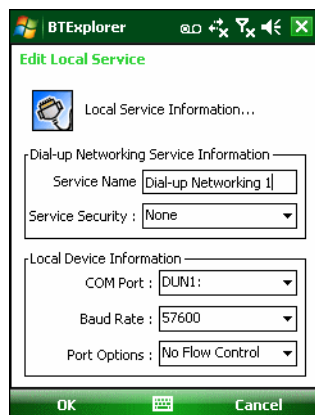


図 5-31 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Dial-up Networking Information] (ダイヤルアップ ネットワーク情報)

表 5-4 [Dial-up Networking Information] (ダイヤルアップ ネットワーク情報) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。[None] (なし)、[Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Local COM Port (ローカル COM ポート)	COM ポートを選択します。
Local Baud Rate (ローカル ボーレート)	通信ボーレートを選択します。
Local Port Options (ローカル ポートのオプション)	ポートのオプションを選択します。

File Transfer Service (ファイル転送サービス)

File Transfer Service (ファイル転送サービス) により、他の Bluetooth デバイスがファイルを参照できるようになります。



図 5-32 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [File Transfer Information] (ファイル転送情報)

表 5-5 [File Transfer Information] (ファイル転送情報) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。[None] (なし)、[Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Root Directory (ルート ディレクトリ)	他の Bluetooth デバイスがアクセスすることができるディレクトリを選択します。
File Permissions (ファイル権限)	選択したディレクトリのファイル権限を選択します。適切なボックスをオンにして、読み取りアクセス権、書き込みアクセス権、および削除アクセス権を与えます。

Hands-Free Audio Gateway Service (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス)

Hands-Free Audio Gateway Service (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス) により、ハンズフリー デバイスに接続できるようになります。

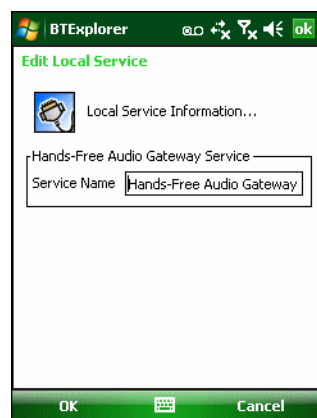


図 5-33 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Hands-Free Audio Gateway] (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス)

表 5-6 [Hands-Free Audio Gateway] (ハンズフリー音声ゲートウェイ) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス)

Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス) により、ヘッドセット デバイスに接続できるようになります。



図 5-34 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Headset Audio Gateway] (ヘッドセット音声ゲートウェイ)

表 5-7 [Headset Audio Gateway] (ヘッドセット音声ゲートウェイ) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

IrMC Synchronization Service (IrMC 同期サービス)

IrMC Synchronization Services (IrMC 同期サービス) を使用して、リモート デバイスと MC55 間で PIM 連絡先を同期します。

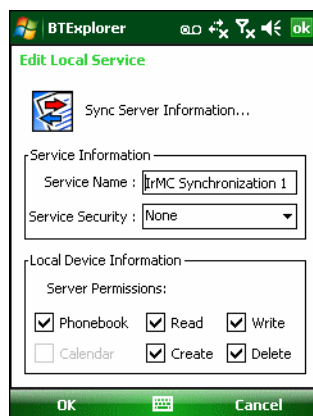


図 5-35 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [IrMC Synchronization] (IrMC 同期)

表 5-8 [IrMC Synchronization] (IrMC 同期) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし) 、 [Authenticate] (認証) 、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Phonebook (電話帳)	MC55 の連絡先と同期させるには、 [Phonebook] (電話帳) チェックボックスをオンにします。
	[Read] (読み取り) 、 [Write] (書き込み) 、 [Create] (作成) 、 [Delete] (削除) を選択して、電話帳の権限を与えます。

OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクト プッシュ サービス)

OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクト プッシュ サービス) により、他の Bluetooth デバイスが連絡先、名刺、画像、予定、およびタスクを MC55 にプッシュできるようになります。

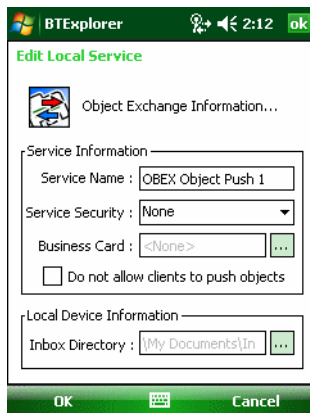


図 5-36 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [OBEX Exchange Information] (OBEX 交換の情報)

表 5-9 [OBEX Exchange Information] (OBEX 交換の情報) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし) 、 [Authenticate] (認証) 、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Do not allow clients to push objects (クライアントがオブジェクトをプッシュするのを許可しない)	クライアントがオブジェクトを MC55 にプッシュできないようにします。
Inbox Directory (受信ディレクトリ)	他の Bluetooth デバイスがファイルを保存することができるディレクトリを選択します。

Personal Area Networking Service (パーソナルエリア ネットワーク サービス)

Personal Area Networking Service (パーソナル エリア ネットワーク サービス) は、他の Bluetooth デバイスと通信することができるパーソナル エリア ネットワークをホストします。

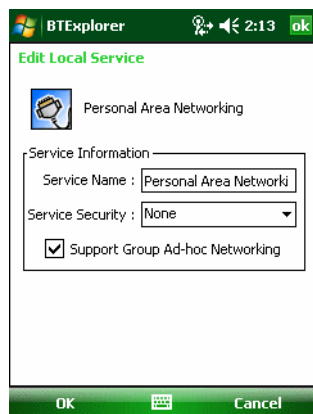


図 5-37 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Personal Area Networking] (パーソナル エリア ネットワーク)

表 5-10 [Personal Area Networking] (パーソナル エリア ネットワーク) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。[None] (なし)、[Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Support Group Ad-Hoc Networking (グループ アドホック ネットワークをサポート)	選択すると、アドホック ネットワークが有効になります。

Serial Port Service (シリアルポート サービス)

Serial Port Service (シリアルポート サービス) により、他の Bluetooth デバイスが COM ポートにアクセスできるようになります。

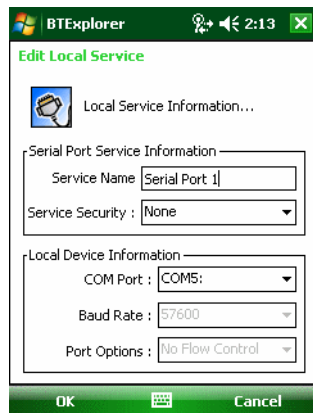


図 5-38 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Serial Port Service] (シリアルポートサービス)

表 5-11 [Serial Port Service] (シリアルポートサービス) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。[None] (なし)、[Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Local COM Port (ローカル COM ポート)	COM ポートを選択します。
Local Baud Rate (ローカル ボーレート)	通信ボーレートを選択します。
Local Port Options (ローカル ポートのオプション)	ポートのオプションを選択します。

Advanced Audio Distribution Service (高品質オーディオ配信サービス)

Advanced Audio Distribution (高品質オーディオ配信) サービスは、高品質ステレオ オーディオをサポートする Bluetooth デバイスとの接続を提供します。

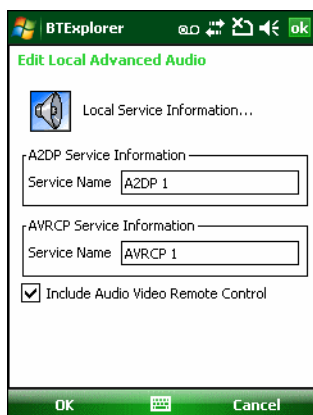


図 5-39 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Advanced Audio Distribution] (高品質オーディオ配信)

表 5-12 [Advanced Audio Distribution] (高品質オーディオ配信) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

Audio Video Remote Control Service (オーディオ ビデオ リモート コントロール サービス)

Audio Video Remote Control (オーディオ ビデオ リモート コントロール) は、オーディオ リモート コントロール機能をサポートする Bluetooth デバイスとの接続を提供します。

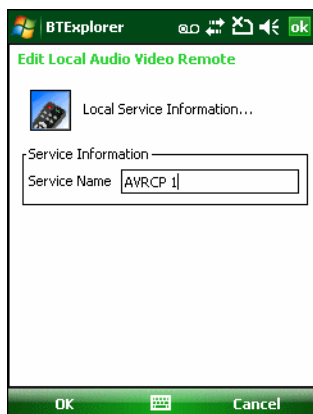


図 5-40 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Audio Video Remote Control] (オーディオ ビデオ リモート コントロール)

表 5-13 [Audio Video Remote Control Service] (オーディオ ビデオ リモート コントロール サービス) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

[Security] (セキュリティ) タブ

セキュリティ設定では、Bluetooth のグローバル セキュリティ ポリシーを設定できます。これらの設定は、Authenticate (認証) または Authenticate/Encryption (認証/暗号化) に設定したローカル サービスでのみ有効です。ローカル サービスの認証は、[Services] (サービス) タブで設定できます。

個別のサービスのセキュリティ設定を調整するには、[Services] (サービス) タブを選択し、個別のサービスを選択して、[Properties] (プロパティ) を選択します。

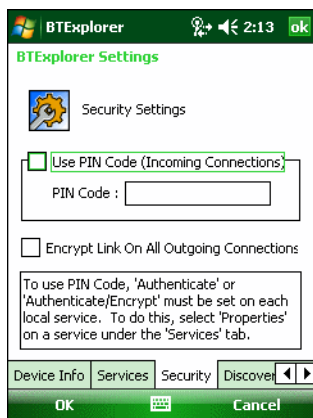


図 5-41 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Security] (セキュリティ) タブ

- ✓ **注** PIN コードを使用するには、各ローカル サービスの [Service Security] (サービスのセキュリティ) ドロップダウンリストで [Authenticate] (認証) または [Authenticate/Encryption] (認証/暗号化) を選択します。

表 5-14 [Security] (セキュリティ) タブの設定項目

項目	説明
Use PIN Code (Incoming Connection) (PIN コードを使用 (受信接続))	オンにすると、 [PIN Code] (PIN コード) テキスト ボックスに入力した PIN コードを自動的に使用します。この自動 PIN コード機能は使用しないことをお勧めします。詳細については、 5-2 ページの「セキュリティ」 を参照してください。
PIN Code (PIN コード)	PIN コードを入力します。
Encrypt Link On All Outgoing Connections (すべての送信接続でリンクを暗号化)	他の Bluetooth デバイスへの送信接続で暗号化を有効にするかまたは無効にするかを選択します。

[Discovery] (検出) タブ

[Discovery] (検出) タブを使用して、検出されたデバイスを設定または変更します。

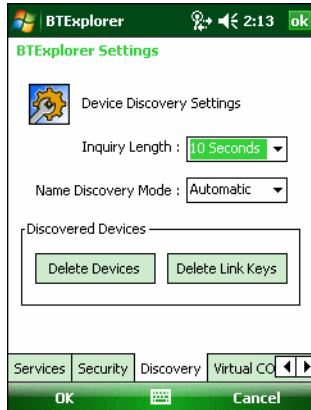


図 5-42 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Discovery] (検出) タブ

表 5-15 [Discovery] (検出) タブの設定項目

項目	説明
Inquiry Length (照会時間)	MC55 がエリア内の Bluetooth デバイスを検出する時間を設定します。
Name Discovery Mode (名前検出モード)	[Automatic] (自動) または [Manual] (手動) を選択して、Bluetooth デバイスを検出した後にデバイス名を自動的に検出するかどうかを指定します。
[Discovered Devices] (検出されたデバイス) - [Delete Devices] (デバイスの削除)	検出されたすべてのデバイスとリンク キーをメモリから削除します。
[Discovered Devices] (検出されたデバイス) - [Delete Linked Keys] (リンク キーの削除)	リモートの Bluetooth デバイスからすべてのペアリングを削除し、すべてのデバイスを信頼されていないデバイスにします。

[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ

[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) では、BTE Explorer が仮想 COM ポートに使用する COM ポートを定義します。仮想 COM ポートとして使用するポートのチェックボックスをオンにします。設定が完了したら、**[Apply] (適用)** を選択して変更を適用するか、**[Revert] (元に戻す)** を選択して元の設定に戻します。

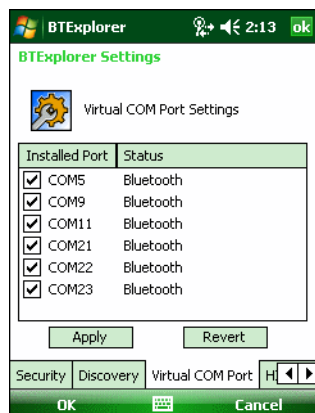


図 5-43 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ

表 5-16 [Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブの設定項目

項目	説明
COM5:Bluetooth	COM ポート 5 の有効/無効を切り替えます。
COM9:Bluetooth	COM ポート 9 の有効/無効を切り替えます。
COM11:Bluetooth	COM ポート 11 の有効/無効を切り替えます。
COM21:Bluetooth	COM ポート 21 の有効/無効を切り替えます。
COM22:Bluetooth	COM ポート 22 の有効/無効を切り替えます。
COM23:Bluetooth	COM ポート 23 の有効/無効を切り替えます。

[HID] タブ

[HID] タブを使用して、ヒューマン インタフェース デバイスを設定します。Human Interface Device Profile (ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル) プログラミング インタフェースは、HID の機能を実装するためのプロトコルとプロシージャを定義します。

マウス、ジョイスティック、キーボードなどのデバイスのサポートを提供します。

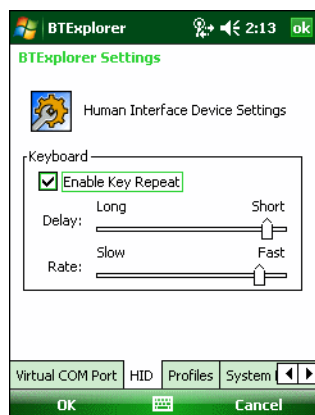


図 5-44 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [HID] タブ

表 5-17 [HID] タブの設定項目

項目	説明
Enable Key Repeat (キー リピートを有効にする)	キー リピートが有効になります。
Delay (待ち時間)	キー リピートの待ち時間を長くするには、[Delay] (待ち時間) スライダーを左にドラッグします。キー リピートの待ち時間を短くするには、[Delay] (待ち時間) スライダーを右にドラッグします。
Rate (速度)	キー リピート速度を速くするには、[Rate] (速度) スライダーを右にドラッグします。キー リピート速度を遅くするには、[Rate] (速度) スライダーを左にドラッグします。

[Profiles] (プロファイル) タブ

[Profiles] (プロファイル) タブを使用して、Bluetooth サービス プロファイルの読み込みまたは削除を行います。使用していないプロファイルを削除して、メモリを節約することができます。

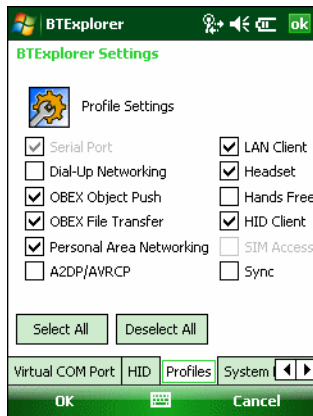


図 5-45 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Profiles] (プロファイル) タブ

1. プロファイルを読み込む (有効にする) には、プロファイルの横にあるチェックボックスをタップします。
[Serial Port] (シリアルポート) プロファイルは、常に有効になっていて、削除することはできません。
2. すべてのプロファイルを選択する場合は [Select All] (すべて選択) をタップし、すべてのプロファイルを選択解除する場合は [Deselect All] (すべて選択解除) をタップします。
3. [Apply] (適用) をタップしてプロファイルを有効にして、[Close] (閉じる) をタップしてアプリケーションを終了します。

[System Parameters] (システムパラメータ) タブ

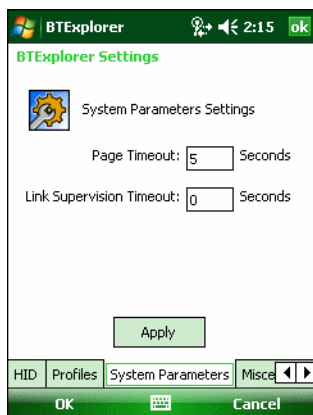


図 5-46 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [System Parameters] (システムパラメータ) タブ

表 5-18 [System Parameters] (システムパラメータ) タブの設定項目

項目	説明
Page Timeout (ページタイムアウト)	MC55 がデバイスを検索する時間を設定します。この時間が経過すると、次のデバイスが検索されます。
Link Supervision Timeout (リンク監視タイムアウト)	デバイスが通信圏外になってから通信圏内に戻るまで MC55 が待機する時間を設定します。設定時間内にデバイスが通信圏内に戻ってこない場合、MC55 は接続を切断します。

[Miscellaneous] (その他) タブ

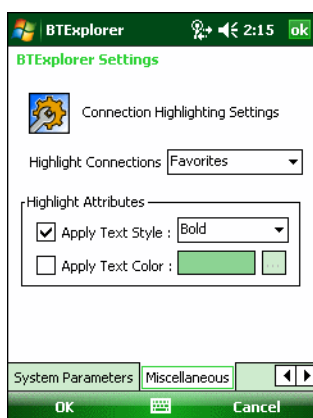


図 5-47 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Miscellaneous] (その他) タブ

表 5-19 [Miscellaneous] (その他) タブの設定項目

項目	説明
Highlight Connections (接続を強調表示)	接続されたときに強調表示する接続の種類を選択します。Wizard Mode (ウィザードモード) の場合は、[Favorites] (お気に入り) と [None] (なし) を選択できます。Explorer Mode (エクスプローラモード) の場合は、[None] (なし)、[Tree View Only] (ツリービューのみ)、[List View Only] (リストビューのみ)、[Tree and List View] (ツリービューとリストビュー) を選択できます。
Apply Text Style (テキストのスタイルを適用する)	接続テキストに適用するテキストのスタイルを選択します。
Apply Text Color (テキストの色を適用する)	接続テキストに適用するテキストの色を選択します。

Microsoft Bluetooth スタックの使用方法

以降のセクションでは、Microsoft Bluetooth スタックの使い方について説明します。

Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え

- ✓ **注** Windows Mobile 6.5.3 デバイスでは、**Wireless Manager (無線マネージャ)** を使用して、Bluetooth 無線のオンとオフを切り替えます。ステータス バーをタップして、**Connectivity (接続)** アイコンを選択します。**[Wireless Manager] (無線マネージャ)** をタップします。

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC55 を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

- ✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順を行います。

1. **[Wireless Manager]** をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[Start] (スタート) > [Setting] (設定) > [Connections] (接続) > Bluetooth アイコン > [Mode] (モード)** タブをタップします。

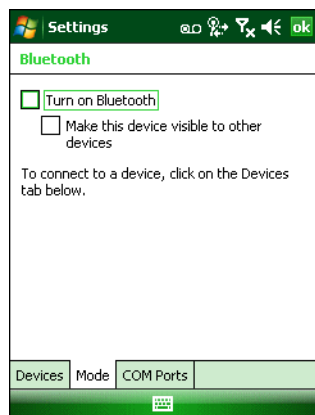


図 5-48 [Bluetooth] の [Mode] (モード) タブ

2. [Turn On Bluetooth] (Bluetooth を有効にする) チェック ボックスをオンにします。
3. [OK] をタップする

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、次の手順を行います。

1. [Wireless Manager] をタップしてから、[Bluetooth] バーをタップするか、または [Start] (スタート) > [Setting] (設定) > [Connections] (接続) > Bluetooth アイコン > [Mode] (モード) タブをタップします。
2. [Turn On Bluetooth] (Bluetooth を有効にする) チェック ボックスをオフにします。
3. [OK] をタップする

Bluetooth デバイスを検出する

MC55 は、検出されたデバイスと結合されていない場合でも、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合すると、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC55 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[5-22 ページの「検出したデバイスとの結合」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. [Start] (スタート) > [Setting] (設定) > [Connections] (接続) タブ > Bluetooth アイコン > [Devices] (デバイス) タブをタップします。



図 5-49 [Bluetooth] - [Devices] (デバイス) タブ

5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC55 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。

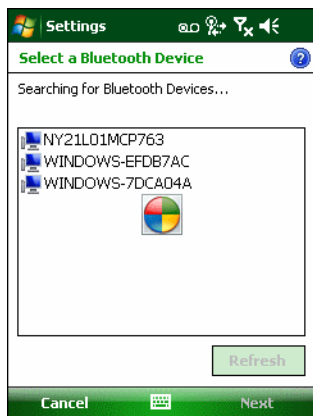


図 5-50 Bluetooth デバイスを検索中

6. リストからデバイスを選択します。

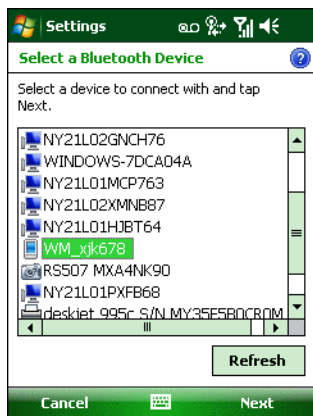


図 5-51 [Select a Bluetooth Device] (Bluetooth デバイスの選択)

7. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。

✓ **注** スマートペアリングが設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

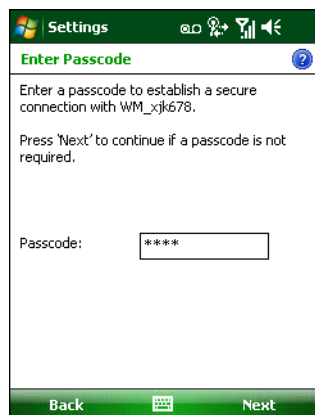


図 5-52 [Enter Passcode] (パスコードの入力)

8. 接続先デバイスのパスコードを入力します。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。

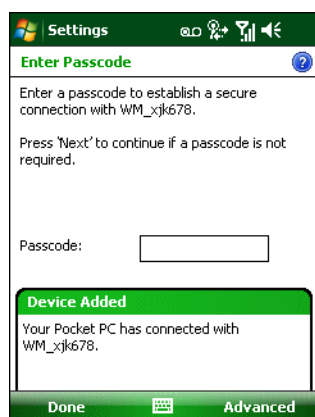


図 5-53 Bluetooth 接続の確認

パスコードの入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定のパスコードがある場合は、それを [Passcode] (パスコード) フィールドに入力して [Next] (次へ) をタップします。デバイスに特定のパスコードがない場合は、任意のパスコードを [Passcode] (パスコード) フィールドに入力して [Next] (次へ) をタップします。Bluetooth 無線がそのデバイスとの接続を試行します。

9. パスコードを作成した場合は、接続先デバイスに、同じパスコードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。作成したパスコードを入力すると、ペアリング接続が確立されます (特定のパスコードを入力した場合は、接続先デバイスでの作業は必要ありません)。
10. 接続が完了すると、マッチング リストとそのデバイスでサポートされているサービスが表示されます。
11. 使用したいサービスを選択して、[Finish] (完了) をタップします。新しいデバイス上のサービスを選択する必要があります。そうしないと、デバイスのペアリングが確立されても、ペアリングにサービスが含まれません。サービスを選択しないと、パスコードを求めるメッセージが何度も表示されます。
12. デバイスがメイン ウィンドウ上のリストに表示されます。

パスコードが両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

使用可能なサービス

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

Microsoft Bluetooth スタックが搭載された MC55 は、次のサービスを提供します。

- OBEX Object Push Services via Beam (ビームによる OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
- Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
- Serial Port (シリアル ポート) サービス
- Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
- PBAP Services (PBAP サービス)

これらのサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス

- ✓ **注** ビーム機能で可能なのはリモート デバイスへのファイル送信だけです。

OBEX プッシュ サービスを使用して、別の Bluetooth デバイスにファイルや連絡先を送信できます。MC55 と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [File Explorer] (ファイル エクスプローラ)** の順にタップします。
4. 転送するファイルに移動します。
5. ファイル名をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。

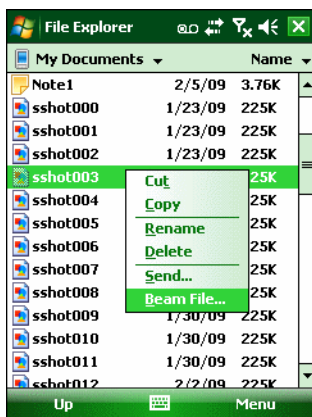


図 5-54 File Explorer (ファイル エクスプローラ) ウィンドウ

6. **[Beam File] (ファイルのビーム)** を選択します。MC55 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send] (タップして送信)** をタップします。MC55 はそのデバイスと通信しファイルを送信します。完了すると、**[Tap to send] (タップして送信)** が **[Done] (完了)** に変わります。

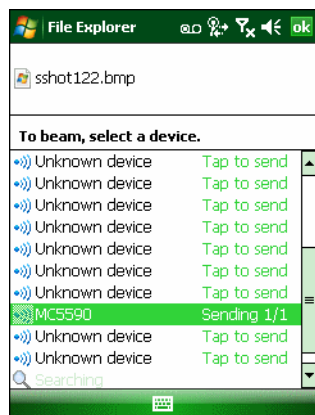


図 5-55 [Beam File] (ファイルをビームする) ウィンドウ

MC55 と他の Bluetooth 対応デバイス間で連絡先を転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先) をタップします。
4. 転送する連絡先に移動します。
5. その連絡先をタップし、ポップアップメニューが表示されるまで押したままにします。

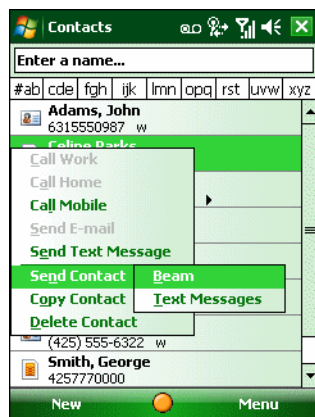


図 5-56 [Contacts] (連絡先) ウィンドウ

6. [Send Contact] (連絡先の送信) > [Beam] (ビーム) を選択します。MC55 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある [Tap to send] (タップして送信) をタップします。MC55 はそのデバイスと通信し連絡先を送信します。完了すると、[Tap to send] (タップして送信) が [Done] (完了) に変わります。

Internet Sharing (インターネット共有)

Internet Sharing (インターネット共有)では、MC55 にコンピュータまたはラップトップを接続し、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するためのモデムとして MC55 を使用できます。

Bluetooth によって、MC55 をモデムとして使用するには、次の手順に従います。

1. デバイスがコンピュータまたはラップトップに接続されていないことを確認します。
 2. MC55 で、[Phone] (電話) が有効になっていて、データ接続が設定されていることを確認します。
 3. **[Programs] (プログラム) > [Internet Sharing] (インターネット共有)** をタップします。
 4. **[PC Connection] (PC 接続)** リストで、**[Bluetooth PAN]** を選択します。
 5. **[Network Connection] (ネットワーク接続)** リストで、接続の種類を選択します。
そのデバイスがインターネット接続に使用するネットワーク接続を選択します。
 6. **[Connect] (接続)** をタップします。
 7. コンピュータまたはラップトップで、ご使用のデバイスとの Bluetooth PAN をセットアップします。
 - a. **[Start] (スタート) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Network Connections] (ネットワーク接続)** を選択します。
 - b. **[Personal Area Network] (パーソナル エリア ネットワーク)** で、**[Bluetooth Network Connection] (Bluetooth ネットワーク接続)** を選択します。
 - c. **[Bluetooth Network Connection] (Bluetooth ネットワーク接続)** を右クリックして、**[View Bluetooth network devices] (Bluetooth ネットワーク デバイスの表示)** を選択します。
 - d. **[Bluetooth Personal Area Network Devices] (Bluetooth パーソナル エリア ネットワーク デバイス)** ウィンドウで、ご使用のデバイスを選択します。
 - e. **[Connect] (接続)** をクリックします。コンピュータが Bluetooth を通じてデバイスに接続されます。
- ✓ **注** コンピュータが Bluetooth に対応していて、PC 接続として Bluetooth を選択する場合、Bluetooth PAN パートナーシップを開始し、完了しないと、インターネット共有は機能しません。詳細は、Windows のヘルプおよびサポートを参照してください。
8. 確認するには、PC またはラップトップで **Internet Explorer** を起動して Web サイトを開きます。
 9. ダイアルアップ ネットワーキングを終了するには、MC55 で **[Disconnect] (切断)** をタップします。

Hands-free (ハンズフリー) サービス

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、MC55 のスピーカーから出力されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルを使用して、通話を受けたりリダイヤルすることができます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルは、3 者通話をサポートしていません。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Connections] (接続)** タブ > **Bluetooth** アイコンをタップします。
4. **[New device] (新しいデバイス)** をタップします。MC55 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
5. ヘッドセット名を選択して、**[Next] (次へ)** をタップします [Passcode] (パスコード) ウィンドウが表示されます。
6. ヘッドセットのパスコードを入力します。
7. **[Next] (次へ)** をタップします。MC55 がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** 接続が確立されている場合、電源ボタンを押しても MC55 はサスペンド モードになりません。このことを通知するメッセージが表示されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルで WAN 通話が切断されると、電源ボタンが有効になります。



図 5-57 [WWAN Bluetooth Audio Notification] (WWAN Bluetooth 音声通知) ダイアログ ボックス

Serial Port (シリアルポート) サービス

無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定します。

シリアルポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Setting] (設定) > [Connections] (接続)** タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices] (デバイス)** タブをタップします。
4. **[Add new device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC55 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。

✓ **注** スマートペアリングが設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウは表示されません。

7. パスコードを入力して **[Next] (次へ)** をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. デバイス リストで、そのシリアル デバイスをタップします。 **[Partnership Settings] (パートナーシップの設定)** ウィンドウが表示されます。
9. **[Serial Port] (シリアル ポート)** チェック ボックスをオンにします。
10. **[Save] (保存)** をタップします。
11. **[COM Ports] (COM ポート)** タブをタップします。
12. **[New Outgoing Port] (新しい発信ポート)** をタップします。 **[add device] (デバイスの追加)** ウィンドウが表示されます。

✓ **注** デフォルトでは、 **[Secure Connection] (安全な接続)** チェックボックスがオンになり、セキュリティ レベル 3 (リンク レベル暗号化) が有効になっています。

13. リストでシリアル デバイスを選択して、 **[Next] (次へ)** をタップします。
14. ドロップダウン リストから COM ポートを選択します。
15. **[Finish] (完了)** をタップします。

✓ **注** この時点では接続は確立されていません。 Microsoft Bluetooth スタックが接続を開始するには、選択した COM ポートをアプリケーションで開く必要があります。

シリアルポートサービスを使用した ActiveSync

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定する必要があります。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定するには、次の手順に従います。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定する前に、デバイスに Bluetooth 機能を設定してください。

✓ **注** セキュリティを確保するには、コンピュータに接続してインターネットまたはネットワークへのパススルーを行う前に、コンピュータのネットワークブリッジングを無効にします (特にリモート NDIS アダプタへのブリッジング)。ネットワークブリッジングについての詳細は、ご使用のコンピュータの **Windows ヘルプ** を参照してください。

以下の手順は、Windows XP SP2 以降のバージョンのオペレーティングシステムをサポートするコンピュータに適用されます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. コンピュータで、 **[Start] (スタート)** > **[Settings] (設定)** > **[Control Panel] (コントロールパネル)** をクリックします。
4. **[Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス)** をダブルクリックします。
5. **[Options] (オプション)** タブで、 **[Turn discovery on] (発見機能を有効にする)** と **[Allow Bluetooth devices to connect to this computer] (Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する)** のチェック ボックスをオンにします。

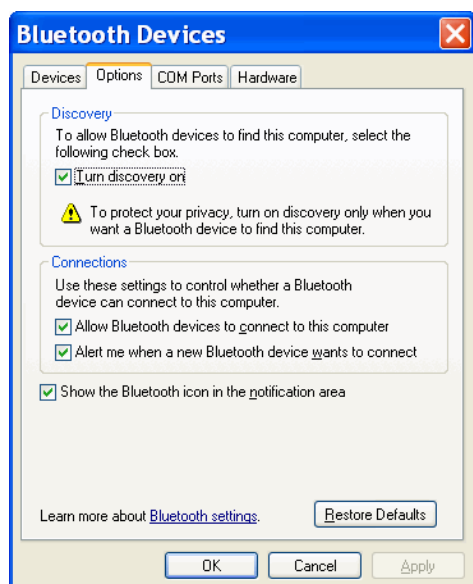


図 5-58 コンピュータの [Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス) ウィンドウ

6. [COM Ports] (COM ポート) タブで、[Add] (追加) をクリックします。
7. [着信] (デバイスが接続を開始する) オプションを選択して、[OK] をクリックします。
追加された COM ポートの番号を書き留めます。
8. [OK] をクリックします。
9. [Start] (スタート) > [All Programs] (すべてのプログラム) > [Microsoft ActiveSync] をクリックします。
10. [File] (ファイル) > [Connection Settings] (接続の設定) をクリックします。



図 5-59 ActiveSync の [Connection Settings] (接続の設定)

11. **[Allow connections to one of the following]** (以下のいずれかの接続を有効にする) ドロップダウン リストで、先ほど書き留めた番号の COM ポートを選択します。
12. MC55 で、**[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[ActiveSync]** をタップします。
13. **[Menu]** (メニュー) > **[Connect via Bluetooth]** (Bluetooth から接続) をタップします。
自動的に同期が開始されます。**[Today]** (画面) の右下に **ActiveSync** アイコンが表示されます。
認証が必要な場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) 画面が表示されるので、英数字のパスキー (PIN コード) を入力して、**[Next]** (次へ) をタップします。もう一方のデバイスと同じパスキーを入力してください。
セキュリティを強化するため、パスキーの使用を推奨します。パスキーは 1 ~ 16 文字の英数字で指定してください。
パスキーを使用しない場合は、**[Next]** (次へ) をタップします。
14. ActiveSync 接続を切断するには、**[Today]** (今日) 画面の **ActiveSync** アイコンをタップします。
15. **[Disconnect]** (切断) をタップします。

Phone Book Access Profile サービス

Phone Book Access プロファイル (PBAP) を使用すると、リモート デバイスと MC55 の間で連絡先を同期させることができます。PBAP 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connection]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。
4. **[Add New Device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC55 は Car Kit (自動車用キット) などの Bluetooth デバイスを検索します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。
 ✓ **注** スマート ペアリングが設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。
7. パスコードを入力して **[Next]** (次へ) をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. その自動車用キットに連絡先を転送するかどうかを問うダイアログ ボックスが表示されます。
9. **[Yes]** (はい) または **[No]** (いいえ) を選択します。
10. **[Yes]** (はい) を選択した場合、MC55 の連絡先がそのカーキットに転送されます。

第6章 アクセサリ

はじめに

次に挙げる MC55 アクセサリには、さまざまな製品サポート機能があります。

- 4 スロット充電専用クレードル - 最大 4 台の MC55 デバイスを充電します。
- 4 スロット イーサネット クレードル - MC55 のメイン バッテリーを充電し、MC55 をイーサネット ネットワークに接続します。
- シングルスロット USB/シリアル クレードル - MC55 のメイン バッテリーと予備バッテリーを充電します。USB 接続を介して、MC55 とホスト コンピュータを同期します。
- シングルスロット Ethernet/Modem/USB/ クレードル - MC55 のメイン バッテリーと予備バッテリーを充電します。イーサネット、モデム、または USB 接続を介して MC55 をホスト コンピュータと同期します。
- 車載用クレードル - 車に MC55 を安全に設置し、充電できます。
- 車載用ホルダー - MC55 を車載するもう 1 つのアクセサリです。MC55 のバッテリーを充電するには、車用充電ケーブルが必要です。
- 4 スロット バッテリー充電器 - 標準バッテリーと大容量バッテリーを充電します。
- 車用充電ケーブル - 車両のシガーソケットに挿し込み、走行中に MC55 を充電します。
- USB 充電ケーブル - MC55 に電源を供給し、ホストコンピュータとの USB 通信を行うことができます。
- 充電専用ケーブル - MC55 に電力を供給します。
- ベルト装着ホルスタ(ハード タイプ) - 使用していないときに MC55 を収納します。
- ベルト装着ホルスタ(ソフト タイプ) - 使用していないときに MC55 を収納します。
- トリガ ハンドル - MC55 にスキャン トリガを備えたガン タイプのハンドルが追加されます。
- 磁気ストライプ リーダー - MC55 に装着して、磁気ストライプを読み取ることができます。
- DEX ケーブル - MC55 を自動販売機に接続します。

シングル スロット USB クレードル

ここでは、シングル スロット USB クレードルの使用方法について説明します。USB 通信のセットアップ手順については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

シングル スロット USB クレードルには、次のような機能があります。

- MC55 の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- MC55 とホスト コンピュータの間で情報を同期する。MC55 とホスト コンピュータのパートナーシップのセットアップについては、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。
- MC55 のバッテリーの充電
- 予備バッテリーを充電する。

MC55 のバッテリーの充電

クレードルを電源に接続します。スロットに MC55 を挿入すると充電が開始します。

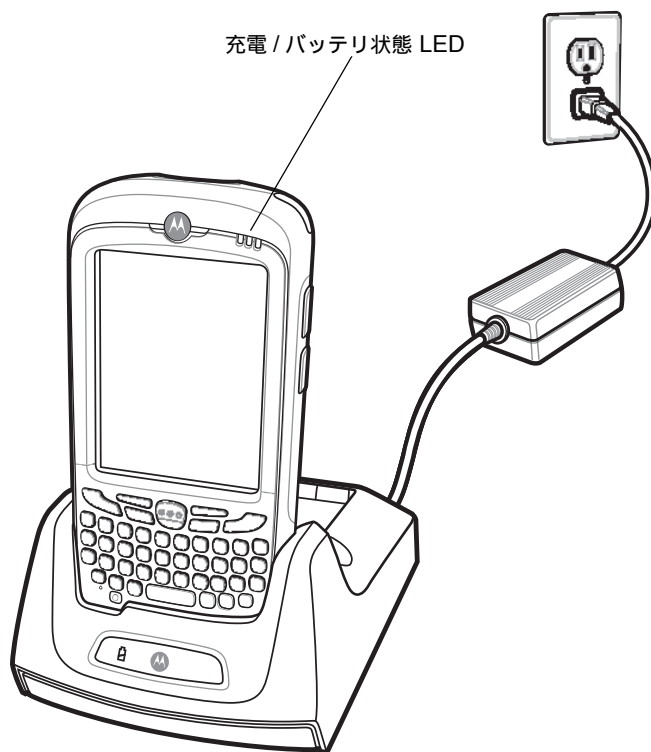


図 6-1 MC55 のバッテリーの充電

予備バッテリーの充電

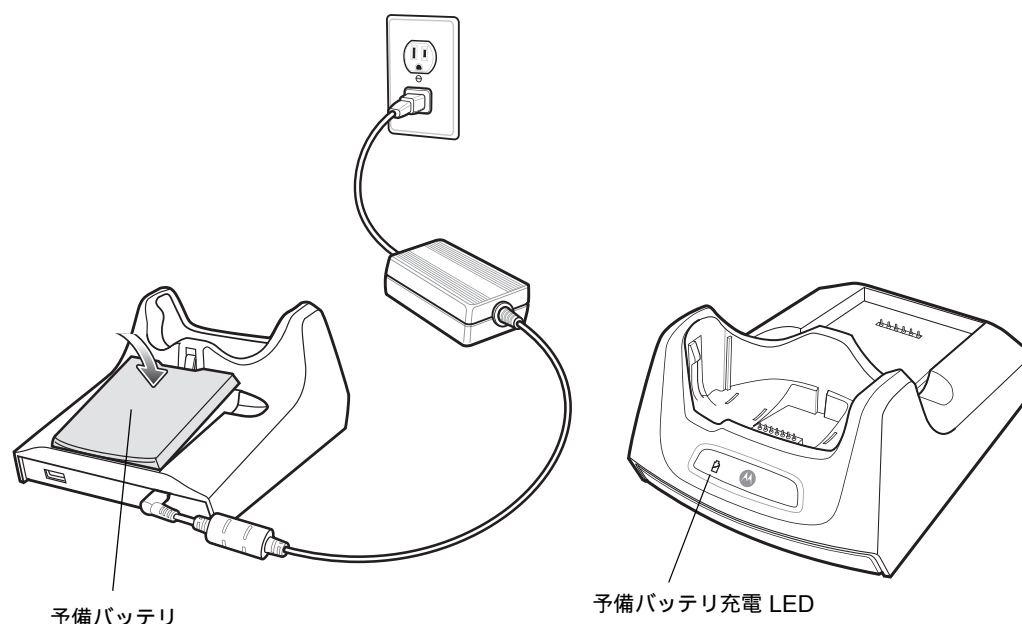


図 6-2 予備バッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

シングル スロット USB/Serial クレードルでは、MC55 のメイン バッテリと予備バッテリーを同時に充電できます。

MC55 の充電 LED は、MC55 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

クレードルの予備バッテリー充電 LED は、クレードルでの予備バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 6-1](#)を参照してください。

注: 2400 mAh バッテリの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリの場合は 6 時間以内で充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC55 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC55 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。詳細については[1-8 ページの表 1-2](#)と[表 6-1](#)を参照してください。

表 6-1 予備バッテリー LED の充電インジケータ

予備バッテリー LED (クレードル上)	意味
オフ	バッテリーが充電されていないか、バッテリーがクレードルに正しく挿入されていないか、クレードルに電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーを充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅	充電エラーです。

シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル

CRD5500-1000XR クレードルでは、USB を使用してホスト コンピュータに接続するか、モデムを使用してダイヤルアップ ネットワークに接続するか、イーサネット ネットワークに接続できます。

クレードルの設定については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

国別の設定

モデムは米国の電話ネットワークで動作するようにデフォルト設定されています。モデムを他の国の電話ネットワークで動作させるには、MC55 にあるアプリケーションを使用して設定する必要があります。Motorola の Support Central Web サイト (<http://www.motorola.com/enterprisemobility/support>) から、**Cradle Modem Country Configurator Application Software for MC55xx** パッケージをダウンロードします。

ソフトウェア パッケージの指示に従って、アプリケーションを MC55 にインストールします。

このアプリケーションは、サポートされているすべての国について国名の選択ができます。選択した国の電話ネットワークに準拠するように、自動的にモデムがプログラムされ、動作パラメータが調整されます。

接続のセットアップ

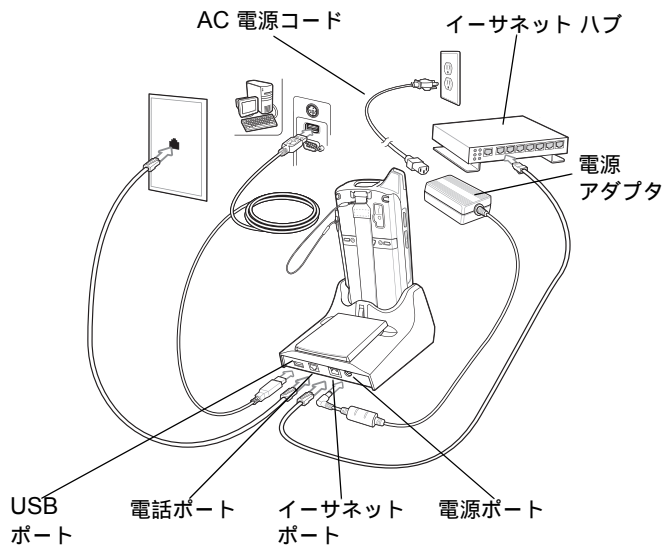


図 6-3 接続のセットアップ

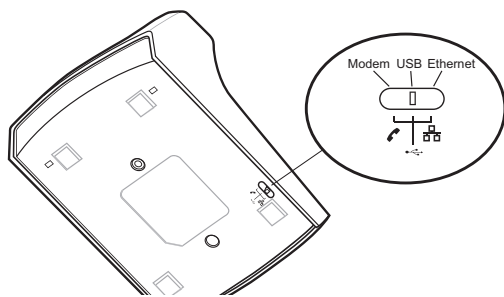


図 6-4 接続スイッチ

インジケータ

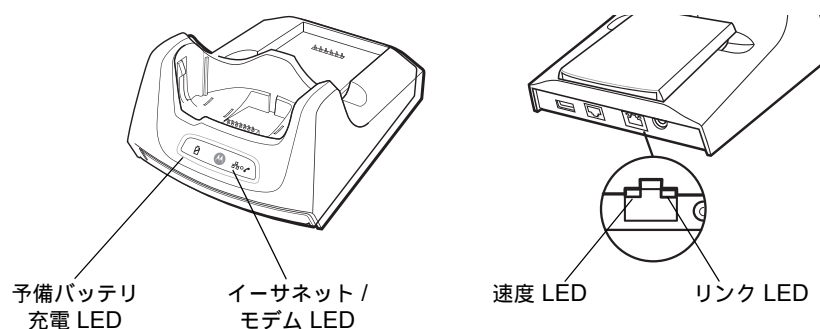


図 6-5 インジケータ

- **予備バッテリー充電 LED** - 予備バッテリーの充電状態を示します。
- **イーサネット / モデム LED** - イーサネットまたはモデムの接続が確立されると点滅します。
- **速度 LED (緑色)** - 転送速度が 100 Mbps であることを示します。点灯していない場合は、転送速度が 10Mbps であることを示します。
- **リンク LED (黄色)** - リンク確立中は点滅し、リンクが確立されると点灯します。消灯している場合は、リンクがないことを示します。

動作

- ✓ **注** CRD5500-1000XR では、動作モード間のホット スワップはできません。スイッチを切り替えた後、クレードルから MC55 をいったん取り外し、差し込み直します。

イーサネット接続

クレードルの底部にある接続スイッチをイーサネットの位置にします。

MC55 をクレードルに差し込みます。

接続をテストするには、**[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [Internet Explorer]** をタップします。Web アドレスを入力します。

モデム接続

クレードルの底部にある接続スイッチをモデムの位置にします。

MC55 をクレードルに差し込みます。

MC55 により電話番号がダイヤルされて、Web サイトに接続します。

4 スロット充電専用クレードル

ここでは、MC55 で 4 スロット充電専用クレードルをセットアップし、使用方法について説明します。

4 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- MC55 の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- 最大 4 台の MC55 デバイスを同時に充電する。

充電

スロットに MC55 を挿入すると充電が開始します。

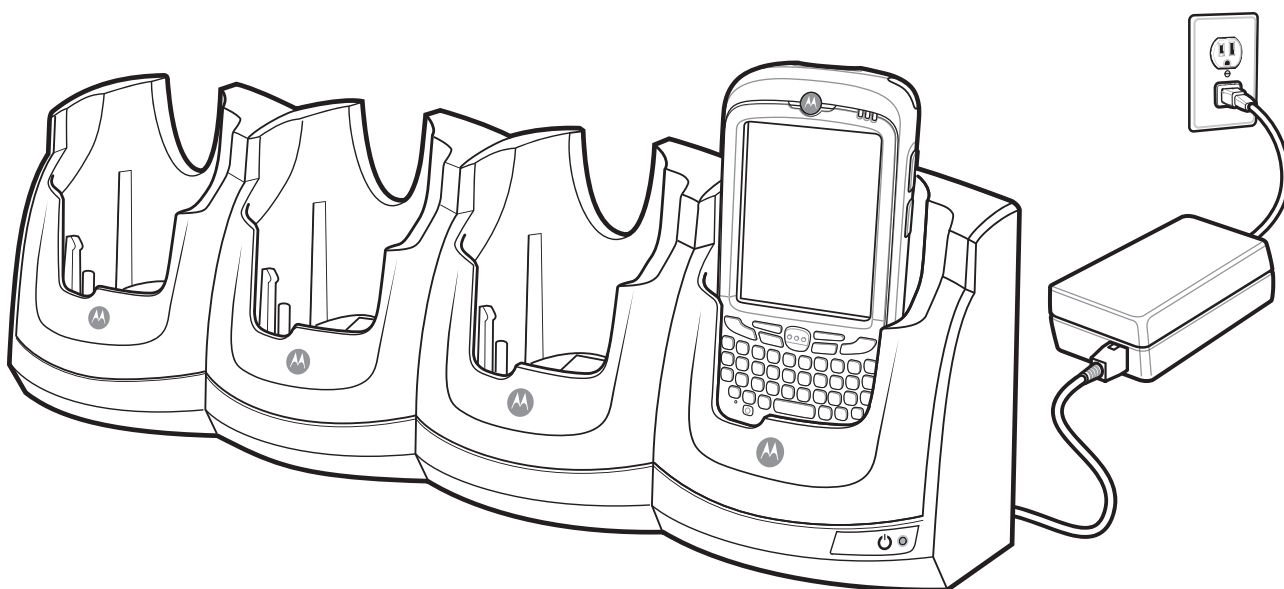


図 6-6 MC55 のバッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

MC55 の充電 LED は、MC55 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

注: 2400 mAh バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC55 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC55 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

4 スロット イーサネット クレードル

ここでは、MC55 で 4 スロット イーサネット クレードルをセットアップし、使用方法について説明します。クレードル通信のセットアップ手順については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

4 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- MC55 の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- 最大 4 台の MC55 をイーサネット ネットワークに接続する。
- 最大 4 台の MC55 デバイスを同時に充電する。

充電

スロットに MC55 を挿入すると充電が開始します。

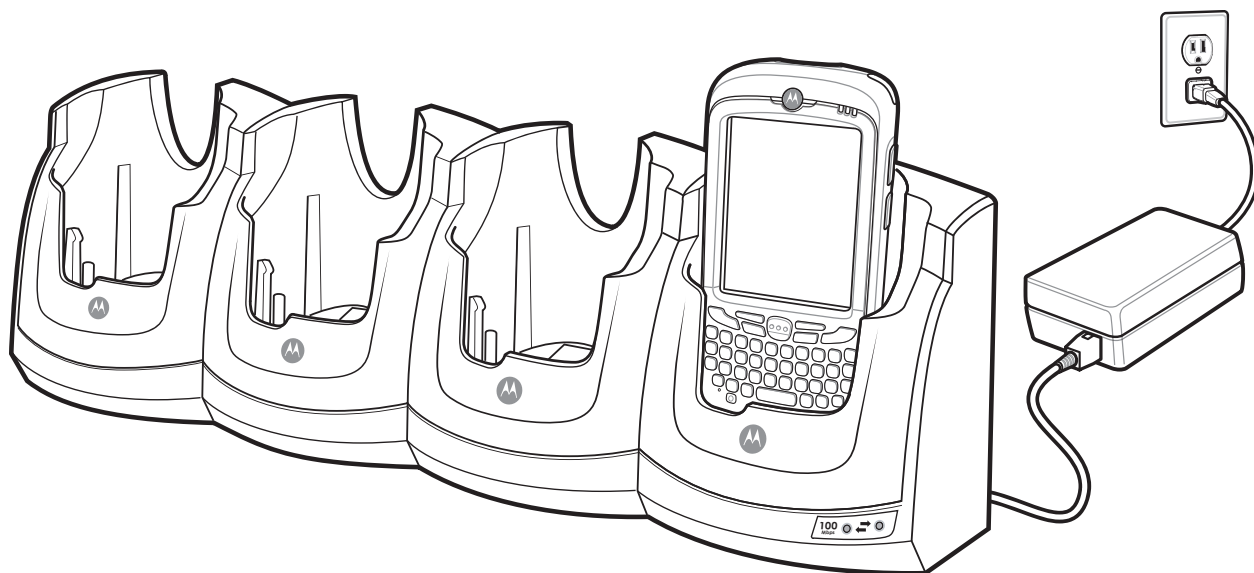


図 6-7 MC55 のバッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

MC55 の充電 LED は、MC55 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

注: 2400 mAh バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

MC55 は、温度制御を実現するため、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、LED にエラーが示されます。[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

VCD5000 車載用クレードル

ここでは、VCD5000 車載用クレードルの使用方法について説明します。クレードルの取り付けと通信のセットアップ手順については、『MC55 Integrator Guide』を参照してください。

車両に設置すると、クレードルは次のような動作を行います。

- MC55 の固定
- MC55 の動作に必要な電力の供給
- MC55 のバッテリーの充電

MC55 のバッテリーの充電

車載用クレードルに MC55 を挿入すると充電が開始します。MC55 を正しく挿入すると、カチッという音がして、所定の位置にロックされます。

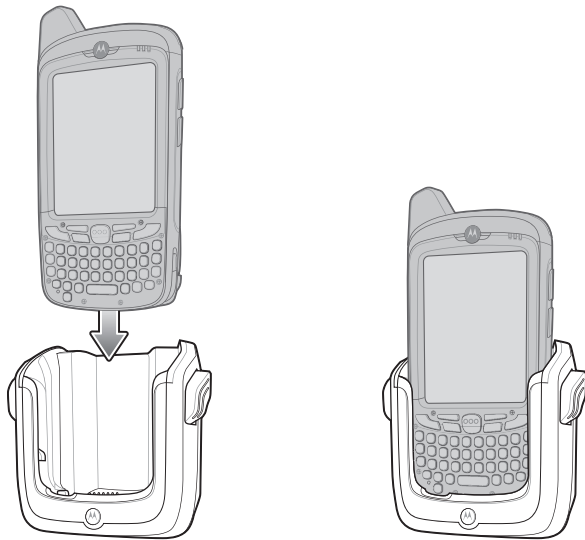


図 6-8 MC55 のバッテリーの充電



注意

MC55 がクレードルに正しく固定されていることを確認してください。適切に固定されていない場合、物的損傷または身体的損傷の原因になります。Motorola は、運転中に製品を使用したことが原因で発生したいかなる損害に対しても、その責任を負わないものとします。

MC55 の取り外し

MC55 を取り外すには、クレードルのリリース レバーを後ろに押して、MC55 を上に持ち上げてクレードルから取り外します。

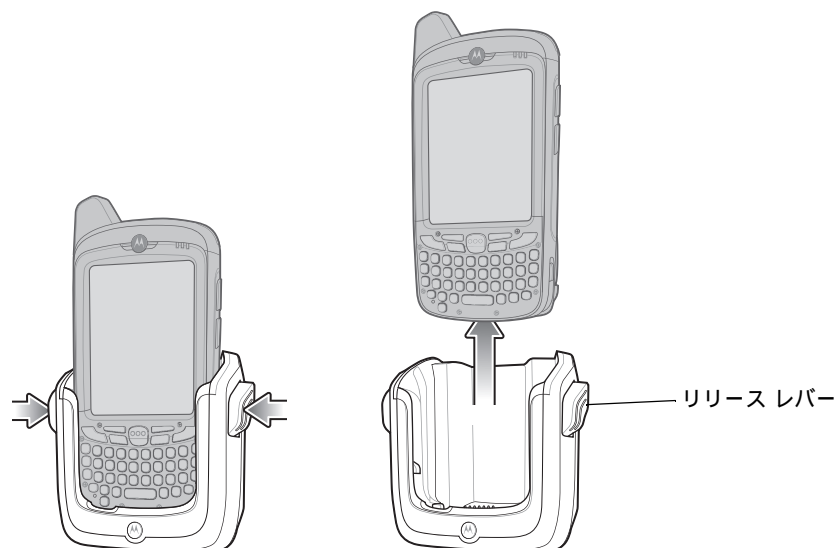


図 6-9 MC55 の取り外し

バッテリー充電インジケータ

MC55 の充電 LED は、MC55 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

注：2400 mAh バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

MC55 は、温度制御を実現するため、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、LED にエラーが示されます。[1-8 ページの表 1-2](#)を参照してください。

4 スロット バッテリー充電器

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して 4 つの MC55 バッテリーを充電する方法について説明します。

バッテリーの充電

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

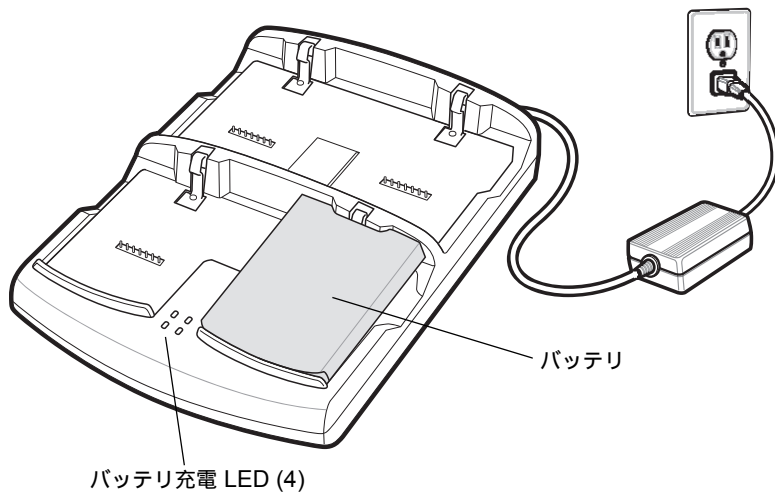


図 6-10 4 スロット予備バッテリー充電器

バッテリー充電インジケータ

充電器には、それぞれのバッテリー受けに黄色の LED がついています。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 6-2](#)を参照してください。注:2400 mAh バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。[表 6-2](#)を参照してください。

表 6-2 バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
オフ	バッテリーがスロットに入っていないか、バッテリーが充電されていないか、バッテリーが充電器に正しく差し込まれていないか、充電器に電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅	バッテリーを充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅	充電エラーです。

ケーブル

ここでは、ケーブルのセットアップおよび使用方法について説明します。さまざまな接続機能がついたケーブルを使用できます。使用可能な通信 / 充電ケーブルは次のとおりです。

- USB 充電ケーブル
 - Motorola が認めた電源から、MC55 に動作電力と充電用の電力を供給する。
 - MC55 とホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、MC55 と会社のデータベースを同期することも可能です。
- 充電専用ケーブル
 - Motorola が認めた電源から、MC55 に動作電力と充電用の電力を供給する。
- 車用充電ケーブル
 - Motorola が認めた電源から、MC55 に動作電力と充電用の電力を供給する。

バッテリー充電と動作電力

通信 / 充電ケーブルでは、MC55 のバッテリーの充電と、動作電力の供給を行うことができます。

MC55 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 通信 / 充電ケーブルの電源入力コネクタを、Motorola によって認定された電源に接続します。
2. MC55 の下部を通信 / 充電ケーブルのコネクタ側に差し込み、カチッと音がしてはまるまでゆっくり押し込みます。
3. 2 つのロックング タブが両方ともロックされるまで、タブを上へスライドさせます。

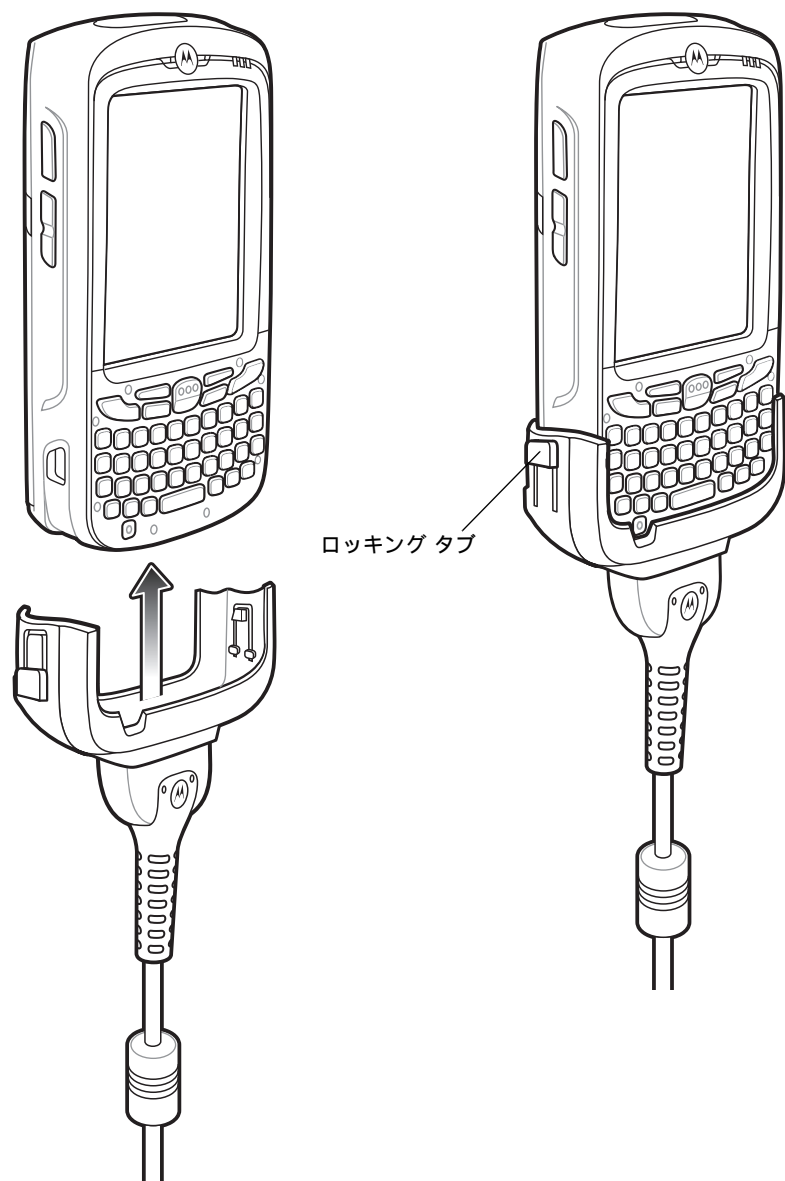


図 6-11 ケーブル カップのロッキング タブ

MC55 の黄色い充電 LED が、MC55 のバッテリーの充電状態を示します。注:2400 mAh 標準バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh 標準バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表1-2](#)を参照してください。

4. 充電が完了したら、2 つのロッキング タブを押し下げて、ケーブルを MC55 から外します。

充電の状態を表す LED 表示

MC55 の黄色い充電 LED が、バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-8 ページの表1-2](#)を参照してください。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC55 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC55 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC55 やアクセサリの LED にエラーが表示されません。1-8 ページの表1-2 を参照してください。

車載用ホルダー



警告！ 車両のダッシュボードへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載キットを取り付ける前に、各地域の法規則で、取り付け可能な場所を確認してください。

取り付けに関する注意事項

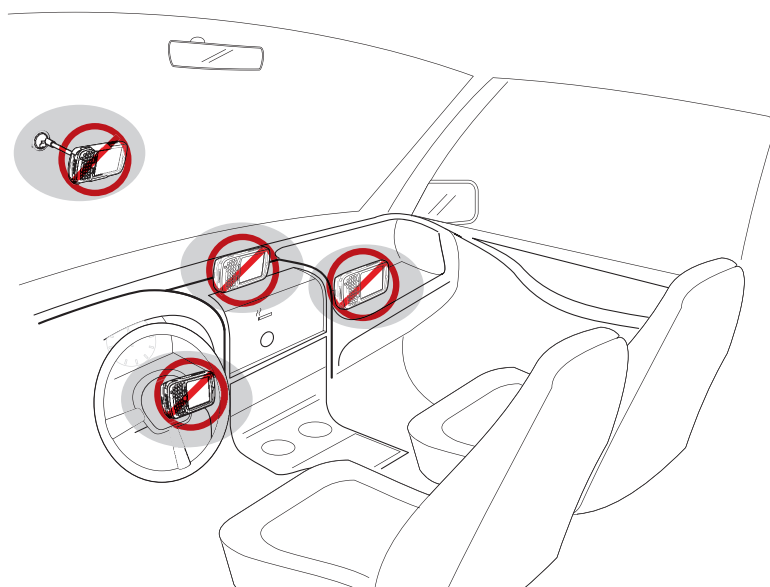


図 6-12 車載用ホルダーの取り付け

- 道路へのドライバーの視界をさえぎるような位置には車載用ホルダーを取り付けないでください。
- 運転席のエアバッグの設置領域付近には車載用ホルダーを取り付けないでください。
- MC55 を、ダッシュボードの上など、車載用ホルダーで固定できない場所に置かないでください。
- 助手席のエアバッグの設置領域付近には車載用ホルダーを取り付けないでください。
- 車載用ホルダーは、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。

デバイスの取り付けに関する注意事項

- 車両のダッシュボードへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載用ホルダーを取り付ける前に、各地域の法規則で、取り付け可能な場所を確認してください。
- 車内の冷暖房によって吸着カップの吸着力がゆるくなる場合があります。装置を使用するたびに、車載キットの真空シールに十分な吸着力があるかどうか確認し、必要は場合は、取り付けし直してください。
- 車載用ホルダーの固定に問題がある場合は、プラスチックの吸着カップをアルコールで清掃してから、再度取り付けしてください。

機器の設置

車載用器具は、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。ガラス クリーナーときれいな木綿布で取り付け面を清掃します。フロントガラスなど、車内の平らな面に、付属品の取り付け用ディスクを使用して車載用器具を取り付けます。

アセンブリ

1. 車載ホルダーのクレードル プレートをクレードルの背面の穴に差し込みます。
2. プレートとクレードルがしっかりかみ合うまでクレードルを押し下げます。

フロントガラスへの取り付け

1. 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、取り付け領域に固定します。

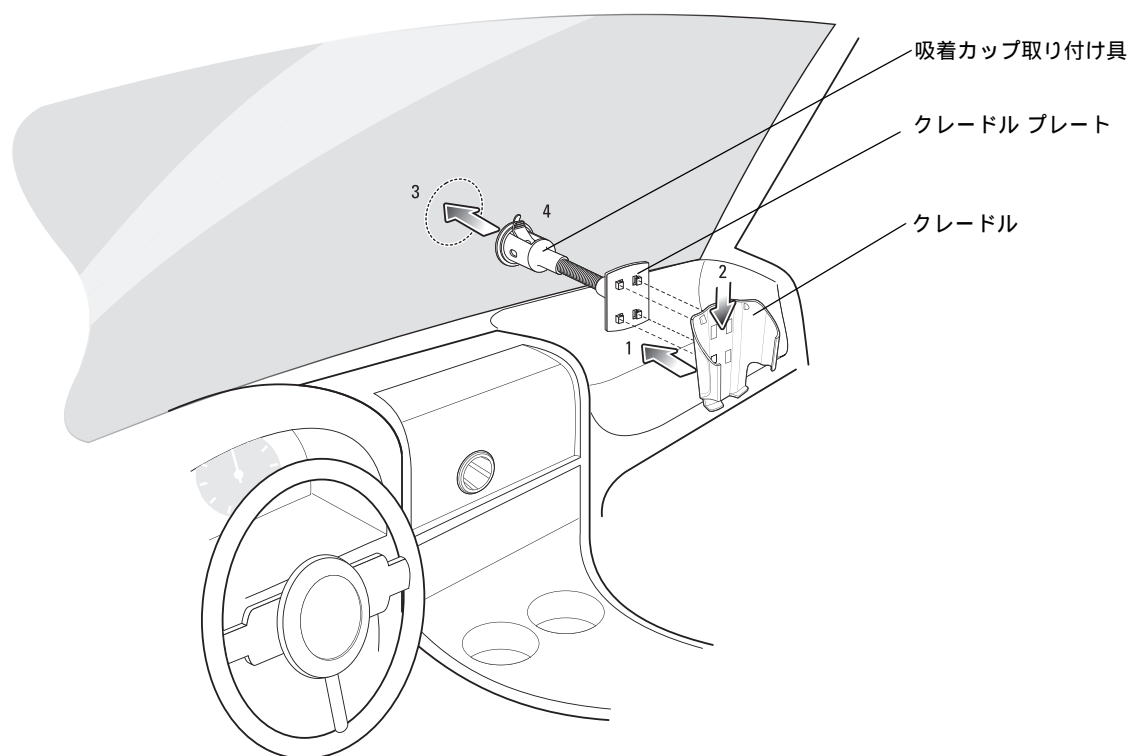


図 6-13 フロントガラスへの取り付け

2. レバーを下に動かし、吸着カップと取り付け面の間を真空にします。
3. 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。
4. MC55 をクレードルに差し込みます。

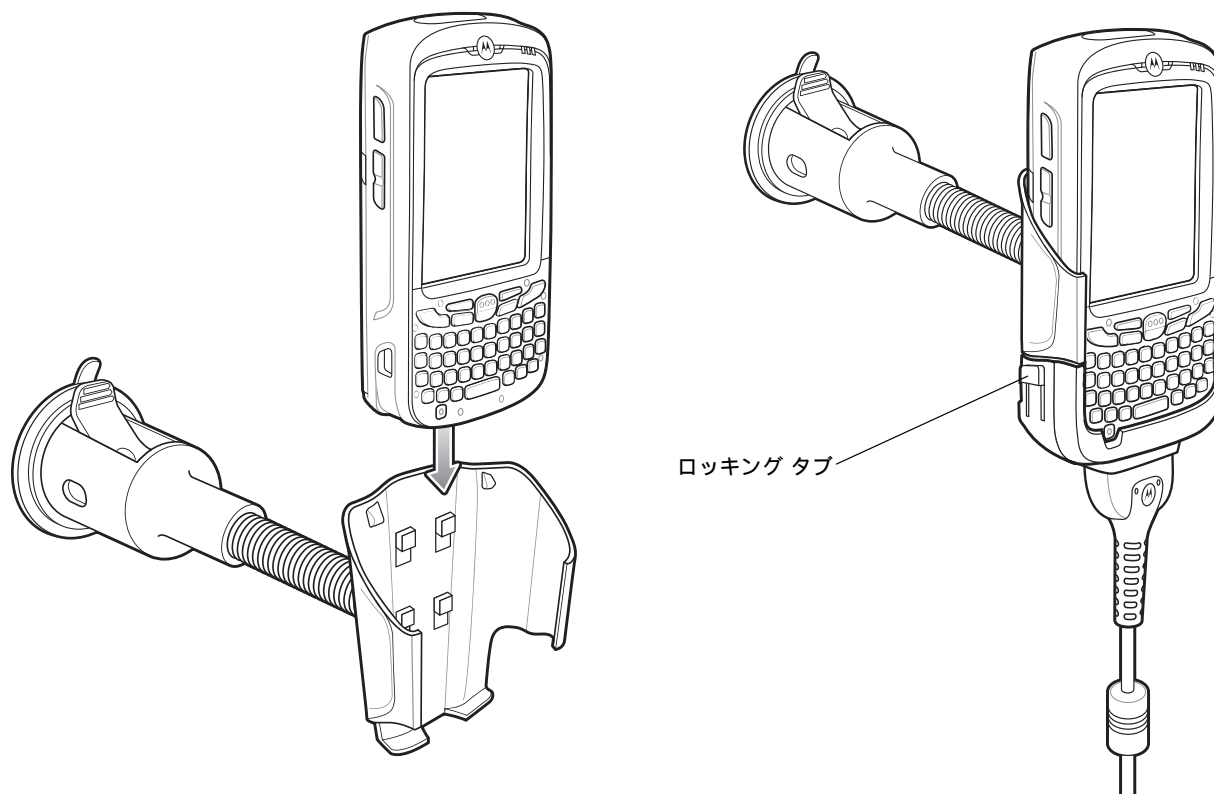


図 6-14 MC55 を車載用ホルダーに差し込む

5. 車用充電ケーブルを MC55 に接続し、MC55 にケーブル カップが固定されるまで、2つのロッキング タブを上をスライドさせます。
6. ケーブルの反対側をシガー ソケットに接続します。
充電中は、タッチ スクリーンの右側にある LED インジケータがオレンジ色に点灯します。

平らな面への取り付け

1. 取り付け用ディスクの底面のプラスチックシートを外します。
2. ディスクを、粘着側を下にして、平らできれいな面に置きます。

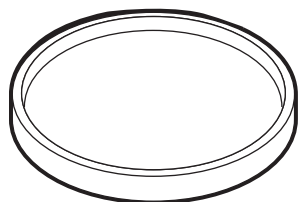


図 6-15 ディスクの取り付け

3. 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、ディスクに固定します。
4. レバーを下に動かし、吸着カップとディスクの間を真空にします。
5. 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。
6. MC55 をクレードルに差し込みます。

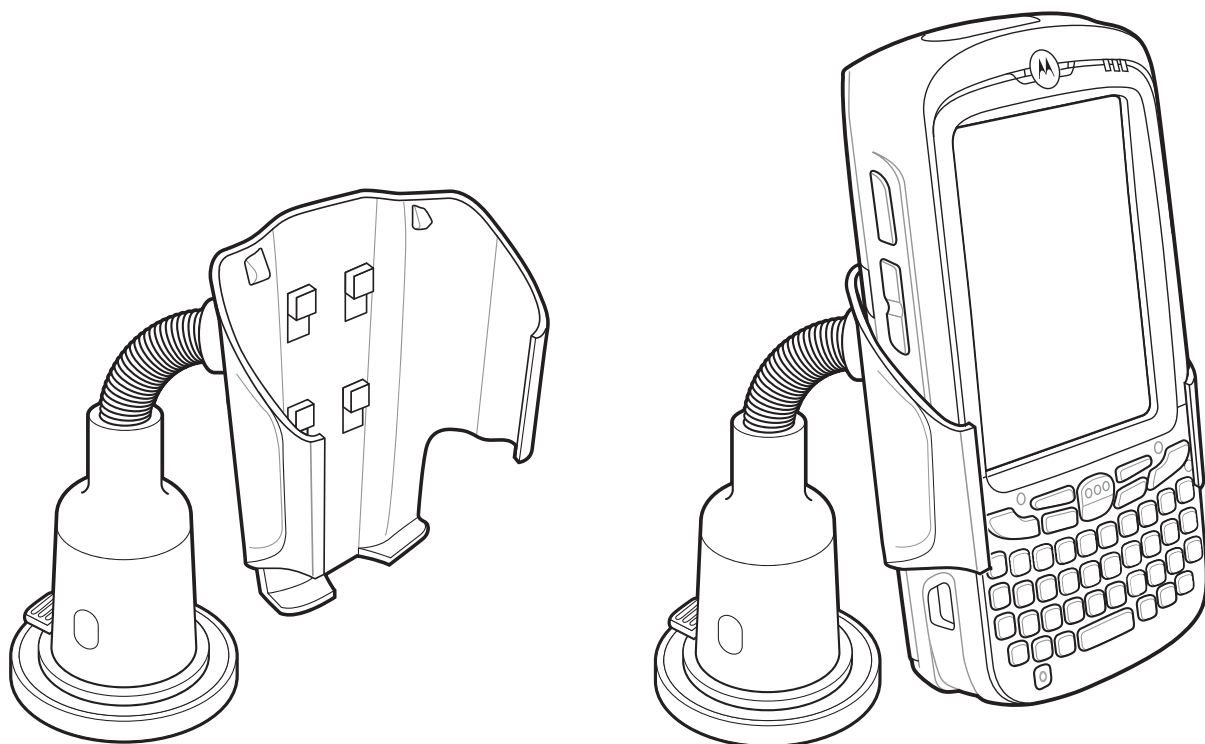


図 6-16 平らな面に取り付けた車載用ホルダー

7. 車用充電ケーブルを MC55 に接続し、MC55 にケーブル カップが固定されるまで、2つのロックング タブを上をスライドさせます。
8. ケーブルの反対側をシガー ソケットに接続します。
充電中は、タッチ スクリーンの右側にある LED インジケータがオレンジ色に点灯します。

第7章 メンテナンスと トラブルシューティング

はじめに

この章では、MC55 のクリーニングと保管方法、および MC55 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC55 のメンテナンス

トラブルを避けるため、MC55 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC55 の画面を引っかかないでください。MC55 の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。MC55 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。

スクリーン保護シート (部品番号 KT-67525-01R) の使用をお勧めします。

- MC55 のタッチスクリーンはガラス製です。MC55 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- MC55 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、MC55 の保管や利用を避けてください。
- MC55 をクリーニングするには、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC55 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

- MC55 には、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチ スクリーンの寿命が延びます。保護シートを使用する利点は以下のとおりです。
 - スクリーンを保護し、キズを防ぐ
 - スタイラスの使用によるスクリーン表面の感度低下を防ぐ
 - 磨耗や薬品からスクリーンを保護する
 - 光の反射を抑える
 - スクリーンを新品同様の状態に保つ
 - 迅速かつ簡単に取り付けられる

スクリーン保護シートを取り外す

MC55 には、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチ スクリーンの寿命が延びます。

スクリーン保護シートを取り外すには、クレジットカードなどのプラスチック製の薄いカードで角を持ち上げて、ディスプレイから慎重に剥がします。

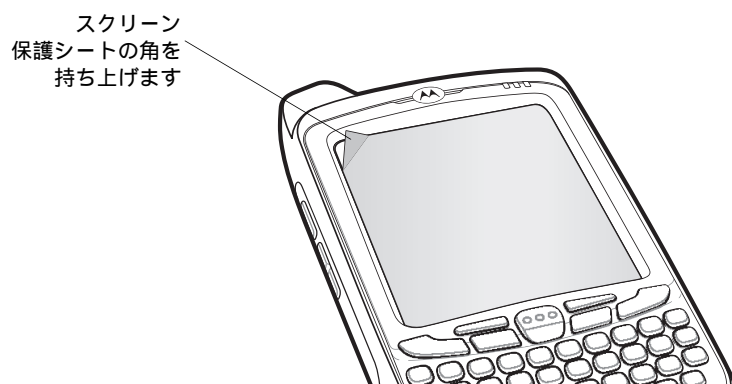


図 7-1 スクリーン保護シートを取り外す



注意

とがったものを使ってスクリーン保護シートを剥がさないでください。ディスプレイを傷める可能性があります。



注

スクリーン保護シートを使用していない場合、保証条項の適用範囲に影響する場合があります。交換用のスクリーン保護シートのご購入については、各国の担当者または Motorola, Inc. までお問い合わせください。スクリーン保護シートの取り付け方法に関する説明書も付属しています。P/N: KT-67525-01R スクリーン保護シート 3 枚組

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 装置を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で装置を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。

- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として 利用するデバイスは、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみ接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、Motorola のホログラムを添付しています。Motorola の認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の装置を硬い面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) に検査を依頼してください。

クリーニングする



注意

必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Motorola に詳細をお問い合わせください。



警告！

高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピル アルコール、漂白剤/次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水素、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、MC55 の樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要なものがあります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB- リゾフォルムがあります。

洗浄方法

MC55 に液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

洗浄の際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、MC55 の筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用して MC55 を扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してから MC55 を扱ってください。MC55 を扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてから MC55 を扱うようにしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

MC55 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にスキャナ ウィンドウを拭いてください。

コネクタ

1. モバイル コンピュータからメイン バッテリを取り外します。1-9 ページの「**バッテリーを交換する**」を参照してください。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、MC55 の下部のコネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ~ 6 を繰り返します。
7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
注意：ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。
5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
注意：ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。
6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。
気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーの判断で行ってください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

MC55

表 7-1 MC55 のトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
電源ボタンを押しても MC55 の電源がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	MC55 のバッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。1-7 ページの「 バッテリーの取り付け 」を参照してください。
	システムがクラッシュしている。	ウォーム ブートを実行します。この方法でも、MC55 がオンにならない場合は、コールド ブートを実行します。 2-15 ページの「MC55 のリセット」 を参照してください。
電源ボタンを押しても、MC55 の電源がオンにならないが、LED が 2 つ点灯する。	データを維持できるレベルのバッテリー残量があるが、充電が必要。	MC55 のバッテリーを充電または交換します。
充電式バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC55 が動作しない場合は、ウォーム ブートを実行し、その後コールド ブートを実行します。 2-15 ページの「MC55 のリセット」 を参照してください。
	バッテリーの充電中に MC55 をクレードルから取り外した。	MC55 をクレードルに差し込みます。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	MC55 の電源がオンになっていない。	電源 ボタンを押します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC55 をクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	MC55 をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。詳細については『MC55 Integrator Guide』を参照してください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。 2-11 ページの「音量を調節する」 を参照してください。

表 7-1 MC55 のトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
MC55 の電源が突然切れる。	MC55 が非アクティブになっている。	MC55 は一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。MC55 をバッテリー電源で使用している場合は、その時間を 1 ~ 5 分 (1 分刻み) で設定します。MC55 を外部電源で使用している場合は、その時間を 1、2、5、10、15、30 分のいずれかに設定します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ選択し、 Power (電源) アイコンをタップして、 [Power] (電源) ウィンドウを確認します。 [Advanced] (詳細) タブを選択し、自動シャットオフ機能が動作するまでの時間設定を長い時間に変更します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーを交換します。
	バッテリーが適切に差し込まれていない。	バッテリーを正しく差し込みます。1-7 ページの「 バッテリーの取り付け 」を参照してください。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	スクリーンが正しく調整されていない。	スクリーンを再調整します。 ブルー キー - Backspace キーの順に押すか、 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブ > Screen (画面) アイコン > [Align Screen] (スクリーンの調整) ボタンをタップします。
	システムの反応がない。	システムをウォーム ブートします。2-15 ページの「 MC55 のリセット 」を参照してください。
MC55 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	MC55 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホストコンピュータに保存します (または SD カードを使用してメモリを追加します)。
	MC55 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが MC55 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブを選択し、 Remove Programs (プログラムの削除) アイコンをタップします。使用していないプログラムを選択し、 [Remove] (削除) をタップします。
電源ボタンを押すと、充電/バッテリー状態 LED が点滅するが、MC55 の電源はオンにならない。	MC55 のバッテリー残量が少なくなっている。	バッテリーを充電してください。
カメラ アプリケーションが起動しない。	DataWedge アプリケーションが実行中である。	DataWedge アプリケーションを終了します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Task Manager] (タスク マネージャ) をタップします DataWedge アプリケーションを選択して、 [End Task] (タスクの終了) をタップします。

表 7-1 MC55 のトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
MC55 で読み取ったバーコードをデコードしない。	スキャンアプリケーションがロードされていない。	MC55 にスキャン アプリケーションをロードします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	スキャナ ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	MC55 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に MC55 が設定されていない。	スキャンするバーコードに対応するように、MC55 を設定します。EMDK または Control Panel アプリケーションを参照します。
	MC55 がピープ音を鳴らすようにプログラムされていない。	正しく読み取ったときに MC55 がピープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにピープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザ光線の放射が停止する場合は、バッテリー レベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、MC55 がバッテリー残量が少ないことを通知する前に、スキャナがシャットオフします。 注：この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店または Motorola にお問い合わせください。

Bluetooth の接続

表 7-2 Bluetooth の接続に関するトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
MC55 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m 以内に MC55 を近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
Bluetooth 電話と MC55 を接続しようとしたときに、すでにペアリングされた MC55 が使用されていると電話機が認識する。	電話機が、Bluetooth 無線を介して最後にペアリングした MC55 の名前とアドレスを記憶している。	電話機から、ペアリングしているデバイスと名前を手動で削除します。削除方法については、電話機のユーザー マニュアルを参照してください。

シングル スロット USB クレードル

表 7-3 シングル スロット USB クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC55 のバッテリーまたは予備バッテリーを差し込んでも LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	MC55 がクレードルにしっかりセットされていない。	MC55 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	予備バッテリーがクレードルにしっかりセットされていない。	予備バッテリーを充電スロットから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
MC55 バッテリーが充電されない。	MC55 をクレードルから、またはクレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC55 が正しくセットされていることを確認します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) と選択して、メイン バッテリーが充電されていることを確認します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC55 がクレードルに完全にセットされていない。	MC55 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
予備バッテリーが充電されない。	バッテリーが充電スロットに完全にセットされていない。	予備バッテリーをクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが正しく差し込まれていない。	バッテリーの充電端子とクレードルの端子を合わせて、バッテリーを差し込み直します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	MC55 が通信中にクレードルから取り外された。	MC55 をクレードルに戻し、転送し直してください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC55 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

4 スロット イーサネット クレードル

表 7-4 4 スロット イーサネット クレードルのトラブルシューティング

症状	原因	対処方法
MC55 による ActiveSync の試行が失敗した。	緑の LED が点滅中に、クレードルから MC55 を取り外した。	1 分待ってから、クレードルに MC55 を差し込み直します。これにより、クレードルが別の同期を試行することができます。
	古いバージョンの ActiveSync を使用している。	http://www.microsoft.com で最新の ActiveSync ソフトウェアを入手します。
	ホスト コンピュータ上の ActiveSync が、前の ActiveSync セッションをまだ閉じていない。	1 分待ってから、クレードルに MC55 を差し込み直します。これにより、クレードルが別の同期を試行することができます。
	ケーブルの構成が正しくない。	クレードルで正しいイーサネット ケーブルが使用されていることを確認します。
	通信ソフトウェアの設定が誤っている。	『MC55 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。
	MC55 の ActiveSync が無効になっているか、ネットワーク接続を受け入れるように設定されていない。	MC55 で、[Start] (スタート) > [ActiveSync] > [Tools] (ツール) > [Options] (オプション) > [Options] (オプション) ボタンをタップします。その後、[Enable PC sync using this connection:] (この接続を使用して PC sync を有効にする) チェック ボックスのチェックをオフにします。
	ホストの ActiveSync が無効になっているか、ネットワーク接続を受け入れるように設定されていない。	ホスト コンピュータで、[File](ファイル) > [Connection Settings](接続設定) > [Allow network (Ethernet) Server Connection with this desktop computer](このデスクトップコンピュータでネットワーク (イーサネット) サーバー接続を有効にする) をチェックします。
通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	MC55 が通信中にクレードルから取り外された。	MC55 をクレードルに戻し、転送し直してください。
	MC55 にアクティブな接続が存在しない。	接続がアクティブになっている場合は、ステータス バーにアイコンが表示されます。

表 7-4 4 スロット イーサネット クレードルのトラブルシューティング (続き)

症状	原因	対処方法
バッテリーが充電されない。	クレードルから MC55 を取り外すのが早すぎた。	MC55 をクレードルに差し込み直します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。バッテリーの状態を見るには、 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) をタップします。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC55 がクレードルに正しく挿入されていない。	MC55 を取り外して正しく差し込み直します。充電がアクティブになっていることを確認します。バッテリーの状態を見るには、 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) をタップします。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。

車載用クレードル

表 7-5 車載用クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC55 のバッテリー充電 LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源入力ケーブルが、クレードルの電源ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
MC55 バッテリーが充電されない。	クレードルから MC55 を取り外すのが早すぎた。	MC55 をクレードルに差し込み直します。2400 mAh バッテリーの場合は、4 時間以内、3600 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内で充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	バッテリーを交換します。
	MC55 がクレードルに正しく挿入されていない。	クレードルから MC55 を取り外し、正しく挿入し直してください。それでもバッテリーが充電されない場合は、カスタマ サポートにお問い合わせください。 MC55 が正しく挿入され、充電されている場合、MC55 のバッテリー充電 LED が黄色でゆっくりと点滅します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。

4 スロット予備バッテリー充電器

表 7-6 4 スロット バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
バッテリーが充電されない。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜くのが早すぎた。	バッテリーを充電器に差し込み直すか、充電器の電源を接続し直します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にしてバッテリー受けに正しくセットされていることを確認します。

ケーブル

表 7-7 ケーブルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC55 バッテリーが充電されない。	MC55 を AC 電源から抜くのが早すぎた。	電源ケーブルを正しく接続します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) と選択して、メインバッテリーが充電されていることを確認します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC55 が電源にしっかり接続されていない。	MC55 から電源ケーブルを抜いて差し込み直し、しっかり接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC55 からケーブルが抜けた。	ケーブルを差し込み直して転送をやり直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC55 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

磁気ストライプリーダー

表 7-8 磁気ストライプリーダーのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MSR がカードを読み取れない。	カードを通している間に MSR が MC55 から外れた。	MSR を MC55 に取り付け直して、カードを再度通します。
	カードの磁気ストライプが壊れている。	システム管理者にお問い合わせください。
	MSR アプリケーションが正しくインストールまたは設定されていない。	MC55 に MSR アプリケーションがインストールされていることを確認します。 MSR アプリケーションが正しく設定されていることを確認します。
MC55 バッテリーが充電されない。	MC55 を MSR から、または MSR を AC 電源から抜くのが早すぎた。	MSR に電力が供給されていることを確認します。MC55 が正しくセットされていることを確認します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) と選択して、メイン バッテリーが充電されていることを確認します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC55 が MSR にしっかり接続されていない。	MC55 から MSR を抜いて差し込み直し、しっかり接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に MSR から MC55 が外れた。	MC55 を MSR に取り付け直し、再度転送します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC55 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

付録 A 技術仕様

MC55 の技術仕様

次の表に、EDA の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

MC55

表 A-1 MC55 EDA の技術仕様

項目	説明
外観・機能など	
寸法	MC5574 (3600 mAh バッテリ装着時): 高さ : 15.2cm (6.0 インチ) 幅 : 7.7cm (3.03 インチ) 奥行き : 2.7cm (1.10 インチ) MC5590 (2400 mAh バッテリ装着時): 高さ : 14.7cm (5.78 インチ) 幅 : 7.7cm (3.03 インチ) 奥行き : 2.6cm (1.06 インチ) MC5590/MC55A0 (3600 mAh バッテリ装着時): 高さ : 14.7cm (5.78 インチ) 幅 : 7.7cm (3.03 インチ) 奥行き : 2.6 cm (1.10 インチ)
重量	MC5574: 359g (12.5 オンス)、3600mAh バッテリを含む MC5590: 315g (11.1 オンス)、2400mAh バッテリを含む 338g (11.9 オンス)、3600mAh バッテリを含む MC55A0: 338g (11.9 オンス)、3600mAh バッテリを含む

表 A-1 MC55 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
ディスプレイ	MC5574/MC5590: 半透過型、カラー 3.5 インチ、バックライト付き QVGA、TFT-LCD、65,536 色、240 (W) x 320 (H) MC55A0: Pentile、3.5 インチ、バックライト付き VGA、TFT-LCD、65,536 色、480 W x 640 H、650 Nits
タッチ パネル	ガラス製アナログ抵抗膜式
バックライト	LED バックライト
バッテリー パック	MC5574/MC5590: 充電式リチウム イオン 3.7V、2400 または 3600 mAh スマート バッテリー MC55A0: 充電式リチウム イオン バッテリー 3.7V、3600mAh スマート バッテリー
バックアップ バッテリー	MC55A0: NiMH バッテリー (充電式) 18mAh 2.4 V (ユーザーはアクセス不可)。
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な microSD 対応スロット。 MC5574/MC5590: 最大 16 GB。 MC55A0: 最大 32 GB。
ネットワーク接続	フルスピード USB (ホストまたはクライアント)、Bluetooth、WiFi USB ホスト モードを利用するには専用のケーブルが必要です。
通知	LED および通知音
キーボード オプション	MC5574, MC5590, MC55A0: 26- 数字キー、44- キー QWERTY、44- キー AZERTY、44- キー QWERTZ; PIM MC55A0-HC: 数字および 44- キー QWERTY
オーディオ	スピーカー、受信機、マイク。ソフトウェアは、全二重録音および再生 (Bluetooth ステレオ) をサポート。
性能	
CPU	MC5574/MC5590: 520 MHz の XScale™ Bulverde PXA270 プロセッサ MC55A0: Marvell PXA 320 プロセッサ、806 MHz
オペレーティング システム	MC5574: Microsoft® Windows Mobile™ 6.X Professional MC5590: Microsoft® Windows Mobile™ 6.X Classic MC55A0: Microsoft® Windows Mobile™ 6.5.X Classic
メモリ	MC5574/MC5590: 128MB RAM/256MB フラッシュまたは 128MB RAM/512MB フラッシュ MC55A0: 256 MB RAM/1GB フラッシュ
インタフェース / 通信	フルスピード USB 1.1
出力	USB: 5VDC @ 200mA (最大)
動作環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C/32°F ~ 104°F
湿度	95% (結露なきこと)

表 A-1 MC55 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
耐落下衝撃性能	MC5574/MC5590: 動作温度範囲下で 1.2m (4 フィート) の高さからコンクリート面へ複数回落下しても動作可能。MIL-STD 810G に準拠および高水準達成。 MC55A0: 動作温度範囲下で 1.8 m (6 フィート) の高さからコンクリート面へ複数回落下しても動作可能、MIL-STD 810G 仕様に適合。
転倒衝撃	MC5574/MC5590: 0.5 m (1.6 フィート) の転倒を 250 回繰り返した後、動作可能 (500 回の落下衝撃に相当) MC55A0: 0.5 m (1.6 フィート) の転倒を 1000 回 (2000 回の落下に相当) 繰り返しても動作可能、IEC 耐転倒衝撃仕様に適合。
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 8kVdc 間接放電
シーリング加工	MC5574/MC5590: IP54 MC55A0: IP64 (IEC シーリング加工仕様に適合)
無線 WAN データおよび音声通信	
無線 WAN (WWAN) 通信	MC5574: GSM: GPRS/EDGE (850、900、1800 および 1900 MHz)
アンテナ	外部
無線 LAN データ / 音声通信	
無線 LAN (WLAN) 通信	MC5574: デュアル モード IEEE® 802.11b/g MC5590/MC55A0: 3 モード IEEE® 802.11a/b/g
サポートされているデータ伝送速度	1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54Mbps
動作チャンネル	MC5574: チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472 MHz)、チャンネル 14 (2484 MHz) 日本のみ。実際のチャンネル / 動作周波数は、各地域の規制および承認機関により異なります。 MC5590/MC55A0: チャンネル 34 ~ 165 (5040 ~ 5825 MHz)、チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472 MHz)、チャンネル 14 (2484 MHz) 日本のみ。実際のチャンネル / 動作周波数は、各地域の規制および承認機関により異なります。
セキュリティ	WEP (40 または 128 ビット)、TKIP、AES、WPA (Personal または Enterprise)、WPA2 (Personal または Enterprise)、802.1x、EAP-TLS、TTLS (CHAP、MS-CHAP、MSCHAPv2、PAP または MD5)、PEAP (TLS、MS-CHAPv2、EAP-GTC)、LEAP、EAP-FAST (TLS、MS-CHAPv2、EAP-GTC) OEM パージョン 02.35.000 以上 : CCXv4 準拠、IPv6 をサポート、FIPS 140-2 準拠
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)
アンテナ	内蔵
音声通信	VoIP 対応 (P2P、PBX、PTT クライアント)、Wi-Fi™ 準拠、IEEE 802.11a/b/g スペクトラム拡散ダイレクトシーケンス (DS) 方式

表 A-1 MC55 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
無線 PAN データ / 音声通信	
Bluetooth	MC5574 および MC5590: Class II、v 2.0 EDR、オンボード アンテナ StoneStreet One Bluetooth スタックおよび Microsoft Bluetooth スタック対応。 MC55A0: Class II、v 2.1 EDR、オンボード アンテナ StoneStreet One Bluetooth スタックおよび Microsoft Bluetooth スタック対応。
グローバル ポジショニング システム	
GPS (MC5574 のみ)	SiRF III. オンボード アンテナ
データ収集仕様	
オプション	1D レーザ 2D イメージャー 1D レーザ およびカラー カメラ 2D イメージャーおよびカラー カメラ
リニア 1D (SE950) の仕様 (MC5574 および MC5590 のみ)	
光学分解能	0.005 インチ 最小光源幅
回転	± 30°
ピッチ	± 65°
スキュー	± 60°
耐周辺光	直射日光 : 8,000 フット キャンドル (86,112 Lux) 室内照明 : 450 フット キャンドル (4,844 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
スキャン速度	50 (± 6) スキャン / 秒 (双方向)
スキャン角度	46.5° (通常値)
レーザ出力	1.0mW (公称値)
リニア 1D (SE950) の仕様 (MC55A0 のみ)	
光学分解能	0.005 インチ 最小光源幅
回転	± 35°
ピッチ	± 65°
スキュー	± 40°
耐周辺光	直射日光 : 10,000 フィート キャンドル (107,640 Lux) 室内照明 : 450 フット キャンドル (4,844 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
スキャン速度	104 (± 12) スキャン / 秒 (双方向)
スキャン角度	47° (通常値)

表 A-1 MC55 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
レーザ出力	1.7mW (公称値)
2D Imager Engine (SE 4400) の仕様 (MC5574 のみ)	
読み取り幅	水平 - 32.2° 垂直 - 24.5°
光学分解能	640 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	± 60°
スキュー	± 50°
耐周辺光	暗闇 ~ 9,000 フット キャンドル (96,900 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
焦点範囲 (読み取り部前面からの距離)	近 : 127mm (5 インチ) 遠 : 229mm (9 インチ)
照準光源波長 (VLD)	650nm ± 5nm
発光光源波長 (LED)	635nm ± 20nm
2D Imager Engine (SE4500-SR) の仕様 (MC5590 および MC55A0 のみ)	
読み取り幅	水平 - 39.6° 垂直 - 25.7°
光学分解能	752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	± 60°
スキュー	± 60°
耐周辺光	9,000 フィート キャンドル (96,900 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
照準光源波長 (VLD)	655nm ± 10nm
発光光源波長 (LED)	625 nm ± 5 nm LED (2x)
2D Imager Engine (SE4500-HD) の仕様 (MC5590 および MC55A0 のみ)	
読み取り幅	水平 - 38.4° 垂直 - 24.9°
光学分解能	752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	± 60°
スキュー	± 60°

表 A-1 MC55 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
耐周辺光	9,000 フィート キャンドル (96,900 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
照準光源波長 (VLD)	655nm ± 10nm
発光光源波長 (LED)	625 nm ± 5 nm LED (2x)
2D Imager Engine (SE4500-DL) の仕様 (MC5590 および MC55A0 のみ)	
読み取り幅	水平 - 39.2° 垂直 - 25.4°
光学分解能	752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	± 60°
スキュー	± 60°
耐周辺光	9,000 フィート キャンドル (96,900 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
照準光源波長 (VLD)	655nm ± 10nm
発光光源波長 (LED)	625 nm ± 5 nm LED (2x)
カメラの仕様	
解像度	MC5574/MC5590: 2 メガ ピクセル、フラッシュとオート フォーカス。 MC55A0: 3 メガ ピクセル、フラッシュとオートフォーカス。

表 A-2 データ収集オプション

項目	説明		
レーザ読み取り機能	Code 39 Codabar Interleaved 2 of 5 MSI UPC/EAN supplementals Webcode GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Stacked Omni	Code 128 Code 11 EAN-8 UPCA Coupon Code Chinese 2 of 5 GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded Stacked	Code 93 Discrete 2 of 5 EAN-13 UPCE Trioptic 39 GS1 DataBar GS1 DataBar Stacked
イメージング読み取り機能	Code 39 Codabar Discrete 2 of 5 EAN-13 UPC/EAN supplementals Webcode Composite C Macro PDF-417 Data Matrix US Planet Canadian 4-state Chinese 2 of 5 microQR GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Stacked Omni	Code 128 Code 11 MSI UPCA Coupon Code TLC39 Micro PDF-417 (Macro) Micro PDF-417 Maxi Code UK 4-state Japanese 4-state USPS 4-state (US4CB) GS1 DataBar GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded Stacked	Code 93 Interleaved 2 of 5 EAN-8 UPCE Trioptic 39 Composite AB PDF-417 QR Code US Postnet Australian 4-state Dutch Kix Aztec GS1 DataBar Stacked
カメラ読み取り機能	Code 39 Codabar Discrete 2 of 5 EAN-13 UPC/EAN supplementals Webcode Composite C Macro PDF-417 Data Matrix US Planet Canadian 4-state GS1 DataBar GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Stacked Omni	Code 128 Code 11 MSI UPCA Coupon Code TLC39 Micro PDF-417 (Macro) Micro PDF-417 Maxi Code UK 4-state Japanese 4-state GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded Stacked	Code 93 Interleaved 2 of 5 EAN-8 UPCE Trioptic 39 Composite AB PDF-417 QR Code US Postnet Australian 4-state Dutch Kix GS1 DataBar Stacked

MC55 アクセサリの仕様

シングル スロット USB クレードル

表 A-3 シングル スロット USB クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 7.1cm (2.80 インチ) 幅 : 11.0cm (4.33 インチ) 奥行き : 15.0cm (5.91 インチ)
重量	210g (7.41 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	30W
インタフェース	USB
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル

表 A-4 シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 7.1cm (2.80 インチ) 幅 : 11.0cm (4.33 インチ) 奥行き : 15.0cm (5.91 インチ)
重量	210g (7.41 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	30W
インタフェース	USB
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)

表 A-4 シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードルの技術仕様 (続き)

特徴	説明
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット予備バッテリー充電器

表 A-5 4 スロット バッテリー充電器の技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 4.7cm (1.85 インチ) 幅 : 15.5cm (6.10 インチ) 奥行き : 21.0cm (8.27 インチ)
重量	384g (13.55 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	30W
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット充電専用クレードル

表 A-6 4 スロット充電専用クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 13.7cm (5.39 インチ) 幅 : 46.8cm (18.43 インチ) 奥行き : 9.9cm (3.90 インチ)
重量	1115g (39.33 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	100W

表 A-6 4 スロット充電専用クレードルの技術仕様 (続き)

特徴	説明
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット イーサネット クレードル

表 A-7 4 スロット イーサネット クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 13.7cm (5.39 インチ) 幅 : 46.8cm (18.43 インチ) 奥行き : 9.9cm (3.90 インチ)
重量	1115g (39.33 オンス)
電源	12VDC
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

磁気ストライプリーダー

表 A-8 磁気ストライプリーダー (MSR) の技術仕様

特徴	説明
寸法	8.4 cm × 9.4 cm (3.3 インチ × 3.7 インチ)
重量	79.4 g (2.8 オンス)
インタフェース	シリアル、最大ボーレート 19,200
形式	ANSI、ISO、AAMVA、CA DMV、ユーザー設定可能な汎用形式
スワイプ速度	5 ~ 50 インチ (127 ~ 1270mm) / 秒、双方向
デコーダ	汎用、Raw データ
モード	パッファ付き、パッファ無し
トラック読み取り機能	トラック 1、3: 210 bpi トラック 2: 75 および 210 bpi、自動検出
動作温度	32° ~ 122°F (-10° ~ 50)
保管温度	-40 ~ 70 (-40°F ~ 158°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	動作温度範囲を超える温度にて 4 フィート (1.22m) の高さから コンクリート面へ複数回落下しても動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

車載用クレードル

表 A-9 車載用クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 10.4cm (4.09 インチ) 幅 : 11.1cm (4.37 インチ) 奥行き : 6.9cm (2.72 インチ)
重量	240g (8.47 オンス)
電源	9 ~ 32 VDC
動作温度	-20°C ~ 50°C (-4°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)

表 A-9 車載用クレードルの技術仕様 (続き)

特徴	説明
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

ケーブル

表 A-10 USB 充電ケーブルの技術仕様

特徴	説明
長さ	161.9cm (63.74 インチ)
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

表 A-11 充電専用ケーブルの技術仕様

特徴	説明
長さ	28.0cm (11.00 インチ)
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

表 A-12 車用充電ケーブルの技術仕様

特徴	説明
長さ	169.0cm (66.54 インチ)
入力電圧	12 ~ 24 VDC
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

表 A-13 DEX クレードルの技術仕様

特徴	説明
長さ	111.76 cm (44.0 インチ)
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

付録 B Voice Quality Manager

はじめに

Voice Quality Manager (VQM) は、MC55 に搭載されているソフトウェア パッケージです。VQM により、Voice over WiFi (VoWiFi) での通話に関する機能セットと、携帯電話回線での通話に関する機能サブセットが可能になります。VQM のユーザー インタフェースは直感的かつ使いやすく設計されているため、通話中に音響エコー キャンセラ (AEC) を有効にするといった複雑な作業を、ユーザーがほとんどもしくはまったく操作せずに実行できます。

特徴

VQM ソフトウェアには、次のような特徴があります。

- 追加のバッテリーを使用せずに、音声の転送品質を向上します。
- ユーザーが操作しなくても、VoWiFi コール用の AEC の電源を自動的にオンにします。
- 送信側の音声 IP パケットの優先順位を決定します。
- VQM アイコンを 1 度タップするだけで、音声モード (スピーカーフォンとハンドセット) を選択できます。MC55 のタイトルバーにある VQM アイコンは、現在使用中の音声モードを示します。
- NDIS 5.1 準拠。

VQM の有効化

VQM を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [File Explorer] (ファイル エクスプローラ)** の順にタップします。
2. **[Windows]** フォルダに移動します。
3. **VQMAudioNotify** ファイルを探します。
4. ファイル名をタップすると VQM が有効になります。

音声モード

MC55 には、7 種類の音声モードがあります。モードはタイトル バーの VQM アイコンとして表示されます。



図 B-1 タイトルバーの VQM アイコン

この VQM アイコン (淡色表示) は、MC55 が音響エコー キャンセラなしのスピーカーフォン モードであることを示しています。音声モードとそれに対応する VQM タイトルバー アイコンは次のとおりです。

表 B-1 VQM アイコン

アイコン	説明
	音響エコー キャンセラ付きのスピーカーフォン。
	音響エコー キャンセラなしのスピーカーフォン。
	音響エコー キャンセラ付きのハンドセット (MC55 がハンドセットになるのは通話中のみ)。
	通話中の Bluetooth ヘッドセット (Bluetooth ヘッドセットでは音響エコー キャンセラは無効)。白いアイコン。
	通話中でない Bluetooth ヘッドセット。グレーのアイコン。

音声モードの変更

タイトルバーの VQM アイコンをタップすると、使用中の音声モードに応じてモードを変更できます。音声モードは通話中のみ変更できます。

次の表では、現在の音声モードと、VQM アイコンをタップすると次に現れる音声モードを示します。

表 B-2 音声モードの変更

VQM アイコンをタップする前の音声モード	VQM アイコンをタップした後の音声モード
スピーカーフォン	ハンドセット
ハンドセット	スピーカーフォン
Bluetooth ヘッドセット	スピーカーフォン

音声モードがスピーカーフォンに設定されているときに VQM アイコンをタップすると、音声モードがハンドセットに変わります。

Bluetooth ヘッドセットを使用しているときに VQM アイコンをタップすると、Bluetooth ヘッドセットが MC55 から切断されるため、音声はデフォルトのモードになります。VQM 2.5 では、Bluetooth ヘッドセットを切断すると、VQM アイコンを使用して Bluetooth ヘッドセットに戻る方法はありません。Bluetooth ヘッドセットを MC55 に接続し直すには、BTE Explorer アプリケーションを使用するしかありません。

通話中でないときに VQM アイコンをタップしても、音声モードは変わりません。

タイトルバーの VQM アイコンをタップしたままにすると、次のような内容の通知ダイアログボックスが表示されます。

- AEC: 音響エコー キャンセラの状態
- DSCP Marked Packets: VQM によって認識され、優先度高としてマークされた、送信音声パケットの数
- VQM Version: VQM のバージョン番号



図 B-2 [VQM Audio Control] ダイアログボックス

音声パケットの優先

IP ソフトフォンは、ネットワーク上でデータを送信する他のアプリケーションと同じ方法で音声パケットを転送します。さまざまなトラフィックが存在するネットワークでは、音声パケットには他のトラフィックと同じ優先度が割り当てられているため、遅延が発生する場合があります。

WiFi Multi-media (WMM) は、このような問題を解決します。WMM は、トラフィックの優先順位の決定をサポートし、「優先度の高い」パケットを優遇することができます。

WMM を活用するには、トラフィックを生成するデバイスの IP パケット内の Differentiated Services Code-Point (DSCP) というフィールドで、パケットを高い優先度または普通の優先度にマークする必要があります。無線インフラストラクチャを WMM をサポートするように設定すると、トラフィックを生成するデバイスの DSCP マーキングによって高い優先度とマークされているパケットが優先されます。

VQM は進行中の Voice over WiFi (VoWiFi) コールが存在するかどうかを検出し、コールが存在すれば、DSCP を使用して送信音声パケットを高い優先度にマークします (送信音声パケットのみがマーク可能です。受信音声パケットは既にネットワークを通過しているため、マークしても無意味です)。このようにすると、WMM と互換性のある無線インフラストラクチャで、音声パケットを優先させることができます。その結果、音声パケットの遅延が減少し、通話の品質が改善されます。

制限

- VQM では VPN はサポートされていません。
- 現在 Avaya ソフトフォンのみがサポートされています。

音響エコー キャンセル

音響エコーは、音声通話中に、イヤフォンから出る音声と同じデバイスのマイクに入ると発生します。その結果、通話相手には自分の声が遅れて聞こえてきます (これを「エコー」と読みます)。言うまでもなく「エコー」は望ましいものではないので、抑制する必要があります。これが、音響エコー キャンセラ (AEC) の機能です。エコーを抑制する手法には、次の 2 つがあります。

- 音響エコー キャンセラ (AEC) を常時オンにします。AEC がオンになっているとデバイスの消費電力が増えるため、これはあまり効率の良い方法ではありません。
- 進行中の通話があるときのみ音響エコー キャンセラ (AEC) をオンにします。

VQM は、前述の 2 つ目の方法に従います。

VQM では、モバイル デバイスが VoWiFi 通話状態になると、音響エコー キャンセラ (AEC) が自動的にオンになります。通話が終了すると、AEC がオフになります。スピーカーフォン モードとハンドセット モードでは AEC がオンになり、Bluetooth ヘッドセット モードではオンにならないことに注意してください。Bluetooth には通常、エコー キャンセラが内蔵されています。通話中のみ AEC をオンにすれば、常時 AEC をオンにしておくよりもバッテリーの電力を節約できます。

WWAN 電話アプリケーションにはエコー キャンセラが内蔵されているため、携帯電話の通話では AEC はオンになりません。

VQM の無効化

VQM を無効化するにはウォーム ブートを実行します。

付録 C Windows Mobile 6.5

はじめに

ここでは、最新の Windows Mobile 6.5 OEM バージョンの新機能について説明します。以下の新機能が追加されました。

- 指のスクロール機能
- 新しいホーム画面
- 新しい [Start] (スタート) メニュー
- 新しい [Lock] (ロック) 画面
- RS507 サポート
- アシスト GPS サポート
- USB 設定
- カスタム UI 設定

指のスクロール

Windows Mobile 6.5 では、ディスプレイに指のスクロール機能が追加されました。指をスクロールさせると、Web ページ、ドキュメント、一覧（連絡先、ファイル、メッセージ、予定表など）を上下にスクロールさせることができます。

指でスクロールする場合は、スクリーンを指でスワイプするか、軽くはじきます。

下方向にスクロールするには、指でスクリーンを上方向にスワイプします。上方向にスクロールするには、指でスクリーンを下方向にスワイプします。

自動スクロールするには、指でスクリーンを上方向または下方向に軽くはじきます。スクリーンをタッチすると、スクロールが停止します。

ホーム画面

MC55 のデフォルトのホーム画面は、Windows Mobile のホーム画面です。ホーム画面には、画面上部にステータス バーが、画面下部にタイル バーがあります。

ホーム画面はスクロール可能で、この画面にはアプリケーション プラグインの一覧と情報ステータス バーがあります。情報ステータス バーでは、その下のアプリケーション プラグインが強調表示され、追加情報が表示されます。



図 C-1 Windows Mobile のホーム画面

指で画面に触れたまま、ホーム画面を上下に移動させます。アプリケーション名が情報ステータス バーの下に移動すると、そのアプリケーションに関連する情報がバーに表示されます。

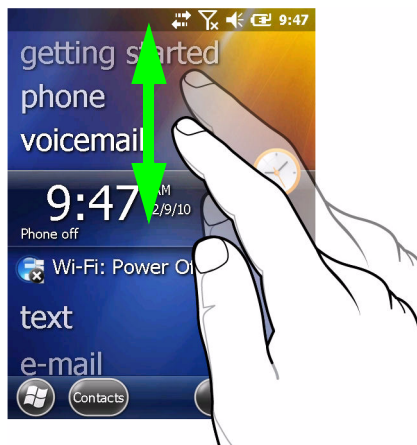


図 C-2 [Today] (今日) 画面の移動

また、情報ステータス バーに触れてそのままの状態を維持し、アプリケーション名の上で上下させることもできます。指を離すと、情報ステータス バーとアプリケーション名が画面中央になります。

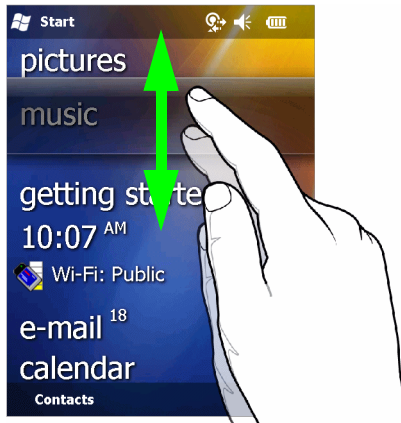



図 C-3 情報ステータス バーの移動



図 C-4 情報バーの例

ホーム画面をカスタマイズするには、 > **[Settings] (設定)** > **[Today] (今日)** をタップします。背景をカスタマイズするには **[Appearance] (デザイン)** タブを使用し、表示形式を変更するには **[Items] (項目)** タブを使用します。

クラシック [Today] (今日) 画面

ユーザーは、Windows Mobile 6.1 で使用されるクラシックの [Today] (今日) 画面レイアウトに変更できます。



図 C-5 クラシック [Today] (今日) 画面

クラシック ビューに変更するには、 > [Settings] (設定) > [Home] (ホーム) > [Items] (項目) の順にタップします。

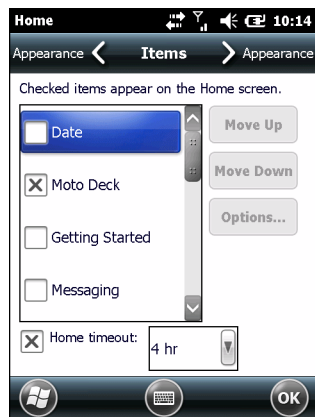








図 C-6 ホーム画面の設定

[Windows Default] (Windows デフォルト) チェックボックスの選択を解除し、他のチェックボックスを選択します。

をタップします。

画面下部のタスク バーには、表 C-1 に示しているタスク トレイ アイコンが表示されます。

表 C-1 タスクトレイ アイコン

アイコン	名前	説明
	無線接続ステータス	無線接続ステータス アイコン。WLAN の信号強度を示し、無線アプリケーションメニューを開きます。
	Bluetooth 有効	タスクトレイに表示される [Bluetooth Enabled] (Bluetooth 有効) アイコンは、Bluetooth 無線通信がオンになっていることを示します (StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ表示されます)。
	Bluetooth 無効	タスクトレイに表示される [Bluetooth Disabled] (Bluetooth 無効) アイコンは、Bluetooth 無線通信がオフになっていることを示します (StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ表示されます)。
	Bluetooth 通信	タスクトレイに表示される [Bluetooth Communication] (Bluetooth 通信中) アイコンは、モバイルコンピュータが別の Bluetooth デバイスと通信中であることを示します (StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ表示されます)。
	IST	IST のコントロール パネルを開きます。
	ActiveSync	タスクトレイに表示される [ActiveSync] アイコンは、モバイルコンピュータと開発用コンピュータの間のシリアル接続がアクティブであることを示します。

ステータス バー

画面の上部のステータス バーには、表 C-2 に示しているステータス アイコンが表示されます。

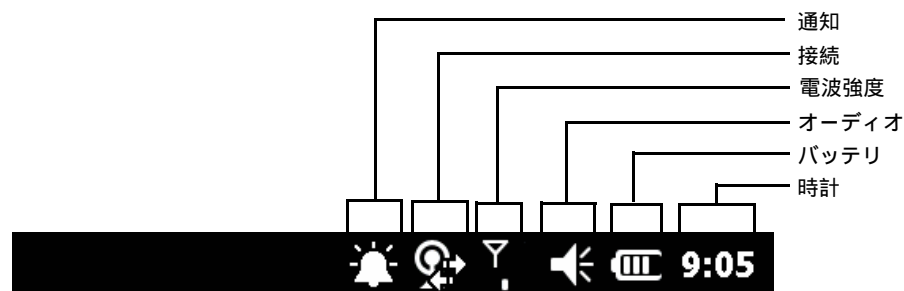



















図 C-7 ステータス バーのアイコン

表 C-2 ステータス バーのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
通知			
	今後のカレンダー イベントの通知を示します。		1 つまたは複数のインスタント メッセージを受信したことを示します。
	1 つまたは複数の電子メール/テキスト メッセージを受信したことを示します。		1 つまたは複数のボイス メッセージを受信したことを示します。
	表示しきれない通知アイコンがあります。		
接続			
	接続がアクティブです。		接続が非アクティブです。
	同期中です。		Wi-Fi を使用できます。
	Wi-Fi 使用中です。		HSDPA を使用できます (GSM のみ)。
	3G を使用できます (GSM のみ)。		GPRS を使用できます (GSM のみ)。
	EGPRS を使用できます (GSM のみ)。		1xRTT を使用できます (CDMA のみ)。
	EVDO Rev.0 を使用できます (CDMA のみ)。		EVDO Rev.A を使用できます (CDMA のみ)。
	休止状態 - 1x または EVDO 接続中にデータ転送が行われていません (CDMA のみ)。		ローミング中です。
WAN			
	不在着信です。		SIM カードが装着されていない状態でダイヤルしました。
	音声通話中です。		通話を転送しました。
	通話保留中です。		スピーカがオンになっています。
	Wi-Fi がオンで、電波強度が良好です。		Wi-fi がオフです。
	Wi-Fi サービスなし、または検索中です。		HSDPA 接続中です (GSM のみ)。
	HSDPA 使用中です (GSM のみ)。		3G 接続中です (GSM のみ)。

表 C-2 ステータス バーのアイコン (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	3G 使用中です (GSM のみ)。		GPRS 接続中です (GSM のみ)。
	GPRS 使用中です (GSM のみ)。		EGPRS 接続中です (GSM のみ)。
	EGPRS 使用中です (GSM のみ)。		EVDO 接続中です (CDMA のみ)。
	EVDO 使用中です (CDMA のみ)。		SIM カードが装着されていません (GSM のみ)。
オーディオ			
	すべてのサウンドがオンになっています。		すべてのサウンドがオフになっています。
	バイブがオンになっています。		
バッテリー			
	バッテリーが充電中です。		バッテリーがフル充電されています。
	バッテリーの充電残量は十分あります。		メイン バッテリーの充電残量が中程度です。
	メイン バッテリーの充電残量が少なくなっています。		メイン バッテリーの充電残量が非常に少なくなっています。

ステータス バーをタップすると、アイコン バーが表示されます。アイコンをタップすると、通知またはステータスの追加情報を表示できます。



図 C-8 アイコン バー

表 C-3 タスクトレイ アイコン

アイコン	名前	説明
	Magnify (虫眼鏡)	スクリーンを拡大します。
	Connectivity (接続)	[Connectivity] (接続) ダイアログ ボックスが表示されます。
	Phone (電話)	[Phone] (電話) ダイアログ ボックスが表示されます。
	Volume (音量)	[Volume] (音量) ダイアログ ボックスが表示されます。
	Power (電源)	[Power] (電源) ウィンドウが表示されます。
	Clock & Alarms (時計とアラーム)	[Clocks & Alarms] (時計とアラーム) ウィンドウが開きます。

タイルバー


スクリーンが一番下にある**タイルバー**には [Start] (スタート) タイル  があり、ここで [Start] (スタート) メニューを開きます。また、開いているアプリケーションにより、異なるタイルが表示されます。



図 C-9 タイルバーの例

[Start] (スタート) 画面

[Start] (スタート) 画面を開くには、画面の左下角にある  をタップするか、キーボードのスタート キーを押します。

その他のプログラムとフォルダのアイコンを表示するには、上方向にスワイプします。

頻繁に使用するプログラムとフォルダ アイコンを、[Start] (スタート) 画面の任意の場所に移動し、使いやすい場所に配置することもできます。移動するアイコンを押し続けて、目的の場所に移動して離します。

表 C-4 に、[Start] (スタート) 画面に表示されるデフォルトのアイコンを示します。

表 C-4 [Start] (スタート) 画面のプログラム

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Home (ホーム)	ホーム画面を表示します。		Text (テキスト)	SMS テキスト メッセージを送信します。
	Phone (電話)	電話をかけます。		E-mail (電子メール)	電子メールを送信します。
	Contacts (連絡先)	友人および同僚を管理します。		Settings (設定)	[Settings] (設定) フォルダを開きます。表 C-5 に、[Settings] (設定) フォルダに表示されるデフォルトのアイコンを示します。
	Internet Explorer	Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。		Getting Started (ご使用の前に)	Getting Started (ご使用の前に) アプリケーションを起動します。
	Calendar (カレンダー)	予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。		Alarms (アラーム)	デバイスの時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。
	Pictures & Videos (画像 とビデオ)	画像、アニメーション GIF、ビデオ ファイルを表示および管理します。		Messenger	モバイルバージョンの Windows Live Messenger を使用します。
	Windows Media	オーディオ ファイルとビデオ ファイルを再生します。		Microsoft My Phone	MC55 の連絡先、カレンダー、タスク、テキスト メッセージ、音楽、写真、ビデオ、ドキュメントを Microsoft My Phone アカウントと同期します。
	Marketplace (マーケット プレイス)	マーケットプレイスからアプリケーションを購入します。		MSN Weather (MSN 天気 予報)	地域の天気予報を確認します。
	Windows Live	このモバイルバージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。		Games (ゲーム)	ゲームをプレイします。
	MSN Money (MSN マネー)	ファイナンスを管理します。		Notes (メモ)	手書きのメモやタイプしたメモ、図、および音声録音を作成します。
	Calculator (電卓)	加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算および計算を行います。		Tasks (タスク)	タスクを管理します。

表 C-4 [Start] (スタート) 画面のプログラム (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Office Mobile	モバイル デバイスで Microsoft® Office アプリケーション スイートのすべてのアプリケーションを使用できます。		Internet Sharing (インターネット共有)	MC55 のデータ接続を使用して、ノートブック コンピュータをインターネットに接続します。
	File Explorer (ファイル エクスプローラ)	デバイス上のファイルを整理および管理します。		Task Manager (タスク マネージャ)	メモリおよび CPU の割り当てを表示し、プロセスを停止します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。
	ActiveSync	MC55 とホスト コンピュータまたは Exchange Server 間で情報を同期します。		Search Phone (電話の検索)	MC55 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。
	Help (ヘルプ)	オンライン ヘルプ トピックにアクセスします。		BT Information (BT に関する情報)	Bluetooth 無線に関する情報を表示し、Bluetooth アドレス バーコードを生成します。
	Wireless Companion	Wireless Companion フォルダを開きます。		BTScanner (BT) CtlPanel (コントロール パネル)	COM ポートを Bluetooth とともに使用する設定を行います。
	AirBEAM Client	これによって従来のお客様はデバイスに AirBEAM Smart™ パッケージを導入できます。		Adobe Reader	PDF ファイルを表示します。
	Modem Link (モデム リンク)	MC55 をモデムとして使用できるようにします。		Remote Desktop (リモート デスクトップ)	Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC55 から使用します。

表 C-4 [Start] (スタート) 画面のプログラム (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	MSP Agent	MSP Server から MC55 を管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。		SIM Toolkit (SIM ツールキット)	SIM カードに保存されている連絡先を管理します。SIM の内容を MC55 の Contacts (連絡先) にコピーします。
	Rapid Deployment Client (Rapid Deployment クライアント)	MC55 で MSP を使用可能にするために、使用前に設定、ファームウェア、ソフトウェアを展開します。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。		BTExplorer	StoneStreet One Bluetooth 接続を管理します。詳細については、『MC55 Series Mobile Computer Integrator Guide』を参照してください。StoneStreet One Bluetooth スタックが有効の場合のみ表示されます。
	SMS Staging	MSP Server から SMS メッセージを受信して処理し、それらを基に MC55 でステージングできます。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。		Display_BD_Address (BD アドレスの表示)	デバイスの Bluetooth アドレスを含むバーコードを表示します。

表 C-5 Settings (設定) アプリケーション




アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Clock & Alarms (時計とアラーム)	デバイスの時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		Lock (ロック)	MC55 のパスワードを設定します。
	Home (ホーム)	ホーム画面の外観と表示される情報をカスタマイズします。		Sounds & Notifications (サウンドと通知)	イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	Personal (個人) フォルダ	個人設定アプリケーションが含まれています。		Connections (接続) フォルダ	接続設定アプリケーションが含まれています。
	System (システム) フォルダ	システム設定アプリケーションが含まれています。		Microsoft My Phone	電話の連絡先、カレンダー、タスク、テキストメッセージ、音楽、写真、ビデオ、その他のドキュメントと、www.microsoft.com の My Phone アカウントを同期します。

表 C-5 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Power (電源)	バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。			
Connections (接続) フォルダ					
	Beam (ビーム)	受光 IrDA ビームを受信するように MC55 を設定します。MC55 ではサポートされません。		Connections (接続)	電話のダイヤルアップ、GPRS、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続を設定して、デバイスがインターネットやプライベートローカル ネットワークにアクセスできるようにします。
	Bluetooth.	Bluetooth アプリケーションを開き、MC55 を可視モードに設定し、範囲内の他の Bluetooth デバイスをスキャンします。		Domain Enroll (ドメインへの登録)	デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメインメンバーに登録します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。
	Wi-Fi	無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。		USB to PC (USB - PC)	拡張ネットワーク接続を有効または無効にします。
	Wireless Manager (無線マネージャ)	MC55 の無線通信を有効または無効にしたり、Wi-Fi、Bluetooth、および電話の設定をカスタマイズします。			
Personal (個人) フォルダ					
	Buttons (ボタン)	ボタンにプログラムを割り当てます。		Phone (電話)	電話を設定します。
	Owner Information (オーナー情報)	個人情報を入力します。			
System (システム) フォルダ					
	About (バージョン情報)	Windows Mobile® のバージョンや MC55 に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。		Certificates (証明書)	MC55 にインストールされている証明書に関する情報を表示します。

表 C-5 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Backlight (バックライト)	バックライトを設定します。		Customer Feedback (カスタマフィードバック)	Windows Mobile 6 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。
	Error Reporting (エラー報告)	Microsoft のエラー報告機能を有効または無効にします。		Encryption (暗号化)	ストレージカード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。
	External GPS (外部 GPS)	必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。 3-1 ページの「MC55 GPS のセットアップ」 を参照してください。		GPS Setup (GPS のセットアップ)	GPS SUPL 情報を表示します。
	Managed Programs (管理プログラム)	Mobile Device Manager を使用して MC55 にインストールされたプログラムを表示します。		Keylight (キーライト)	キーパッドのバックライトのタイムアウトを設定します。
	Memory (メモリ)	デバイスのメモリ割り当てステータスとメモリカードの情報を確認したり、現在実行中のプログラムを停止します。		Regional Settings (地域)	数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、MC55 で使用する地域設定を設定します。
	Phone Info (電話情報)	電話情報を表示します。		Remove Programs (プログラムの削除)	MC55 にインストールしたプログラムを削除します。
	Screen (スクリーン)	スクリーンの向きを変更したり、スクリーンを調整したり、スクリーンのテキストのサイズを変更します。		System Info (システム情報)	MC55 のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。
	Task Manager (タスクマネージャ)	プログラムの実行を停止します。		USBConfig	MC55 の USB ポートを設定します。
	UI Settings (UI 設定)	[Start] (スタート) 画面のレイアウトと IE ズーム機能を設定します。		DataWedge	サンプルのスキャンアプリケーション。

Speaker (スピーカー) アイコン

Speaker (スピーカー) アイコンを使用して、システムの音量を調節できます。

1. ステータス バーをタップして、**スピーカー** アイコンをタップします。**[Volume]** (音量) ダイアログ ボックスが表示されます。

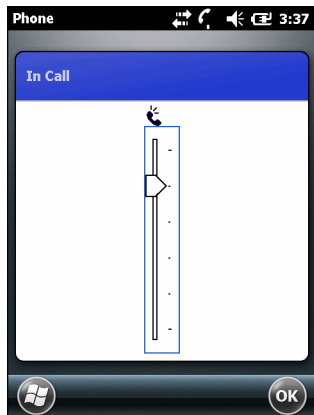


図 C-10 [Volume] (音量) ダイアログ ボックス

2. スライド バーをタップして移動し、音量を調節します。
3. **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) ラジオ ボタンを選択して、音量のオン/オフを切り替えます。

✓ **注** システム音量は、**[Sounds & Notifications]** (サウンドと通知) ウィンドウまたはキーボードで調整することもできます。

Battery (バッテリー) アイコン

[Today] (今日) 画面を表示しているときは、**タイトル バー**に**メイン バッテリー**のアイコンが表示されます。このアイコンは、バッテリー電力の残量を示します。

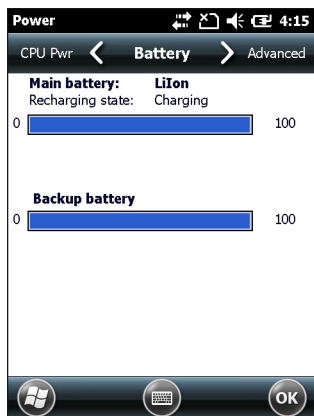


図 C-11 タイトル バー上の Battery (バッテリー) アイコン

Connectivity (接続) アイコン

Connectivity (接続) アイコンは、インターネットやホスト コンピュータに接続中のターミナルの通信状態を示します。

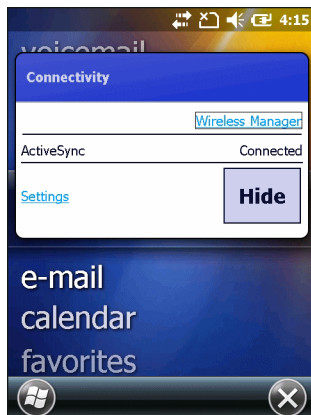


図 C-12 [Connectivity] (接続) ダイアログ ボックス

MC55 のロック

キーやスクリーン タップを無効にするか、あるいはパスワードを要求することで MC55 をロックできます。

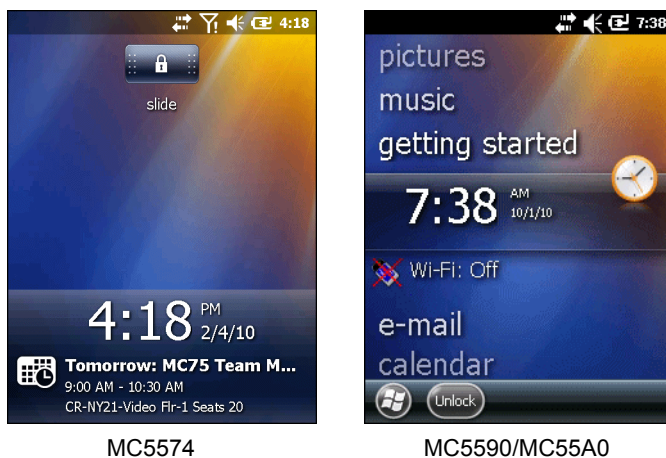
✓ **注** MC55 がロックされている場合でも、緊急通話は行えます。

MC55 をロックすると、キーボードとタッチ スクリーン機能がオフになります。MC55 がオンになっている状態で、キーの誤操作を防止するのに役立ちます。

デバイスをロックするには、 >  の順にタップします。

PIN またはパスワードなしのロック

MC55 がロックされると、**ロック画面**が表示されます。



MC5574

MC5590/MC55A0

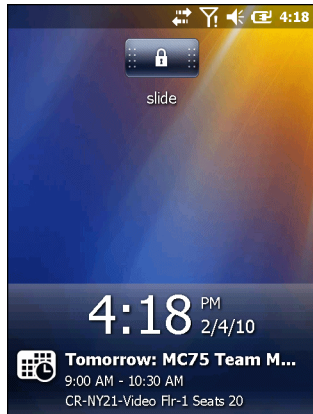
図 C-13 ロック画面

MC5574 では、 を画面の右側または左側にドラッグします。

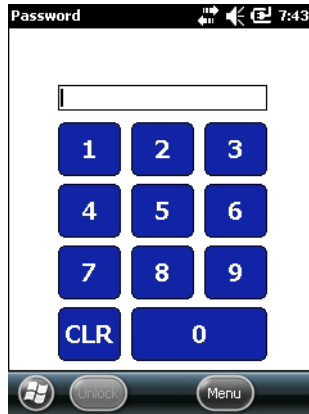
MC5590 では、**[Unlock] (ロック解除)** をタップして、もう一度 **[Unlock] (ロック解除)** をタップします。

[Simple PIN] (数字の簡易パスワード)でのロック

MC55 がロックされると、ロック画面が表示されます。




MC5574



MC5590/MC55A0

図 C-14 簡易 PIN でのロック画面

MC5574 では、 を画面の右側または左側にドラッグします。




PIN を入力して  をタップするとロックが解除されてホーム画面が、 をタップするとロックが解除されて [Contacts] (連絡先) ウィンドウが、 をタップするとロックが解除されて [Messaging] (メッセージ) ウィンドウが表示されます。



図 C-15 簡易 PIN パスワードのウィンドウ

MC5590 では、PIN を入力して [Unlock] (ロック解除) をタップします。

強力なパスワードでのロック

MC55 がロックされると、**ロック画面**が表示されます。

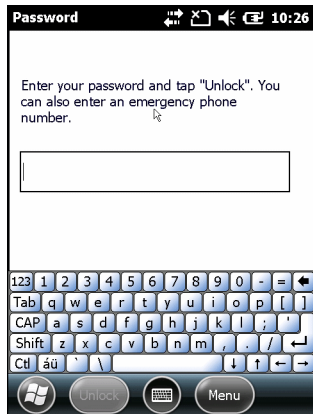



図 C-16 強力なパスワードでのロック画面

強力なパスワードを入力して、**[Unlock] (ロック解除)** をタップします。

パスワード ロックのセットアップ

[Password] (パスワード) ウィンドウでパスワードを設定し、MC55 への不正なアクセスを防止します。

- ✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1.  **> [Settings] (設定) > [Lock] (ロック) > [Password] (パスワード)** をタップします。

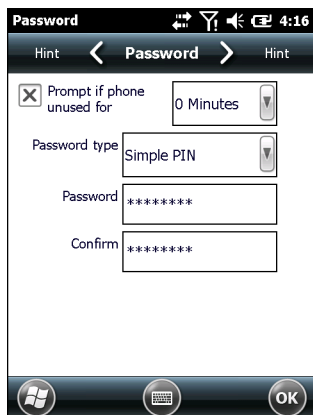





図 C-17 [Password] (パスワード) ウィンドウ

2. **[Prompt if device unused for] (パスワード入力が必要になるまでの時間)** チェック ボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。
4. **[Password type:] (パスワード タイプ:)** ドロップダウン リストから、**[Simple PIN] (数字の簡易パスワード)** または **[Strong alphanumeric] (強力な英数字のパスワード)** のいずれかを選択します。

5. 簡易パスワードの場合は、4桁のパスワードを **[Password] (パスワード)** フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. **[Password:] (パスワード:)** フィールドに7文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは7文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から3種類以上を含める必要があります。
 - b. **[Confirm:] (確認:)** フィールドにパスワードを再入力します。
6.  をタップします。
7. 水平スクロールで **[Hint] (ヒント)** を選択します。パスワードを忘れた場合のヒントを入力します。
8.  をタップします。
9. テキストボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
10.  をタップします。

RS507 のハンズフリー イメージャーの使用

RS507 のハンズフリー イメージャーを MC55 で使用して、バーコードデータを収集できます。

MC55 と RS507 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > BTScannerCtlPanel (BT コントロール パネル)** アイコンをタップします。
2. **[BT Scanner] (BT)** チェックボックスをオンにしてから、ドロップダウン リストから適切な COM ポートを選択します。
3. **[Save and Exit] (保存して終了)** をタップします。
4. **[Start] (スタート) > [Display_BD_Address] (BD アドレスの表示)** アイコンをタップします。バーコードが表示されます。
5. RS507 をバーコードに向けます。RS507 がバーコードを読み取り、MC55 とのペアリングを開始します。必要に応じて、PIN (12345) を入力します。
6. スキャン対応アプリケーションを起動します。
7. RS507 をバーコードに向けて、バーコード データを読み取ります。

詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

アシスト GPS

GPS は、スタンドアロン モードでもアシスト GPS (A-GPS) モードでも使用できます。スタンドアロン型の GPS 受信機は、GPS 衛星からデータをダウンロードします。データのダウンロードには数分かかることがあります。GPS Location サーバーを使用すると、通常では GPS 衛星からダウンロードする必要のあるデータおよび信号取得に役立つその他の補助データが A-GPS によって供給されるため、GPS 受信機の初期位置算出時間 (TTFF) が劇的に短縮されます。A-GPS データを使用すると、GPS 受信機によるより高速かつ信頼性の高い操作が可能になります。

A-GPS は Secure User Plane Location (SUPL) プロトコルに準拠しています。このプロトコルにより、MC55 と位置サーバーとの通信が可能になります。

MC55A で SUPL を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム)** と選択して、**GPS Setup (GPS のセットアップ)** アイコンをタップします。

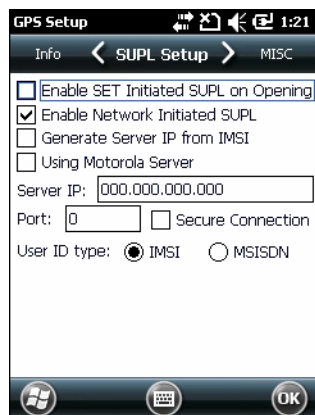


図 C-18 [SUPL Setup] (SUPL のセットアップ) タブ

2. **[Enable SET Initiated SUPL on Opening] (開くときに SET 開始 SUPL を有効にする)** を選択し、MC55 で GPS ポートを開くときに SUPL の開始を有効にします。
3. ネットワークで SUPL を開始するには、**[Enable Network Initiated SUPL] (ネットワーク開始 SUPL を有効にする)** を選択します。
4. IMS (GSM WAN デバイス限定) からサーバー IP アドレスを自動的に生成するには **[Generate Server IP from IMSI] (IMSI からサーバー IP を生成)** を選択し、Motorola SUPL サーバーを使用するには **[Using Motorola Server] (Motorola サーバーの使用)** を選択します。
5. **[Server IP] (サーバー IP)** フィールドに SUPL サーバーの IP アドレスを入力します。IMSI からサーバ IP アドレスを生成するとき、または Motorola サーバーを使用するときは、サーバー IP アドレスは必要ありません。
6. **[Port] (ポート)** フィールドに SUPL サーバー ポート番号を入力します。Motorola サーバーを使用するときは、ポート番号は必要ありません。
7. MC55 とサーバーとの TLS 接続を有効にするには、**[Secure Connection] (安全な接続)** を選択します。このオプションは、Motorola サーバーを使用するときは利用できません。
8. SUPL セッション中に使用する ID タイプを指定するには、**[User ID type] (ユーザー ID タイプ)** を選択します。このオプションは、Motorola サーバーを使用するときは利用できません。

スマート再補助および開くときのタイミング制御を有効にするには、**[MISC] (その他)** タブを使用します。これらのオプションは、**[SUPL Setup] (SUPL のセットアップ)** タブで **[Enable SET Initiated SUPL on Opening] (開くときに SET 開始 SUPL を有効にする)** が有効になっているときにのみ利用できます。

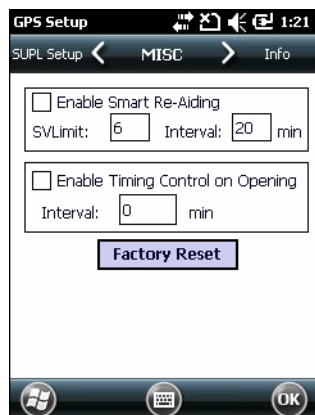


図 C-19 [MISC] (その他) タブ

スマート再補助では、MC55 が SUPL サーバーに再接続し、ビューに衛星がある場合、使用中の衛星が **SVLimit** 値より少ない場合、および最終 SUPL セッション以後の経過時間が **[Interval](間隔)** フィールドでの設定値より長い場合、新しい A-GPS データをダウンロードします。

開くときのタイミング制御では、GPS ポートが開かれたときに SUPL セッションを確立するかどうかを決定します。最終の正常な SUPL セッション以後の経過時間が設定間隔より短い場合、GPS ポートが開かれたときに SUPL セッションは確立されません。

GPS チップで工場出荷時へのリセットを実行するには、**[Factory Reset]** (工場出荷時へのリセット) ボタンをタップします。

UI 設定

[UI Settings] (UI 設定) アプリケーションを使用して、**[Start] (スタート)** 画面のグリッド表示を変更したり、Internet Explorer でのズームを調整したりできます。

[Start] (スタート) 画面の設定

[Start] (スタート) 画面のグリッド表示を変更するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [UI Settings] (UI 設定)** をタップします。
2. **[Start Screen Settings] (スタート画面の設定)** タブをタップします。

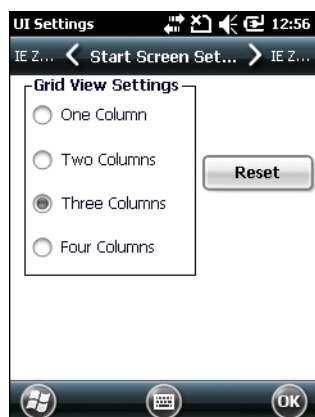


図 C-20 [Start Screen Settings] (スタート画面の設定) タブ

3. 列数を選択します。
4. [OK] をタップする

✓ **注** デフォルトの 3 列設定に戻すには、[Reset] (リセット) をタップします。

5. [OK] をタップする
6. ウォーム ブートを実行します。

IE ズームのマッピング

Windows 6.5 で Internet Explorer が開いているときは、MC55 の横にある音量キーを使用してズーム インとズーム アウトができます。IE ズームのマッピングを無効にするには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [UI Settings] (UI 設定) をタップします。
2. [IE Zoom Mapping] (IE ズームのマッピング) タブをタップします。

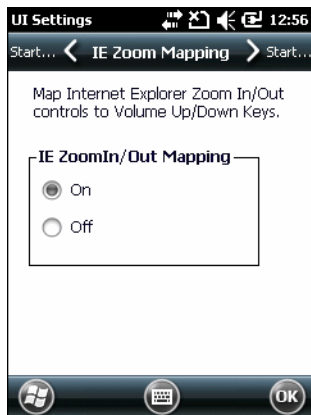


図 C-21 [IE Zoom Mapping] (IE ズームのマッピング) タブ

3. [Off] を選択します。
4. [OK] をタップする
5. [OK] をタップして、マッピングをオフにします。

用語集

A

API. (アプリケーション プログラミング インタフェース) あるソフトウェア コンポーネントが他のコンポーネントと通信したり、他のコンポーネントを制御したりする際に使用するインタフェース。通常は、あるソフトウェア コンポーネントによって、ソフトウェアの割り込みや機能の呼び出しによって、他のコンポーネントに提供されるサービスを指します。

AZERTY. フランス語のキーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"AZERTY" は、キーボードの上から 1 列目のキー配列を指します。

AKU. (Adaptation Kit Update) Windows Mobile OS のアップデート。

AFH. 適応型周波数ホッピング

ActiveSync. Windows Mobile OS で使用される Microsoft によって開発されたデータ同期プログラム。

B

Bluetooth. 短距離通信技術を活用して狭い範囲でデータ転送を可能にする無線プロトコル。

bps. 「ビット/秒 (bps)」を参照してください。

C

CDRH. Center for Devices and Radiological Health (医療機器・放射線保健センター) の略。レーザー製品の安全性に関する規制を行う連邦政府機関。この機関は、レーザー操作時の電源出力に基づいて各種レーザー操作クラスを規定しています。

CDRH Class 1. 最も低いパワーの CDRH レーザ分類です。このクラスは、すべてのレーザー出力が目の瞳孔に向けられた場合でも本質的に安全であると見なされます。このクラスでは特別な操作手順は規定されていません。

CDRH Class 2. この制限に準拠するために追加のソフトウェアメカニズムを用意する必要はありません。このクラスのレーザーは、人体に意図的に直接照射しない限り、特に危険性はありません。

Codabar. セルフチェックを行うディスクリート コード。0 ~ 9 の数字と 6 つの追加文字 (- \$. , , および +) で構成されるキャラクタ セットが含まれます。

Code 128. コントローラで 128 文字すべての ASCII 文字をシンボル要素を追加せずにエンコードできる、高密度な記号体系。

Code 3 of 9 (Code 39). 広く使用されている多機能な英数字バーコードの記号体系。すべての大文字、0 ~ 9 の数字、および 7 つの特殊文字 (- , . / + % \$ およびスペース) を含む 43 種類のキャラクタで構成されます。このコード名は、キャラクタを示す 9 つの要素のうち 3 つが広く、残りの 6 つが狭いことに由来しています。

Code 93. Code 39 と互換性を持つ工業用記号体系。完全な ASCII キャラクタ セットを提供し、Code 39 よりも高い密度のコーディングを実現します。

COM ポート. 通信ポート。ポートは COM1 や COM2 など、数字で識別されます。

D

DCP. 「Device Configuration Package」を参照してください。

Device Configuration Package. Symbol Device Configuration Package には、Product Reference Guide (PRG)、フラッシュパーティション、Terminal Configuration Manager (TCM) および関連する TCM スクリプトが入っています。このパッケージを使用すれば、フラッシュパーティションを表すヘキサ イメージを作成し、モバイル コンピュータにダウンロードすることができます。

Discrete 2 of 5. 各キャラクタを 5 本のバー (うち 2 本の幅が広い) のグループで表す 2 進数のバーコードの記号体系。グループ内の幅の広いバーの場所によって、エンコードされるキャラクタが決定されます。スペースは重要ではありません。数字キャラクタ (0 ~ 9) と、スタートまたはストップ キャラクタのみがエンコード可能です。

E

EAN. 欧州統一商品番号。これは UPC のヨーロッパ/国際版で、独自のコーディング形式と記号体系標準があります。エレメントの寸法はメートル法で指定されています。EAN は、主に小売業で使用されます。

EMDK. Enterprise Mobility Developer's Kit の略。

ESD. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

F

FHSS (周波数ホッピング方式スペクトル拡散). 送信側および受信側が知る疑似ランダム系列を使用して複数の周波数チャンネル間でキャリアを頻繁に変更して無線信号を送信する方法。

G

GPS (グローバルポジショニングシステム). 24 個の衛星ネットワークで構成される衛星ベースのナビゲーションシステム。GPS 衛星は地球を周回し、信号情報を送信します。この情報は GPS 受信機によって受信され、三角法によってユーザーの正確な位置が計算されます。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

I

IEC. International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議) の略。この国際機関は、レーザー操作時の電源出力に基づいて各種レーザー操作クラスを規定することによって、レーザーの安全性を規制しています。

IEC (825) Class 1. 最も低いパワーの IEC レーザ分類です。この規格に準拠しているかどうかは、1000 秒の時間枠でレーザー操作が 120 秒間に制限されていることと、スキャナの振動ミラーが故障した場合にレーザーが自動シャットダウンされることによって確認されます。

IEEE アドレス.「MAC アドレス」を参照してください。

Interleaved 2 of 5. 5 本のバーと 5 本のインターリーブスペースで構成されるグループ内の、キャラクタのペアを表す 2 進数のバーコードの記号体系。インターリーブにより、情報の高密度化が可能になります。各グループ内の太いエレメント (バー/スペース) の位置は、エンコードされるキャラクタによって決まります。このコンティニアス コード タイプは、キャラクタ間スペースを使用しません。数字 (0 ~ 9) と、スタートまたはストップ キャラクタのみがエンコード可能です。

I/O ポート. 2 つのデバイス間を接続するインタフェース。共通の物理特性、信号特性、および信号の意味によって定義されます。インタフェースのタイプとしては、RS-232 と USB があります。

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層 (第 3 層) を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第 4 層の転送プロトコル (TCP または UDP) からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第 2 層のデータ リンク プロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略) IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IP ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IP アドレスは、ピリオドで分割された 4 セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

IPX/SPX. Internet Package Exchange/Sequential Packet Exchange の略。Novell 用の通信プロトコルです。IPX は、XNS や IP に類似した Novell の第 3 層のプロトコルで、NetWare ネットワークで使用されます。SPX は、Xerox SPP プロトコルの Novell 版です。

ISM. Industry Scientific and Medical (産業科学医療用) の略。

L

LCD.「液晶ディスプレイ」を参照してください。

LED インジケータ. インジケータとして使用される半導体ダイオード (LED は発光ダイオード)。多くはデジタル ディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

M

MC. Mobile Computer (モバイル コンピュータ) の略。

MDN. Mobile Directory Number (モバイル ディレクトリ番号) の略。モバイル装置につなぐために (通常は POTS を使用して) ダイアルする電話番号の一覧を表示するディレクトリ。MDN は通常、携帯電話の MIN と関連づけられており、米国とカナダでは、音声を使用する携帯電話のユーザーに対する MDN と MIN は同じ値になります。国際ローミングを考慮すると、MDN は MIN と異なる値になります。

MIN. Mobile Identification Number (モバイル識別番号) の略。携帯デバイスに関連付けられている固有のアカウント番号です。携帯電話システムへのアクセス時に、携帯デバイスによってブロードキャストされます。

N

NVM. Non-Volatile Memory (不揮発性メモリ) の略。

P

PAN. Personal Area Network (パーソナル エリア ネットワーク) の略。Bluetooth 無線テクノロジーを使用して、複数のデバイスが無線で通信できるようになります。一般的に無線 PAN は、約 10m の範囲内で通信する 254 台までのデバイスの動的なグループで構成されます。通常は、この限定された領域の中にあるデバイスのみがネットワークに参加できます。

PING. Packet Internet Groper の略。特定の IP アドレスがオンラインであるかどうかを判断するために使用されるインターネットユーティリティ。パケットを送信して応答を待つことで、ネットワークをテストしたりデバッグしたりするために使用されます。

Q

QWERTY. ヨーロッパのキーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"QWERTY" は、キーボードの上から 1 列目のキー配列を指します。

QWERTZ. ドイツ語のキーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"QWERTZ" は、キーボードの上から 1 列目のキー配列を指します。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばやい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

ROM. Read-Only Memory (読み出し専用メモリ) の略。ROM に格納されたデータを変更または削除することはできません。

S

SDK. Software Development Kit (ソフトウェア開発キット) の略。

SID. System Identification code (システム識別コード) の略。業界ごとに FCC が発行する識別子です。携帯デバイスでホーム サービスとローミング サービスを区別できるようにするため、携帯電話キャリアでも SID をブロードキャストします。

Space. バーコードで、バーの間の背景によって形成される明るいエレメント。

Symbol. 特定の記号体系の規則に従ってデータをエンコードする、スキャン可能な単位。通常はスタート/ストップ キャラクタ、クワイエット ゾーン、データ キャラクタおよびチェック キャラクタを含みます。

Symbology. 特定のバーコード タイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

T

TCP/IP. Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。異種システム間をネットワーク接続するために使用される通信プロトコルです。この標準はインターネットのプロトコルであり、通信に関するグローバルな標準となっています。TCP は転送機能を提供します。これにより、送信された合計バイト数が相手側で正しく受信されるようになります。UDP は代替的な転送機能で、配信は保証されません。UDP は、異常なパケットが再送されないリアルタイムの音声および映像の転送に使用されます。IP はルーティング メカニズムを備えています。TCP/IP はルーティング可能なプロトコルです。これは、すべてのメッセージに、宛先ステーションのアドレスだけでなく宛先ネットワークのアドレスも含まれていることを意味します。これにより組織内や世界中の複数のネットワークに TCP/IP メッセージを送信できるため、TCP/IP は世界中のインターネットで使用されています。TCP/IP ネットワーク内のすべてのクライアントとサーバーには、固定 IP アドレス、または起動時に動的に割り当てられる IP アドレスが必要です。

Telnet. インターネットや TCP/IP ベースのネットワークで一般的に使用される、ターミナル エミュレーション プロトコル。これにより、ターミナルやコンピュータを使用するユーザーがリモート デバイスにログオンし、プログラムを実行することができます。

TFTP. Trivial File Transfer Protocol (簡易ファイル転送プロトコル) の略。TCP/IP FTP (ファイル転送プロトコル) のバージョンの 1 つで、ディレクトリやパスワードの機能はありません。ファームウェアのアップグレード、ソフトウェアのダウンロード、およびディスクレス デバイスのリモート ブートに使用されるプロトコルです。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol. 「TCP/IP」を参照してください。

U

UDP. User Datagram Protocol (ユーザー データグラム プロトコル) の略。IP プロトコル セットに含まれるプロトコルのひとつで、信頼性の高い配信が必要でない場合に、TCP に代わって使用されます。たとえば、再転送する時間がないためにパケットが失われても単純に無視されるようなリアルタイムの音声および映像のトラフィックに対して、UDP が使用されます。UDP を使用して信頼性の高い配信を行う必要がある場合は、パケット シーケンスのチェックとエラー通知をアプリケーション内に記述する必要があります。

UPC. Universal Product Code (ユニバーサル プロダクト コード) の略。比較的複雑な数字の記号体系です。各キャラクタは 2 つのバーと 2 つのスペースで構成され、そのそれぞれが 4 種類の幅のいずれかになります。米国での小売の食品パッケージで標準的に使用される記号体系です。

い

インターネット プロトコル アドレス.「IP」を参照してください。

う

ウォーム ブート. ウォーム ブートは、実行中の全プログラムを終了してモバイル コンピュータを再起動します。フラッシュ メモリに保存されていないデータはすべて失われます。

え

液晶ディスプレイ (LCD). 2 枚のガラス板の間に封入された液晶を使用したディスプレイ。液晶は電圧を正確にかけることによって励起し、そのバイアスに従って光を外側に反射させます。消費電力が少なく、比較的高速で応答します。液晶の情報をユーザー側に反射するには、外光が必要となります。

お

オープン システム認証. オープン システム認証は、null 認証アルゴリズムです。

か

可視半導体レーザー (VLD). 可視レーザー光を発生する、半導体素子を使用したデバイス。

簡易ファイル転送プロトコル.「TFTP」を参照してください。

き

キー．データの暗号化や復号を行うためのアルゴリズムによって使用される特定のコード。「**暗号化**」と「**復号**」も参照してください。

基板．実体やイメージが配置される基板の素材。

キャラクタ．バーとスペースで構成されるパターン。データを直接的に表現するか、数字や文字、句読点、メッセージ内の通信制御など、特定の制御機能を示します。

鏡面反射．平面から鏡のように直接反射される光。これによってバーコードのデコードが困難になる場合があります。

共有キー．共有キーによる認証は、AP と MU の両方で認証キーを共有するアルゴリズムです。

許容範囲．バーまたはスペースの幅の公称値からの許容される誤差。

く

クレードル．ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

こ

公称値．特定のパラメータの正確な (または理想的な) 目標値。この値からの正と負の誤差として、許容範囲が指定されます。

コールド ブート．コールド ブートは、モバイル コンピュータを再起動し、ユーザーが保存したすべてのレコードやエントリを消去します。

さ

サブネット マスク．IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

サブネット．1 つのネットワーク上で、同じルータのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「**ルータ**」を参照してください。

し

シンボル アスペクト比率．シンボルの幅に対する高さの比率。

シンボルの高さ．最初の行と最後の行の、クワイエット ゾーンの外側の端の間の距離。

シンボルの長さ．スタート キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン (マージン) の最初から、ストップ キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン (マージン) の最後までを計測した、シンボルの長さ。

す

スキャナ. バーコードをスキャンし、シンボルのバーとスペースに対応するデジタル化されたパターンを作成するための電子デバイス。主なコンポーネントは次の3つです。1) 光源 (レーザまたは光電セル) - バーコードに光を照射する 2) 光検出器 - 反射光の差異を記録する (スペースからより多くの光が反射される) 3) 信号処理回路 - 光検知器の出力をデジタル化されたバーのパターンに変換する。

スタート/ストップ キャラクタ. スキャナに読み取りの開始と終了の指示やスキャン方向を提示するバーとスペースのパターン。通常、スタートキャラクタとストップキャラクタは水平コードの左右のマージンに隣接しています。

そ

ソフト リセット. 「ウォーム ブート」を参照してください。

た

ターミナル. 「モバイル コンピュータ」を参照してください。

ターミナル エミュレーション. "ターミナル エミュレーション" では、メインフレーム以外のリモート ターミナルで、キャラクタベースのメインフレーム セッション (すべての表示機能、コマンドおよびファンクション キーを含む) をエミュレートします。VC5000 シリーズでは、3270、5250 および VT220 でターミナル エミュレーションをサポートしています。

て

デコード. バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

デコード アルゴリズム. パルス幅を、バーコード内でエンコードされた文字や数字のデータ表示に変換する読み取りスキーム。

に

入出力ポート. I/O ポートは主に、ターミナルのメモリで情報を入力または出力するためのみに使用されます。MC55 には USB ポートが搭載されています。

は

バーコード. さまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタート キャラクタ、データ キャラクタ (またはメッセージ キャラクタ)、チェック キャラクタ (あれば)、ストップ キャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な記号体系それぞれが独自の形式を使用します。「**記号体系**」を参照してください。

ハード リセット. 「コールド ブート」を参照してください。

バイト. アドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わせられた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ~ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

発光ダイオード. 「LED」を参照してください。

ひ

ビット. 1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット/秒 (bps). 送信または受信されるビット数。

ふ

ファイル転送プロトコル (FTP). ネットワークや電話回線を介したファイル転送を支配する TCP/IP アプリケーション プロトコル。「TCP/IP」を参照してください。

ブートまたはブートアップ. コンピュータが起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、コンピュータは自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

復号. 受信した暗号データをデコードおよびスクランブル解除すること。「暗号化」と「キー」も参照してください。

フラッシュメモリ. 半永久的な不揮発性のストレージ。回線内で電氣的に消去したり、プログラミングしなおしたりすることが可能です。

ほ

ホスト コンピュータ. ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

ま

モバイル コンピュータ. 本書では、モバイル コンピュータは MC55 を指します。スタンドアロン型のデバイスとして使用するようセットアップすることも、無線テクノロジーを使用してネットワーク通信するようセットアップすることも可能です。

よ

読み取り幅. スキャナがある一定の最小光源幅でシンボルを読み取れる最短距離と最長距離の間の範囲。

る

ルータ. ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「**サブネット**」を参照してください。

れ

レーザ. Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation の略。強い光源です。白熱灯バルブから出力される光と異なり、レーザからの光はすべて同じ周波数です。レーザ光は一般的にコヒーレントであり、高いエネルギー密度を持っています。

レーザ スキャナ. レーザ光のビームを使用するタイプのバーコードリーダー。

索引

数字

1-D バーコード	2-35
2-D バーコード	2-35
3 者通話	4-21
4 スロット イーサネット クレードル	1-3
充電	6-7
充電インジケータ	6-7
4 スロット充電専用クレードル	6-6
充電インジケータ	6-6
充電	6-6
4 スロット予備バッテリー充電器	1-3, 6-1, 6-10
充電	6-10
充電インジケータ	6-11
バッテリーの充電	6-10

A

ActiveSync	C-10
アイコン	2-4, C-5
AFH	5-1
AirBEAM	C-10
AZERTY	2-23

B

Bluetooth	
オフ	5-5, 5-39
オン	5-5, 5-38
結合されたデバイスの削除	5-24
セキュリティ	5-2
適応型周波数ホッピング	5-1
bluetooth	
アイコン	2-4
オン/オフの切り替え	5-4, 5-38
通信中アイコン	C-5
デバイスの検出	5-39
無効アイコン	C-5
有効アイコン	C-5

Bluetooth	5-1
Bluetooth 結合の削除	5-24
Bluetooth ヘッドセット	4-3
Bluetooth ヘッドセットの使用	4-3

C

Contacts	C-9
----------	-----

E

EDA のウェイクアップ	2-16
EDA のロック	2-16
enterprise mobility developer Kit	1-4
ESD	1-4

G

GPRS	
データ接続	4-27
GPRS データ接続	4-26
GSM	
GPRS データ接続	4-26

I

Internet Explorer Mobile	C-9
internet sharing	C-10

L

LED	2-14
充電	2-14, 6-3, 6-6, 6-7, 6-9, 6-11, 6-12
スキャンと読み取り	2-14, 2-37, 2-40
電波受信状況	2-15
バッテリー状態	2-14

M

Media Player	C-9
MMC	1-4, 6-2
MSP Agent	C-11

P

PC との同期	
Bluetooth の使用	5-46

Q

QWERTY キーボード	
入力モード	2-26, 2-27, 2-28
QWERTZ キーボード	2-23

R

rapid deployment	C-11
------------------	------

S

SD	6-2
SDK	
「EMDK」を参照	1-4
SD カード	6-2
SIM Toolkit	C-11
SIM カード	
アクセサリ	1-5
取り付け	1-5
subscriber identification module	1-5

T

	2-1
(今日) 画面	2-1

U

USB クライアント充電ケーブル	6-11
USB クレードル	1-3
USB 充電ケーブル	1-3, 6-1, 6-11

V

VQM	B-1
無効化	B-4
有効化	B-1

W

Windows Live	C-9
Windows Live Messenger	C-9
Wireless	1-12, 4-2
Wireless Manager	1-12, 4-2
wireless manager	C-12
WLAN 802.11a/b/g	xiv
WPAN Bluetooth	xiv

あ

アイコン

ActiveSync	2-4, C-5
bluetooth	2-4
bluetooth 通信中	C-5
bluetooth 無効	C-5
bluetooth 有効	C-5
時刻と予定	2-3
ステータス	2-2, C-6
スピーカ	2-3, 2-11
接続	2-2
タスクトレイ	2-4, C-5, C-8
電話	2-3
バッテリー	2-3, 2-11, C-7
ボイス メール	2-2
無線アプリケーション	C-5
無線ステータス	2-4, C-5
アクション ボタン	2-33
アクセサリ	1-3
4 スロット イーサネット クレードル	1-3
4 スロット 充電専用 クレードル	1-3, 6-1, 6-6
4 スロット 予備 バッテリー 充電器	1-3, 6-10
MMC	1-4, 6-2
SD カード	6-2
SIM カード	1-5
USB クレードル	1-3
USB 充電ケーブル	1-3
ケーブル	6-11
車載用 クレードル	1-3, 6-1, 6-8
車載用ホルダー	1-3
車用充電ケーブル	1-3
充電専用ケーブル	1-3
仕様	A-8
シングル スロット USB クレードル	6-1, 6-2
スクリーン保護シート	1-4
スタイラス	1-4
スプリング付きスタイラス	1-4
通信 / 充電ケーブル	
LED インジケータ	6-12
バッテリーの充電	6-11
壁面用マウント キット、クレードル	1-4
ホルスタ	1-3
ホルスタ (ソフト タイプ)	1-3
ホルスタ (ハード タイプ)	6-1
予備バッテリー	1-3
EMDK	1-4
アシスト GPS	3-2, C-18

い

イメージャー	
イメージング	2-35, 2-36
インターネット	
GPRS 経由	4-26
GPRS の接続解除	4-27

う

上/下ボタン	2-33
ウェイクアップ条件	2-16
ウォーム ブート	2-15, 5-4

え

英数字キーパッド	2-23
キーの説明	2-24
エンタープライズPDAの起動	1-4

お

オペレーティング システム	xiv
音響エコークャンセル	B-2
温度	A-2
充電	1-8, 6-3
音量の調節	2-11

か

画像	C-9
----	-----

き

技術仕様	A-1
アクセサリ	A-8
規則	
表記	xvii
機能ボタン	2-33
キーの説明	
英数キーパッド	2-24
数字キーパッド	2-19, 2-30
キーパッド	xiv
QWERTY	2-23
キーの説明	2-19, 2-24, 2-30
種類	2-19
数字	2-19, 2-30
電話	4-1
特殊文字キー	2-32
入力モード	2-22, 2-26, 2-27, 2-28
緊急通話	4-8

く

クリーニング	7-1
車用充電ケーブル	1-3, 6-1, 6-11
クレードル	
4 スロット イーサネット	1-3, 6-7
4 スロット充電専用	1-3, 6-1, 6-6
4 スロット充電専用クレードル	6-6
4 スロット予備バッテリー充電器	6-10
車載用	6-1, 6-8
シングル スロット USB	6-1, 6-2
グローバル ポジショニング システム	3-1

け

ケーブル	6-11
車用充電ケーブル	1-3
接続	6-11

こ

構成	xiv
コマンド バー	2-4
アイコン	2-4, C-5, C-8
コールド ブート	2-15, 5-4

さ

再開	5-4
サスペンド	1-9, 2-33, 5-4
サービスに関する情報	xix

し

時刻と予定アイコン	2-3
車載用クレードル	1-3, 6-1, 6-8
充電インジケータ	6-9
車載用ホルダー	1-3, 6-1
アクセサリ	
車載用ホルダー	6-1
充電	
4 スロット イーサネット クレードルの使用	6-7
4 スロット充電専用クレードルの使用	6-6
4 スロット予備バッテリー充電器の使用	6-10
車載用クレードルの使用	6-8
シングル スロット USB クレードルの使用	6-2
予備バッテリー	1-8, 6-3, 6-10
充電インジケータ	2-14, 6-12
4 スロット イーサネット クレードル	6-7
4 スロット充電専用クレードル	6-6
4 スロット予備バッテリー充電器	6-11
車載用クレードル	6-9
シングル スロット USB クレードル	6-3
電時の温度	1-8, 6-3
充電専用クレードル	1-3, 6-1
充電専用ケーブル	1-3, 6-11

情報、サービスに関する	xix
初期位置算出時間	C-18
シングル スロット USB クレードル	6-1, 6-2
充電	6-2
充電インジケータ	6-3

す

数字キーパッド	2-19, 2-30
キーの説明	2-19, 2-30
入力モード	2-22
スキャン	
イメージング	2-35
データ収集を参照	2-35
ボタン	2-33
スキャン ボタン	2-33
スクリーン保護シート	1-4
スタイラス	1-2, 1-4, 2-33
スタイラスの使用	2-33
ステータス アイコン	2-2, C-6
時刻と予定	2-3
スピーカ	2-3, 2-11
接続	2-2
電話	2-3
バッテリー	2-3, 2-11, C-7
ボイス メール	2-2
ストラップ	1-2
スピーカ アイコン	2-3, 2-11
スピーカ モード	4-3
スピード ダイアル	4-12
スプリング付きスタイラス	1-4

せ

セキュリティ	
Bluetooth	5-2
接続アイコン	2-2
接続解除	4-27
設定	
USB - PC	C-12
Wi-Fi	C-12
wireless manager	C-12
暗号化	C-13
エラー報告	C-13
オーナー情報	C-12
外部 GPS	C-13
画面	C-13
キーライト	C-13
サウンドと通知	C-11
システム情報	C-13
証明書	C-12
接続	C-12
地域設定	C-13
電源	C-12
バージョン情報	C-12
プログラムの削除	C-13
ボタン	C-12

メモリ	xix
ユーザー フィードバック	C-13
ロック	C-11

そ

ソフト リセット	2-15, 5-4
----------	-----------

た

タスク	C-9
タスクトレイ アイコン	2-4, C-4
短縮ダイヤル	4-8

ち

着信への応答	4-8
--------	-----

つ

通信/充電ケーブル	
LED インジケータ	6-12
バッテリーの充電	6-11
	6-11
通話のミュート	4-10
通話履歴	4-11, 4-15

て

ディスプレイ	xiv
適応型周波数ホッピング	5-1
データ収集	xiv
一次元バーコード	2-35
イメージャー動作モード	
画像読み取りモード	2-35
ピック リスト モード	2-35
読み取りモード	2-35
イメージング	2-35
スキャン	2-36, 2-37, 2-40
スキャン角度	2-36
スキャン距離	2-36
スキャン ボタン	2-33
デジタル カメラ	2-35
ドット照準	2-37
二次元バーコード	2-35
リニア スキャン	2-35
データ収集、イメージング、イメージャー サンプルを参照	
データ収集、イメージングを参照	
デバイスには	4-2
電源ボタン	2-15, 2-33
電卓	C-9
電話	
3 者通話	4-21
会議通話	4-21
キーパッド	4-1
キーパッドの使用	4-4

短縮ダイヤル	
エントリの削除	4-15
エントリの編集	4-14
発信	4-8
着信への応答	4-8
通話の切り替え	4-20
通話のミュート	4-10
通話履歴	4-15
テキストメッセージ	4-22
メモの作成	4-11
連絡先	4-5
電話アイコン	2-3
電話会議	4-21

と

動作環境	A-1
特殊文字キー	2-32
時計とアラーム	C-11
トラブルシューティング	7-6

な

中黒	xviii
ナビゲーション バー	
アイコン	2-2, C-6

は

バーコード	
一次元	2-35
二次元	2-35
パスワード	2-17, C-17
ヒント	2-18
パッケージの開梱	1-2
バッテリー	
充電	6-2, 6-6, 6-7, 6-8, 6-10
状態の確認	1-9
取り外し	1-9
バッテリー アイコン	2-3, 2-11, C-7
バッテリー充電器	
4 スロット	6-10
通信/充電ケーブル	6-11
LED インジケータ	6-12
バッテリーの充電	
4 スロット イーサネット クレードルの使用	6-7
4 スロット 充電専用クレードルの使用	6-6
4 スロット 予備バッテリー充電器の使用	6-10
車載用クレードルの使用	6-8
シングル スロット USB クレードルの使用	6-2
通信/充電ケーブル	6-11
ハードリセット	2-15, 5-4
ハンドセット	B-2
ハンドセット モード	4-3

ひ

ビデオ	C-9
表記規則	xvii

ふ

ファイル エクスプローラ	C-10
ブート	
ウォーム	2-15, 5-4
コールド	2-15, 5-4
プリンタ ケーブル	6-1

へ

壁面用マウント キット、クレードル	1-4
ヘッドセット	4-3
ヘッドセット モード	4-3

ほ

ボイス メール アイコン	2-2
ボタン	
アクション	2-33
上/下	2-33
機能	2-33
スキャン	2-33
電源	2-15, 2-33
ホルスタ	1-3
ホルスタ (ソフト タイプ)	1-3
ホルスタ (ハード タイプ)	1-3, 6-1

ま

マルチメディア カード	1-4, 6-2
-------------	----------

む

無線	xiv
無線ステータス	2-4, C-5

め

メイン バッテリー	
充電	1-4, 1-7
取り付け	1-4
メイン バッテリーの取り外し	1-9
メッセージング	C-9
メモ	C-9
メモ アプリケーション	4-11
メモリ	xiv
メンテナンス	7-1

よ

予定表	C-9
予備バッテリー	
2400 mAh	1-3
3600 mAh	1-3
充電	1-8, 6-3, 6-10
予備バッテリー充電器	
充電	6-10
充電インジケータ	6-11

り

リセット	
ソフト	2-15, 5-4
ハード	2-15, 5-4
リチウム イオン バッテリー	1-2

れ

レーザ スキャン	
データ収集を参照	2-35
連絡先	C-9
連絡先の削除	4-6
連絡先の作成	4-5, 4-7
連絡先の編集	4-6
連絡先アプリケーション	4-5



MOTOROLA

Motorola Solutions, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742-1300
1-800-927-9626
<http://www.motorola.com/enterprisemobility>

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、許可を得たうえで使用しています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。
© 2010 Motorola, Inc. All rights reserved.